

日高市

コミュニティ・スクールを基盤とした 小中一貫教育 — 令和6年度の実践 —

【日高市教育に関する総合的な施策の大綱】

基本理念 「まちづくりは、人づくり」

日高市教育ビジョン 「自らの力と人との絆で 未来をつくる 日高の教育」

日高市小中学校未来構想 「目指そう！ 気は優しくて 力持ち」



学校運営協議会校長報告



放課後日高塾



コミュニティ・スクール研修会



小中交流会（ふるさと科）



学校運営協議会委員授業参観



小中一貫教育推進委員会



ふるさと科小中授業研究会



小中地域合同挨拶運動

日高市教育委員会

日高市小中一貫教育推進委員会

「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」構築の3つの観点



日高市教育委員会
教育長 中村 一夫

この4月に、日高市3番目の義務教育学校となる日高市立高麗小中学校が開校します。また、高麗川小学校・高麗川中学校、高萩小学校・高萩中学校、高萩北小学校・高萩北中学校は併設型小中一貫教育校として新たなスタートを切ります。学校運営協議会の着実な実施、地域学校協働本部の組織化と本格的な活動開始とあいまって、日高市における「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」の全容が固まりました。この間、日高市小中一貫教育推進委員会の先生方には、この大きな変革の中核として研究を重ねていただき、様々なご提案をいただきました。そして、大変お忙しい中、本冊子を作成し、その事業報告及び研究成果をご提示いただきました。心より感謝申し上げます。

ところで、この体制を作り上げるにあたり以下の3つの観点で取り組んできました。

1つ目は、歴史的な教育の意味です。江戸時代、薩摩藩では「郷」という地区ごとに今の小学1年生から二十歳過ぎの成年までが寄り合って、上の者が下の者を指導するという教育制度が行われました。また、会津藩では藩校日新館に入学する前の6歳から10歳までの藩士の子弟が地区ごとに什という集まりをもち、什長を中心に主体的に学ぶという仕組みがありました。年長者がお手本となり慈愛の心をもって年少者を導き、また年少者は年長者に敬愛の念をもって接しその姿から多くのことを学ぶという、日本古来の教育の姿である「郷中教育」「什の教育」の精神を取り入れたいと考えました。

2つ目は、日高の特質を生かすということです。作家でジャーナリストの河合雅司氏は「縮むことは衰退や負けを意味しない。『戦略的に縮む』ことが必要だ。」と言っています。また慶応義塾大学教授の清水勝彦氏は「戦略の基本は差別化であり、差別化の源は自らの強みを生かすことだ。」と言っています。6つの地区に1小学校、1中学校、1公民館があるという他の自治体に例を見ない日高市の強みを生かすことで、日高独自の教育を展開するとともに、地域学校協働活動を推進し学校を地域づくりの核として生かせると考えました。

3つ目は、時代の流れです。平成28年に「学校教育法」が一部改正され、義務教育学校の設置が可能となりました。また平成29年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され学校運営協議会の設置が努力義務となりました。さらに市においては平成28年に「日高市公共施設等総合管理計画」を作成、これに基づき「日高市公共施設長寿命化計画」

「日高市公共施設再編計画」が作成されました。国における学校教育制度の大きな改革、市における公共施設の再編という時代の流れが大きな追い風になりました。形が整ったこれからは教育の中身が問われます。「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」のさらなる充実・発展のために、日高市小中一貫教育推進委員会の先生方を始め、多くの皆様方の益々のご尽力をお願いいたしましてご挨拶いたします。





令和7年度からの本格的なスタートに向けて

日高市小中一貫教育推進委員会
委員長 志村 憲一

本市では、令和2年度から「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」が全地区でスタートしましたが、スタートして早々に新型コロナウイルス感染症の影響で子供たちの交流等、教育活動が制限され、大変難しい状況からのスタートで思うように進みませんでした。

しかし、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がり、少しずつ通常の活動ができるようになり、令和6年度には、教育活動が本来の形で進められるようになり、小中一貫教育も軌道に乗ってきました。

本委員会の今年度の活動は、今まで研究してきたものをベースに日高市の小中一貫教育の特色の一つでもある「ふるさと科」の完成に向けて、話し合いを進めていきました。

ふるさと科については、地域の協力がある本市の強みを生かした教育課程です。各地区で今まで実施してきたことを下に、各地区で工夫し、その地域ならではのふるさと科が実施できるような計画を作成することができました。その計画には、コロナ禍で大きく変わったタブレット端末の活用やリモートでの会議・打合せなどの環境をうまく生かしながら、今まで培ってきたよい部分を継続していくような活動が盛り込まれています。

委員は、各校の教育課程編成の実務を担っている主幹教諭・教務主任で構成されています。日高市の将来を見据え、今後の日高市の小・中学校のあるべき姿を委員が中心となり熱の入った協議が進み、主体的な研究となりました。誰しものが本市の掲げている「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」を成功させようという意気込みに溢れ、情熱ある教師の姿を見ました。正直なところ時間が足りないくらいでした。

この冊子につきましては、それぞれの委員が委員会で見出した課題を学校に持ち帰り、子供たちの実態に応じた内容を小・中学校の教職員が話し合い、そして、その学校区ならではの小中一貫教育の研究としてまとめたものです。先生方の知恵と経験が結集した冊子となっています。この研究冊子の内容が、特効薬とはいかなくても、漢方薬のようにじわじわと効いてくることでしょう。みなさんの教育活動の一助になれば幸いです。

さて、令和7年度には義務教育学校が3校揃い、義務教育学校以外の学校も小中教育一貫校としてスタートするまさに本格実施な実施です。合言葉は、「目指そう！気は優しくて（利他の心）、力持ち（主体性・学力・体力）」です。

結びに、本委員会の運営にあたり、ご尽力いただきました日高市教育委員会学校教育課教育指導幹小坂井啓二様に感謝すると共に、日高市内の小中一貫教育に向けた取組がさらに発展しますことを祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

目	次
---	---

	頁
1 日高市小中学校未来構想	1
2 本年度の最重点課題	1
3 日高市学校運営協議会について	1
(1) 学校運営協議会の定義	1
(2) 学校運営協議会設置の趣旨	1
(3) 日高市学校運営協議会の組織運営	1～ 3
(4) 地域学校協働活動（本部）について	4～ 6
※参考	
令和6年度学校運営協議会報告等	7～12
日高市コミュニティ・スクール研修会記録	13
令和6・7年度埼玉県地域学校協働活動に関する 研究委嘱中間報告	14～15
日高市学校運営協議会規則	16～17
日高市地域学校協働活動推進員設置要綱	18～19
4 日高市小中一貫教育について	20
(1) 日高市小中一貫教育の目的	21
(2) 日高市小中一貫教育導入の背景	21～23
(3) 日高市小中一貫教育の特色	23～26
(4) 新しい学年段階の設定と学びの工夫	26～28
(5) 小中一貫した教育課程の編成・実施に関する取組	28～29
①学校・地域の実態調査と小中共通目標	30～45
②小中一貫教育に係る教育課程の編成	46～50
③小中一貫教育に係る各地区の特色を生かした取組	
【施設一体型義務教育学校】	51～78
【施設隣接型・分離型小中一貫校】	79～106
※日高市小中一貫教育校・義務教育学校ふるさと科全体計画サンプル	107
(6) 令和6年度小中一貫教育推進委員会の取組	108～118
(7) 義務教育学校開校に伴う事務Q & A	119～124
(8) 令和7年度の重点課題	124
○参考資料（各市町日高市訪問記録）	125
※ 日高市小中一貫教育推進委員会名簿	

日高市 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育について

日高市教育委員会

1 日高市小中学校未来構想 「目指そう！ 気は優しくて 力持ち」

＜日高市教育ビジョン：自らの力と人との絆で 未来をつくる 日高の教育＞

2 令和6年度の重点課題 「地域の特色を生かした小中一貫教育の推進」

○義務教育学校 高根小中学校・武蔵台小中学校教育体制への支援

○義務教育学校 高麗小中学校開設に向けての準備

○小中一貫教育における特長を生かした教育課程の編成と「ふるさと科」の推進

○各地区課題解決のための地域学校協働活動の実践

3 日高市学校運営協議会について

(1) 学校運営協議会の定義

文部科学省では、「学校運営協議会制度を導入した学校」を、コミュニティ・スクールとしている。そして、学校運営協議会とは、「教育委員会規則で定めることにより、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関」と定義している。日高市は小中一貫教育を市内全校で進めていくことから、小中一貫教育を支える基盤とするため市内6地区すべての小・中学校区で一つの学校運営協議会を設置した。

【日高市学校運営協議会】

高麗地区学校運営協議会 高麗川地区学校運営協議会 高萩地区学校運営協議会

高根地区学校運営協議会 高萩北地区学校運営協議会 武蔵台地区学校運営協議会

(2) 学校運営協議会設置の趣旨

日高市では、平成18年度より、各校に学校評議員制度を導入し、家庭・地域との連携を通して、地域に開かれた学校づくりを進めてきた。そして、平成29年地方行政法の一部改正により学校運営協議会設置が努力義務化されたことに伴い、本市も地域に開かれた学校から一歩踏み出し、「どんな子供を育てるか。何を実現していくか。」という目標・ビジョンを地域と学校が共有し、一体となって子供たちを育む、地域とともにある学校を目指していくために学校運営協議会を設置した。

(3) 日高市学校運営協議会の組織運営

(ア) 委員の任命と公募（推薦）について

1 一の協議会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者について、教育委員会が任命する。

(1) 対象学校の所在する地域の住民

(2) 対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者

(3) 社会教育法第9条の7第1項に規定する地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者

(4) 対象学校の校長

(5) 前第4号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 教育委員会は、前項第1号に掲げる者のうちから委員を任命する場合は、公募するものとする。

上記(1)地域住民については、「公募」とする。また、学校は、年度末に、教育委員会へ翌年度の委員の「推薦」を行う。教育委員会は、公募結果と学校からの推薦書をもとに、委員の任命を行う。

日高市では、小中一貫教育を導入する関係から各地区一つの学校運営協議会となり、委員の人選は各地区の小学校と中学校で協議した上で推薦する。

(イ) 委員の任期、身分等について

(任期)

委員の任期は、2年とし、再任を妨げない¹。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委員は、地方公務員法第3条3項に定める特別職の地方公務員とする。

(守秘義務)

委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(ウ) 委員の役割について

(所掌事項)

協議会は、法第47条の5第4項から第7項までに規定する事項のほか、前条の設置の目的に係る協議の対象とする小学校及び中学校につき、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 学校教育法施行規則第79条の9第1項の規定により小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すための必要な支援に関すること。
- (2) 小学校及び中学校において相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行うための必要な支援に関すること。

法第47条の5第4項の教育委員会規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 教育目標及び学校運営に関する事項。
- (2) 学校施設の管理に関する事項。
- (3) 法第47条の5第7項の教育委員会規則で定める事項は、対象学校の職員の採用、転任及び昇任に関する事項（特定の個人に関するものは除く）とする。

学校運営協議会の要となる権限は、「基本方針の承認」であり法律に規定され、学校運営協議会が必ず行うこと（必須）とされている。具体的には、会長が進行する協議の中で、小中学校長の説明を受けて協議し、承認する形となる。万一、協議会と校長の意見が異なった場合は、議論を尽くして改善等を図るようにする。

承認時期は、PDCAの視点から年度末（会議の最終回）に学校評価と併せて次年度の経営方針等について説明し、承認を得るようにする。但し、新年度に、校長の定期異動や委員の交代等もあることが予想されるので、新年度に改めて説明し、委員の理解を得るようにすること。

基本方針の承認以外の権限・機能としては、他に「学校運営等に関する意見の申し出」と「教職員の任用に関する意見の申し出」等がある。学校運営協議会は、当該学校の運営全般について、広く保護者や地域住民等の意見を反映させるべきであるので、小さな意見も大切にすること。

尚、本市では、学校運営協議会が小中一貫教育を支えるという考えから、会議で具体的な学校支援策を協議したり、地域の特色を生かした活動を協議したりする。その際は、学校、家庭、地域、それぞれの立場から何ができるかを話し合うようにすること。

(エ) 組織と年間会議等の計画について

(会長及び副会長)

- 1 協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 2 協議会に副会長を置き、会長がこれを指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 1 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。
- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

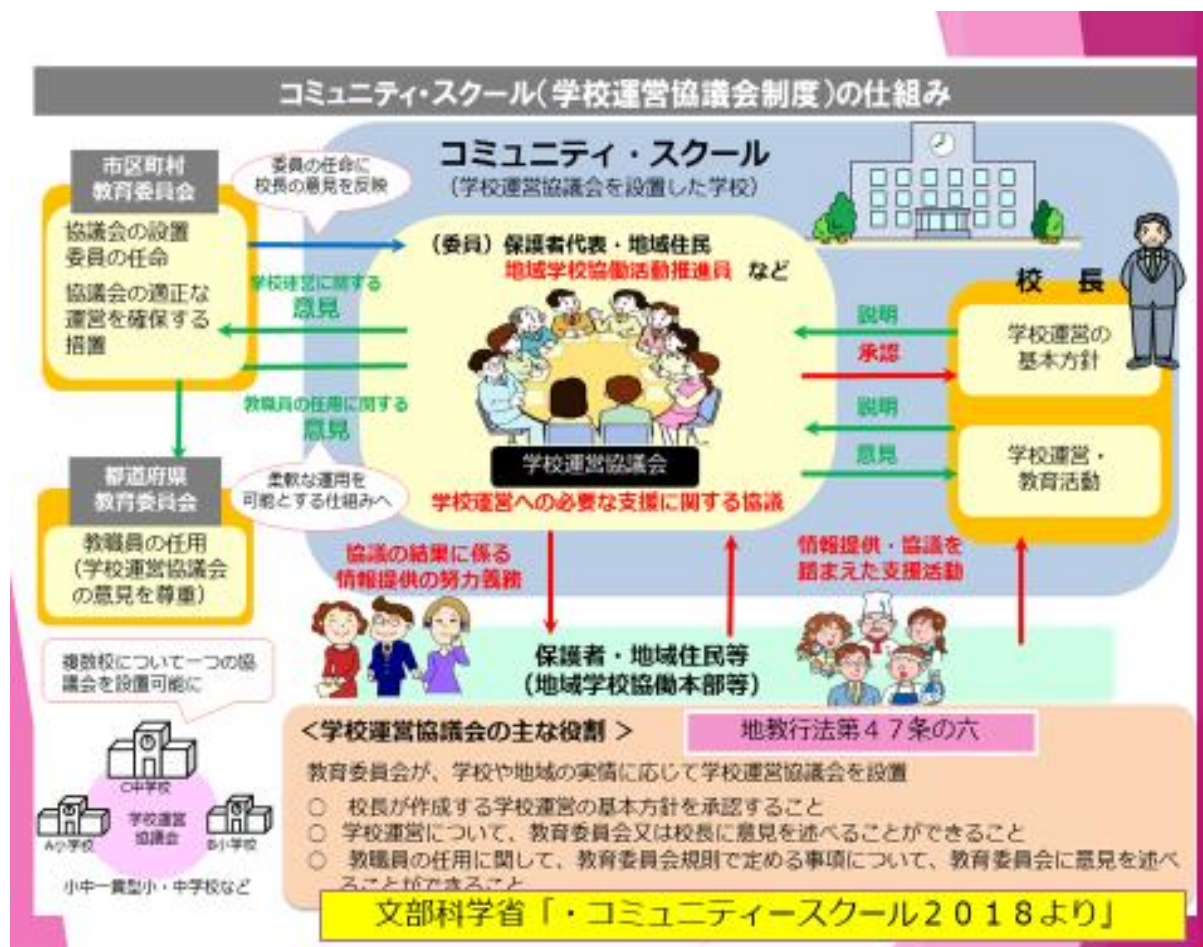
(日高市学校運営協議会規則第8条より)

(会議の年間計画例)

- | | |
|---|---|
| 1 学期 (4月～8月) | ☐ 会長と副会長の指名 ☐ 学校運営の基本方針等の承認
☐ 目指す児童・生徒像、年間テーマ等についての協議 |
| 2 学期 (9月～12月) | ☐ 学校の教育活動についての支援・参画に関する協議
☐ 学校、家庭及び地域における教育課題解決の協議
☐ 小中一貫教育推進への具体的な支援の協議 |
| ※必要に応じて、部会(委員会)の開催 ※必要に応じて、「熟議」の活用 | |
| 3 学期 (1月～3月) | ☐ 学校の運営状況等の評価(学校評価)についての協議
☐ 次年度の学校運営の基本方針についての協議、委員選出 |

日高市 学校運営協議会の一年 モデル例





(4) 地域学校協働活動(本部)について

学校運営協議会は、学校の課題や目標、具体策等を協議していく機関であり、地域学校協働本部は、その協議されたことを実際に実現するために、より多くの幅広い層の地域住民や団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成して地域学校協働活動を推進する組織である。

① 地域学校協働活動とは

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、民間企業、団体、機関等の幅広い参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動(社教法第5条第2項)。

② 地域学校協働活動の例

- ・放課後等の学習支援・体験活動等(放課後子供教室・地域未来塾等)
- ・学びによるまちづくり・地域課題解決型学習(地域活性化の方策、提案、地域職場体験学習、伝統文化芸能学習等)
- ・学校に対する多様な協力活動(登下校の見守り、読み聞かせ、授業補助、企業の出前授業等)
- ・地域の行事等への参画(ボランティア体験活動、伝統行事への参加、学習・防災訓練への参画)
- ・家庭教育支援活動(保護者が学び合う機会づくり)

③ 日高市の現状

日高市では、6地区の学校運営協議会で熟議を重ね、令和3年～4年度に地域学校協働本部立ち上げにかかる説明会を開催した。地域の健全育成会や区長会、地区の安全を担う団体、企業、文化サークル等様々な方々に呼び掛けて、日高市のコミュニティ・スクールと小中一貫教育、そして地域学校協働活動について理解を図り、協力をお願いした。また、令和4年11月に第1回日高市地域学校協働活動推進員連絡協議会を行い、日高市の取組や各地区の進捗状況について話し合った。これまで学校にかかわっていただいた各団体や有志の方、これから協力をいただける方々を組織として整理・統合し、各地域の特色を生かした地域学校協働本部として人材のネットワークを広げ、学校の様々な課題に対応するとともに、地域の方々の生きがいにつなげることを目的として地域学校協働活動を行うことを確認し、全ての地区で地域学校協働本部を立ち上げた。現在は公民館が事務局として積極的に関わり、推進会議も年3回、定期的に行なわれながら学校と地域の活性化を目指して取組を進めている。

④ 導入の効果・成果

- ・ 地域の方との交流を通して、子供たちの「コミュニケーション能力の向上」や「地域への理解・関心」の深まりが期待できる。
- ・ 地域の方々の学校への関心・理解が深まり、地域の願いを教育活動に生かすことができる。
- ・ 安全や防災について、学校と地域の共有化を図ることができる。有事の際にその効果が現実に発揮された例もある。
- ・ 地域住民の生きがいややりがいにつながる。

⑤ 導入のプロセス・留意点

- ・ 学校や地域の課題は何かを明確にすること。
- ・ 目的の設定・周知理解促進。 → 人材確保・養成 → 実践改善
- ・ 地域住民の十分な理解と協力が必要＝仕組みが定着するまで教育委員会主導で行う。
- ・ 学校、学校運営協議会、公民館と地域学校協働活動推進員の連携が重要。情報を共有する。
- ・ 人材は課題解決のため必要な人を広く募る。名簿による管理を行う。
- ・ 無理をしない。できる人が、できる事を、できる時に行う。
- ・ 安全に活動するための保険加入を検討していく。

※協働とは「立場の異なる人たちが同じ目的のために対等の立場で協力して共に働くこと」

⑥ 地域学校協働活動推進員とは = 地域と学校をつなぐコーディネーター

- ・ 教育委員会が委嘱する。 (社教法第9条の7)
- ・ 地域学校協働活動の企画・立案
- ・ 関係者との連絡・調整
- ・ 地域ボランティアの募集・確保 (地教行法第47の5)

⑦ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するための3つの視点

- ア. 関係者が当事者意識をもって「熟議」を重ねること
- イ. 学校と地域の人々が「協働」して活動すること
- ウ. 組織としてのマネジメント (PDCA サイクル) (文部科学省 HP から)

※ 参考：令和2年度 埼玉県コミュニティ・スクールフォーラム講演
「これからの学校と地域～これからの学校運営協議会と地域学校協働活動」より

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
高麗地区	5月24日水10時	高麗中学校	1 開会（横手副会長） 2 あいさつ（潮田会長）・（志村校長）教育委員会（長嶋参事）辞令公布 3 自己紹介（座席順） 4 報告・高麗小学校経営方針、近況報告 ・高麗中学校経営方針、近況報告 5 協議（1）昨年度の流れから ○校章：新しい校章の選定、方法と期間について ・地域には募集はかけない、小中の学校だよりでデザインしている旨を掲載する。選定委により決定・体育着、ジャージ：乾きやすい素材、紺色の体育着を検討。ジャージは小学校はなしズボン検討中・「ありがとう高麗小学校」黒板アート、作文の依頼検討。イベントの認知を広める。・高麗中学校改修工事の進捗状・小中 PTA 組織の再編会則の見直し、わかりやすく・校歌について確認＝小学校校歌を第1校歌、中学校校歌を第2校歌。応援歌「元気、勇気、やる気」の歌詞を一部変更して使用できるように作詞者へ話をする方向 （3）学校運営協議会の発信について・学校運営協議会だより（4）全体への周知事項確認・制服について・高麗地区地域学校協働活動実践報告（5）その他：通学路について、小学生通学の危険箇所・横手地区のタクシー通学・プール関係
	7月9日火10時	高麗小学校	1 開会 横手副会長 2 挨拶 潮田学校運営協議会長 ―授業参観― 3 学校近況報告 小：6/7 埼玉県体育授業研 100 名参加・アクションリサーチ授業改善の取組、硬筆展出品作品好成绩報告・小中合同開校準備会、教育課程の検討、引越作業準備 中：校舎工事に伴う物品の処理、生徒の力を借りて進めている・暑さ対策で体育授業を取りやめることもある。・修学旅行、宿泊学習報告 4 協議（1）開校に向けた課題について・制服、体育着：生地の材質を変更する。・校章：児童生徒から募集。10点ほどに絞り、生徒会で協議。学校運営協議会言いの意見も聞いて3点ほどに絞っていききたい。・名札の内側を布から紙へ変更・通学路：グリーンベルト、道路標識、道路整備を進めている。通学路が変更になる可能性もあり。教委と情報共有し進める。横手地区はタクシー送迎をする。（意見）スクールゾーンを設置した方がよい地区がある。朝通学時が危険。・水泳指導はスイミングスクールを活用する。・中学校敷地周りの木の伐採が進んでいる。（2）校旗返納式は7年3月4日閉校式の意味を持たせる。5 教育委員会から・他市町の動向
	10月16日水10時	高麗中学校	1 開会 横手副会長 2 挨拶 学校運営協議会長挨拶「曼殊沙華祭り駐車場状況報告他」 3 校内見学：小中統合に係る整備工事を行った箇所を中心に見学 4 報告（9～10月行事等）・学級・学年閉鎖状況の報告・小：修学旅行、宿泊学習等行事等の説明 10/20 運動会ではお世話になる。・中：体育祭ではお世話になった。立志式、合唱、祭の取組、夏季小中合同研修会の開催＝日課表・行事の内容ふるさと科について。地域学校協働活動との関わり 5 協議（1）開校に向けた取組について・校章＝生徒会本部役員からの説明。小3 関口さんのデザイン採用＝承認。体育着・愛唱歌「元気・勇気・やる気」の進捗状況説明、タクシー通学について（横手地区13名）（2）学校評価について・5 評価観点 13 項目に小中統一、評価計画の説明。意見：小中で評価項目が揃い、評価しやすい。評価の日程も早くなり、次年度に生かす工夫がなされている＝承認（3）その他 ・10月27日、高麗小学校お別れ会「ありがとう高麗小」当日の日程内容説明（地域学校協働本部から）協力の要請。6 教育委員会から 11/22 コミュニティ・スクール研修会について（会場中学校） 令和7年度開校に係る今までの取組についての御礼 7 連絡・高麗小学校・中学校校旗返納式 令和7年3月4日（火）今後の予定について 次回：1月23日（木）10:00 小学校
	1月23日木10時	高麗小学校	1 開会 横手副会長 2 挨拶 潮田会長・成果と課題について、委員の忌憚のないご意見をお願いしたい。協議内容を地域に広めたい。3 近況報告：志村小学校長：芋煮会、昔遊び体験、2 デイウォーク環境教育、昔遊び等、地域の方からの協力をいただいた。高麗小さよならムービー企画、引っ越し作業は3月22、23日に集中して行う予定、地域の協力を願う。利根川中学校長：私立受験順調、不審な手紙届く。警察に相談、校舎内片付けは9割終わる。プール解体、駐車場として整備中、中庭固定遊具設置、中3生に記念植樹を計画（ミカンの木）新校旗出来上がる。4 協議（1）学校評価について意見：評価の数値が小中とも相当高い。児童生徒が落ち着いて学校生活を送っており、学力もしっかり向上している。A+B がすべて 90%以上、A 評価もほとんどが 5 割以上、非認知能力も育っている。子供の主体性を伸ばす取組を推進した。教える授業から学びどう授業への転換。タブレットの有効活用、リバー使用を効果的に活用するためにどこまでの情報を流すか今後の課題。教員の負担も考慮する。小中合同研修会 9 回実施、教員の関心が高まる。5 連絡 2 月下旬システムシート完成、3 月上旬市教委へ提出・高麗小中校旗返納式 3 月 4 日 10:30～高麗小体育館にて 3 月 14 日高麗中、19 日高麗小卒業式 6 教委から 次回 2 月 17 日 10 時から高麗中学校
	2月17日水10時	高麗中学校	1 開会（横手副会長） 2 あいさつ（潮田会長・志村校長）・高麗小中学校としての経営方針皆様の忌憚のない意見をお願いしたい。3 報告・高麗小・中学校近況報告 4 協議：（1）学校評価システムシート来年度へ向けての意見のまとめ：○キャッチフレーズを学校方針に入れて、学校・保護者・地域が一体となる教育を推進する。○全職員がコミュニケーションをしっかりとって進めること○地域への情報発信を積極的に進める。○地域学校協働活動とのコラボレーションが大切。○校舎内外の環境整備を計画的に進める。意見：校舎利用についてのビジョンが見えてこない。高麗小をどう活用すれば正解か行政各課の横連係をもっと取って進めてほしい。（2）令和7年度高麗小中学校学校経営方針について：目指す15歳像「よく学び 心豊かにたくましい高麗っ子」 ○立志・友愛・創造＝夢や志を持ち、自分を高める子・自分も相手も大切にできる子・よく学びたくましい子○目指す学校像「やるときはやる！ミラクル高麗奇跡を起こせ！」教職員キーワード「体感・挑戦・補完」＝承認（3）高麗小中学校開校記念日 10 月 27 日＝「ありがとう、高麗小！」を開催した日＝承認（4）高麗小中学校開校式・入学式：開校式の後入学式を行う。（5）予定 3/4 校旗返納式 3/14 高麗中卒業式 3/19 高麗小卒業式 R7 第1回学校運営協議会 5/14 10:00～高麗小中学校

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
高麗川地区	4月30日 金 10時	高麗川小学校	1 任命書交付(参事) 2 挨拶(指導幹・小学校長) 3 委員自己紹介 4 校舎内見学 5 協議(1)学校運営協議会の説明・今年で3期目を迎える。本年度は地域学校協働活動の肉付けをしていきたい。 ○令和5年度の成果と課題(パワーポイント視聴) ○学校運営協議会の組織、年間計画について・地域学校協働本部事業計画の説明・保護者や地域に広げる工夫について 6 学校運営の基本方針の説明/小学校:「すべては子供たちのために＝主役は子供」・通いたい学校、通わせたい学校、誇りに思える学校、勤めてよかった学校の創造・通学区域が広い。見守り活動に協力をいただいている。・タブレットの効果的な活用＝指導力の向上・小中委嘱研修＝小中一貫教育の充実・不登校児童への対応・学力と組織力の向上 中学校:「子供たちのために」―自主と貢献―自主＝自分で考え選択や行動ができる 貢献＝思いやり、痛みを感じ相手のために力を尽くす。・行動指針「チャレンジ・スピード・チームワーク」・教員のスキルアップ・指導を要する生徒への対応 承認
	6月28日 金 10時	高麗川中学校	1 開会(委員長)挨拶(久米校長)・学校総合体育大会が先週終わった。行事を通して「自立と貢献」の態度を育てていきたい。その中心に学校運営協議会、地域学校協働本部がある 3 説明・協議(委員長)(1)地域学校協働本部との連携について ①かえでっ子アフタースクール日程について ②高麗川地区の取組発表を6月27日(木)に行った。 ③6月29日(土)、親子スポーツレク祭がある。④地域学校協働本部のこれからのについてテーマ「できる人が できることを できるときに行う」ア 年々地域の方の関わりが密になってきている。イ 今やっていることを更に充実させていきたい。ウ ふるさとを愛する子供が育ってきている。エ 12月の職場体験は地域との接点になるので、ぜひご協力いただきたい。(2)具体的方策の検討 ①地域の催し物に生徒が積極的に参加する。→地域と学校(生徒)の結び付きが強まる。②地域にいる若者を取り入れる。→中学生の内から地域の催し物や祭り等に参加していれば、その後も地域に関わり続けるのではないかと。4 その他 ①以前行った「あいさつ運動」の効果なのか、子供たちが顔を見るとよく挨拶するようになってきた。「あいさつ運動」のように、「～運動」というものを行ってはどうか。 ②高麗川小・中学校の体育着について。速乾性があり、子供たちが安心して着られるものに変更していきたい。(PTA や衣料品組合と協議していく)③地域学校協働活動推進セミナーについての概要説明
	10月24日 木 10時	高麗川小学校	1 授業参観 2 挨拶(市教委・小学校長) ○地域学校協働活動推進に関する研究委嘱中間発表、フォーラム参加についてお願い。○運動会・体育祭参加の御礼、行事の成果、合唱祭への参加要請 ○11/22 研究委嘱「未来を創る高麗川っ子の育成」発表の情報 3 説明・協議 (1)小中一貫教育について ・高麗川小・中学校、ふるさと科の取組説明、地域学校協働本部との関わり。保護者・地域へ小中一貫教育の周知(2)地域学校協働活動について ・6地区実践内容の紹介、協力体制を整備すること等高麗川地区の課題について話し合い。青少年健全育成会と地域学校協働本部の関わり方についての意見。学校応援団、放課後子供教室等と地域学校協働本部をどう捉えていくか課題。新しいメンバーをどのように集めるか。(3)学校評価について＝承認 【学力・質問紙調査への意見】・不登校児童生徒の様子・「学校が楽しい」低いのが気になる。家で計画的に学習する子が多いのに学力が低い。学習時間は小の方が意識が高い。保護者の影響か。学び合いの大切さを再認識している。(4)その他 埼玉県地域学校協働活動フォーラム 11・22(金)
	1月24日 金 10時	高麗川小学校	1 開会 委員長 2 挨拶(中学校)・私立高校受験対応、サッカー部市長表敬訪問、校内見学(20分) 3 協議(1)令和6年度学校評価小:保護者の評価は上昇傾向、職員は下降傾向にある。小中一貫の取組評価が昨年より10P下がった。小中の足並みが揃っていない。保護者への啓発は浸透しつつある。Aのみの評価が低い。中:どの項目も評価は上がっているが基礎学力はY評価。教員と保護者のギャップが大きい。家庭学習のとらえ方の違いがあるのではないかと。評価内容について観点を確認して、見方をそろえていくことも必要である。評価目線の違いは仕方がない。教員も評価の実態を知り、現実を見直す機会としてほしい。小中一貫教育の内容を保護者に理解してもらえよう情報を提供した。義務教育学校と小中一貫教育校における学年の呼び方の質問あり。(2):地域学校協働本部について青少年健全育成会との関係について、教員から地域学校協働活動への要請をしっかりと行ってほしい。来年度に向けて、内容をしっかりと話し合い取り組みたい。4 情報提供 小:子供会、育成会への入会をしない家庭が増えて登校班編成に支障が出ている。中:部活動縮減の方針について
	3月7日 木 10時	高麗川中学校	1 挨拶(教委)・1年間御協力の御礼。2 協議○高麗川小・中学校評価のまとめ・改善策【小】小中一貫教育の推進。児童生徒と教職員相互の活動。主体的に取り組む家庭学習の在り方、学校からの発信は困っていることも伝える。教育相談の充実。通学の見守り等安全への配慮について議論が必要。【中】小中交流事業の見直し、乗り入れ指導、授業交流、小中統一テーマの設定。体育着の小中統一を進める。自主的に取り組む家庭学習の在り方を考える・キャリア教育の計画的実施・リーバの導入テニスコートの整備。【意見】学習の仕方が分からない子供へ、学習の仕方手引きを作成することも必要。・小中一貫教育において最も大切な点は、児童生徒のつまづきを小中で共有して教員が協力してその解決を図ること。・子供の通学時の安全確保について、議論をする必要がある。子供会に入らない家庭がかなりある。3 地域学区協働活動の取組:地域学校協働活動報告 地域学校協働本部として14回の活動実施、その他学校ボランティアの学習支援活動多数行った。4 来年度第1回5月9日(金)10:00～高麗川中

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
高 萩 地 区	5月21日 火 14時	高萩小学校	1 高萩小学校授業見学 2 任命書交付・市教委挨拶 会長選任：石田則雄 副会長：鴨下吉彦 3 協議 (1)高萩小中学校経営方針について→承認 (2)年間活動計画について別紙・年5回以上開くことも可能であるので、積極的に話し合う機会をもうけてほしい。4 確認・説明 (1)地域学校協働本部の取組・高萩地区コミュニティ・スクールを基盤とする小中一貫教育に関する目標について「ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子」・目指す学校像 「みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校」・高萩小中学校地域学校協働本部（学校を支える組織）の運営等について→再検討を要する。・活動の目的を明記する。標記の内容については、コーディネーター、各グループの代表、校長で決定していく。(2)学校運営協議会準備会について→一週間前くらいに開催する。(3)高萩小中の渡り廊下について R6は設計・計画、R7 着工 何れは義務教育学校にすることを視野に入れていく。効果的に小中一貫教育を進めていく為に行う。
	9月3日 火 14時	高萩中学校	1 校舎内見学 2 挨拶（教委）小中一貫教育推進に向けて、2学期中に保護者・地域への周知を行うこと。（運営協議会長）学校運営協議会と地域学校協働本部のそれぞれの役割について 3 協議 (1)地域学校協働本部の運営等について・活動内容とメンバーを新たに付け加えた。各担当・部を担う者とその内容を明らかに示すため。(2)活動報告と今後の予定（別紙）○健全育成部：登校指導8回・青少年のための施設見学8月・中学地域クリーン活動11月○学習・課外活動部：日高塾協力11回 野菜作り、高萩ばやし保存会実演11月○安全安心部：萩っ子見守り隊活動374名・年間200日 ○環境整備部：雑草除去作業・上木の剪定（年間）、ベンチ・長椅子リニューアル、花壇環境づくり、池清掃等 (3)学校施設に関する現状と市への要望について ○台風・豪雨による漏水被害 (中) ○校庭樹木の健康診断実施 ○小中を結ぶ渡り廊下の設置について：埋設物の関係で当初予定からずれる。(4)その他 ○善行表彰の紹介 (中)・ゴミ拾いを行った。具合の悪い人を助けた。○タイピング練習の実施 ○校則の見直し・髪型（ツブブロック・お団子）生徒総会にかけてアンケート調査を保護者・生徒に実施した。年度内のは結論を出す。校長判断。・ジャージの見直し4 連絡○高萩地区小中一貫教育に係る組織についての説明（別紙）
	11月12日 火 14時	高萩小学校	1 開会 副会長 2 挨拶 教委・会長・放課後日高塾（高萩小34年生）県市町村支援部視察報告 3 協議 (1)学校評価の項目について・5項目10指標、A+Bの評価とAのみ評価を記載する。達成度については、x・y・zに変更・小評価シートに「学校は・」を付け加える。(2)令和5年度当初人事について→学級見込み数、教職員定数、加配の状況説明。小の課題：学力の向上、安全な学校づくり、若手教員の育成、CSを基盤とした小中一貫教育。中：英語・体育・数学で少人数・TT実施、国・家庭で小への乗り入れ授業実施予定。教職員の不足が深刻。教科によって時間の余裕が無く校務分掌に支障が出ている。(3)地域学校行動本部の組織・運営について報告と課題・今後の予定・小学日高塾：開始時刻の変更、募集学年について。増やすと指導員の不足が懸念される。・野菜作り、サツマイモ作り、高萩ばやし、まち探検・環境整備 (4) その他・行事の精選、働き方改革の必要性（中ロードレース大会取り止め、部活動の地域移行はどこが主管か、早急に代表者会議等を行うべき、留守番電話の導入、教員、保護者、地域への啓発の必要性）・中ジャージの変更、制服検討・中体育館脇桜の伐採、体育館エアコン設置
	1月24日 金 14時30分	高萩中学校	1 開会 2 挨拶 教委・会長・コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を進めることが本来の趣旨。原点に戻ってしっかり取り組んでいきたい。3 協議 (1)学校評価について 小の意見：・10項目中ほとんどが向上した。地域学校協働本部の取組、いじめへの対応が大きく評価が伸びた。教員と保護者のギャップがみられる。教職員の意識改革が必要。体育部を中心とした外遊びの励行や体力向上に努め成果が上がった。基礎学力に対する教職員の自己評価が低い。学校としてどうであったかを考え、適切な評価規準の設定をする必要がある。ふるさと科における地域学校協働活動の充実を図る。地域の見守り活動は充実している。いじめを受けたこのケアを適切に行うこと。中の意見：全体的に数値が向上した。家庭学習の捉え方に教員と保護者でギャップがある。落ちている。・生徒が明るく自主的に取り組む姿がよく見られた。不登校生徒が減少した。公立高校入試における出欠の記録廃止への質問。行事の精選について、働き方改革の見地から致し方ない。避難訓練、緊急時の対応について。学力を向上させるための若手の育成について。計画的な研修の実施。小中連携の観点から工夫がほしい。小中校庭の使用法など。(2)学校運営協議会・地域学校協働本部の取組について、年間計画の確認。職場体験が始まるのでよりしくお願いしたい
	3月4日 火 14時30分	高萩小学校	1 開会 2 挨拶 教委・会長・1年間の御礼 3 協議 (1) 令和7年度小中学校経営方針の承認について（別紙）→承認主な変更点【小】小中一貫教育としての教育課程の工夫＝語彙力と書く力を伸ばす、四則計算の定着 ICT 活用力の向上、主発問・補助発問の工夫、居場所のある学級経営学校研究「確かな学力を身に付けさせる学習指導法の研究」、小中合同委員会の実施、職場体験発表等【中】小中一貫教育校取組の積極的な発信・広報活動→保護者地域に取組を伝え理解を得る。・生徒が主体的に取り組む家庭学習方法について。ふるさと科の実施＝「桃太郎電鉄」の活用タブレットの活用タイピング技術の定着、ハイパーQUを活用した学級経営 (2) 高萩地区学校協働本部活動報告：【健全育成部】登校指導、青少年施設見学【学習・課外活動部】野菜作り、日高塾、高萩離子保存会の実演見学【安全部】見守り活動205日実施【環境整備部】雑草除去作業、木の剪定、伐採等 (3) 今年度を振り返って・6年間の活動の積み重ねが成果となり、様々な活動が具現化してきている。地域学校協働活動をさらに盛り上げていきたい。学校に関わる様々な有意義な話し合い、取組ができた。(4) 小中一貫教育発表資料について・・・取組の歩みを残す。協議会実施計画・第1回5月21日（水）13:45 高萩中

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
高 根 地 区	5月24日 金 10時	高根小中学校	※ 委員授業参観 1 任命書交付 市教委挨拶 会長：柳沢孝 副：阿部一智 2 委員自己紹介 3 挨拶 会長・校長 ・学校の様子、教職員の様子等順調な滑り出しができています。4 参加者自己紹介 5 協議 (1) 令和6年度高根小・中学校経営方針の確認 学校教育目標【知】かしこく・自主自立【徳】なかよく・温厚篤実【体】たくましく・勇壮活発「夢を持ち、自分の行動に責任を持つかにたっ子」→自ら学ぶ児童生徒・夢に向かって頑張る児童生徒・諦めないでやり抜く児童生徒○本年度の重点「15歳で社会的に自立できる児童生徒の育成」(2)学校・地域合同運動会体育祭に向けての意見交換・スポーツ協会、自治会との話し合いを行い、地域との合同事業を画策する。本年度実現に向けて頑張る。ふるさと科との関連も視野に入れる。(3)連絡「かにたっ子放課後子供教室」について6/24～1/27 全7回実施 (4)年間予定の確認(5)その他・「児童生徒」を子供として呼び名を統一できないか。→学校教育法で定められている。公的な場での表記はこの呼称が望ましい。使い分けを考える。・高根小中学校名に違和感あり。小中学校なら前期・後期で分けるのはおかしい。→義務教育学校の内容について説明。理解を得る。呼称についても、決定間の経緯を説明。次回：7月10日(水)高根小中
	7月10日 水 10時	高根小中学校	1 日高市教育委員会から・各地区取組紹介 2 挨拶 学校運営協議会長 ・様々な課題に対し、しっかり議論を重ねて解決を図りたい。・校長：1学期を振り返り、前後期合同で行う行事ができなかった。7/3に合同の朝会実施。教室配置が教育課程上功を奏している。3 協議 運動会・体育祭実施計画 ○10/5 テーマは「交流」。前後期の児童生徒がチームを組んで種目を行う。異学年交流が出来る様に児童生徒会で考える。地域の方々も参加できる競技も取り入れる。スポーツ協会と協力していく。体育祭実行委員会を立ち上げる(地区体育祭も兼ねる)賞品をどのように取り扱うか。学校と地域が共同で行うために、目標をどこに置くのかそれぞれの立場から話し合っ折り返しをつけていく必要がある。(2)社会的自立に向けた取組 ○学校行事等を通じ、様々な場面で児童生徒に考えさせ、運営を任せてみる。5・6年の児童も参加させる。(3)令和6年度地域学校協働活動推進計画(案)について1 方向性：取組を充実させる・社会資源バンクへの人材資源発掘の継続展開 2 内容：放課後子供教室の再開・登下校安全見守り・学校地域合同運動会開催に向けて・地域学校協働活動ネットワーク作り。
	11月13日 水 10時	高根小中学校	1 開会 会長 2 挨拶 教育委員会：地域学校協働活動県委嘱に係るお願い 校長：11/8開校記念日(校章・校歌制定日) 3 協議○運動会を終えて成果と課題・雨天により、体育館で行い地区と学校の競技を分けて行わざるを得なかった。600名を超える人が集まり、危険な面もあった。日高小の全体踊りはよかった。・別日になった関係で前期課程の児童の競技が少なくなった。・会場が狭かった。雨天時は順延してほしい。(PTAから)・重ねての会議により地域と学校の考え方が一致できた。雨天時に備えた準備が必要、例年も続けてほしい。(スポーツ協会から)・全体として、肯定7割、否定2割。○音楽祭を終えて成果と課題・コンクール形式を廃止し音楽祭とした。全員合唱もみじは低学年の子の声がよかった。5・7・8・9年生の発表。6年生はなかよし運動会取組のため発表なし。レクリエーションは盛り上がった。午後は文化祭を行った。意見：子供の成長が分かる。1時間程度で終わり物足りなさを感じた。大人の合唱も聞きたい。地域学校協働活動として公民館サークルの協力を得るのも一考。(3)学校評価について：内容承認・12月回答→1月集計・分析→2月学校運営協議会で意見を伺う。4 その他・PTA組織について＝現在は本部役員のみ。・通学班の是非・地域学校協働活動推進フォーラムについて・生徒指導報告
	2月19日 水 10時	高根小中学校	1 市教委挨拶 2 学校運営協議会長挨拶小中学校長から：コロナの罹患状況について。私立高校入試状況について 3 令和6年度学校評価報告(1)学力面：前後期とも県学力調査では、県結果よりも低い伸び率はかなり高い。底上げができてきている。タブレットによるレベルに応じたドリル学習の活用や詩の暗唱(後期生徒の協力)掛け算九九検定などの取組ができています。また、後期教員による前期乗り入れ授業(教科担任制の実施)に取り組んでいる。反面学力上位層の伸び悩みが目立つ。(2)いじめについて：前期21件の認知事例。7件継続指導。重大事案なし。後期：7件の認知、2件継続指導。前後期教員の協力体制が整いつつある。情報共有に努めている。(3)委員からの意見：子供が主体的に考え取り組む姿勢が出てきている。積極的になってきている。学力が低く推移している中で、教職員の自己評価の高い点が気になる。評価規準をしっかり示して自己評価することが大切ではないか。教職員の肯定的評価は大切である。自信を持って取り組んでいる証である。ふるさと科の取組を宣伝も含めてしっかりやってもらいたい。(4)その他：児童生徒の意見を学校運営協議会でも取り入れていくとともに、教職員も学校運営協議会や地域サロンとの交流ができるとよい。良い方法を考えていく。4 (1)連絡：3/26修了式と6年生修了証書授与式実施。4/8入学式(1年)、7年生進級式実施(2)来年度の運動会も学校地域合同で行う。
	3月5日 水 10時	高根小中学校	1 挨拶：教委 ・今年度活動の御礼、来年度に向けて協力依頼 2 協議 (1) 学校評価についての意見・A評価の扱いをどう考えるか。生徒からも直接評価を聞くべき。・小中の活発なかわりを期待する。基礎学力の定着の評価が甘いのではないか。指導によってどんな変化や事実が出てきているのか考える。・子供の主体性を重んじる教育の継続、上位層への学習支援配慮・ふるさと科は大切な試み。教員が積極的に地域に出てほしい・高根地区社会資源バンクを活用してほしい・いじめ問題については引き続き力を入れてほしい・環境美化、安全見守り活動の高齢化への対応が必要・日ごろからの安全教育指導の徹底・防災教育に地域を巻き込む。(2)令和7年度学校経営方針の承認：経営方針：かしこく(自主自立)・やさしく(温厚篤実)・たくましく(勇壮活発)目指す学校像：「未来を生き抜く力を育む高根小中学校」目指す児童生徒像：「夢を持ち、自分の行動に責任を持つかにたっ子」具体的な姿「自己肯定力を備えた生徒」本年度の重点・努力点「15歳で社会的に自立できる児童生徒を9年間で段階的に育成する」意見：縦割り活動を積極的に推進してほしい。放課後日高塾について、場所を考えてほしい。

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
高 萩 北 地 区	5月14日 火 15時	高萩北中学校	1 任命書交付 市教委挨拶会長：杉山博行 副：小泉恵子・高沢次男 2 委員自己紹介 3 協議(1)高萩北小・中学校経営方針の承認について→ 承認 目指す15歳像「明日をひらき伸びゆく輝多っ子」小学校教育目標 「かしこく あたたくく つよく」：最重点目標「凡事徹底」・ふるさと科の取組推進、発信力の育成、非認知能力の育成と学級活動＝学校研究課題、いじめ防止会議による共通理解、施設分離型小中一貫教育校開校に係る教育活動の充実 中学校：学校像：「未来を創造する力を育む学校」教育目標：「自立・創造・貢献」「教え」から「学び」へ ～教えない授業の具現化～ 開かれた学校＝地域学校協働活動の推進・確かな学力＝プレゼン能力の育成・豊かな心の育成＝教育相談の充実・教職員の資質向上 (2)令和6年度の取組について 「小中一貫教育に係る取組」・ふるさと科の導入＝各学年年間指導計画の作成、地域学校協働本部のとコラボレーション・中学校教員による小学校乗り入れ授業＝ふるさと科との関りで計画的に進めていく。(3)その他・学校運営協議会、健全育成会(地域学校協働本部)、民生委員、児童委員、スポ少等、地区各団体の説明、日高市令和6・7年度地域学校協働活動推進に関する研究への協力依頼(市教委から)
	6月5日 水 14時	高萩北小学校	1 あいさつ 教育委員会 2 近況報告 北小：5年の宿泊学習、職員の心肺蘇生法講習、プール清掃5・6年生の児童本日プール開き。敷地内の木の伐採、周辺工事が続くので引き続き安全に配慮する。北中：修学旅行。自立・創造・貢献の具現化。失敗も含め良い経験に。飯能市ツーデーウォークに90名の応募があり、そのうち10名が参加 3 協議(1)地域学校協働活動についての説明。健全育成の会の組織改変についての説明。チームKITAについての説明。意見：先生方がコミュニティ・スクールや地域学校協働活動についてどの程度理解しているのか。もっと積極的にかかわってほしい。→先生方の意識は変わってきている。保護者会時に低学年の児童保育が必要なら協力したい。→協働本部が協力者を募る。・コロナ禍で色々な行事が中止になったことで、やらない方が楽だと思える方が増えた。様々な活動を再開するにあたって、もう面倒だからやらなくても良いという意見との板挟みになっていることを知ってもらいたい。・アフタースクールについての説明。10月～2月で活動。9月まで募集。・年間の予定表を見せてPTAにも募集をかけるのはどうか。人数はどのくらい必要か。→人数を決めると苦しくなる。手をあげてやってくれる人にやってもらうので良い。
	10月30日 水 14時	高萩北中学校	1 挨拶 日高市教育委員会・第3回コミュニティ・スクール研修会についての参加依頼 2 近況報告 【小学校】・行事(運動会、遠足、授業研究会等)、地域学校協働活動の取組報告・近隣工事進捗状況 【中学校】・生徒総合体育大会西部地区予選、駅伝大会の結果報告、校外学・ふるさと科の取組、1 DAY ツアー、行事、資源回収について 3 小中一貫教育進捗状況(PPによる説明)・小中間の交流＝地域清掃、陸上部員による6年生への指導、教職員合同研修会、兼務発令の実際、小中の体育着を統一。【意見】小中の交流を出来る範囲で積極的に進めること。 4 協議(1)地域学校協働活動の運営について・除草活動、小中学校花植え活動、夏季夜間パトロール(5回)北子連ジャンプ大会の運営と今後の実施方法について協議(2)学校自己評価シートの説明と実施計画について(12月実施・1月意見の委員まとめ・2月報告)(3)中学校部活動について・今後の生徒減、教員減を鑑み部活動を縮小せざるを得ない状況になる。部活動の地域移行は進んでいない。どこがイニシアチブをとって進めているのかははっきりしない。協議会としての要望を出す必要がある。早急に進めたい。(4)児童生徒学校生活について・不登校・いじめの現状説明 5 令和6年度地域学校協働活動推進フォーラムについて
	1月29日 水 15時	高萩北中学校	1 挨拶 市教委 2 近況報告：中・不信な手紙が郵送された件。警察に相談。見守りを強化した。リーバで保護者へ通知。・2年生ふるさと科の取組「日高市を調べる」「埼玉住み心地の良いまち大賞」で県知事賞他8名の優秀賞をいただく。小中連携で北小3年生にプレゼンを行う。好評だった。3 協議(1)学校評価について・A+BとAの%表記、達成度x、y、zで。(意見、学校の見解)・学習習慣についての評価が低い。生徒の自主性を重視した家庭学習の在り方を模索したことに起因する。スクールタクトを利用した振り返り。客観的な分析ができるので導入した。(2)令和7年度当初人事の説明・学級見込み数、教員数、加配教員の内訳と担当教科について・生徒数減、9学級+特支2学級、理科の教員減・数学・体育で少人数指導・技術教員が小学校乗り入れ授業に参加・キャリア教育(職場体験、高校訪問等)の実施、ふるさと科小中一貫授業の実施。(3)北中部活動の再編成方針について→段階的に部の削減を図る。(4)見守り隊・子供を守り育てる家の現状と今後の在り方について協議→メンバーの高齢化、減少が加速しているメンバーを広く募る。公民館が窓口(5)その他小学校で子供会育成会を抜ける保護者が増加している件、通学班編成に支障が出ている。
	2月26日 水 15時	高萩北小学校	1 挨拶 2 近況報告：卒業式関係 3 協議(1)学校評価への意見 小：いじめの早期発見、組織的対応を継続する。に努める。小中一貫教育の開始に伴い、計画・実施・改善を丁寧に行う。家庭学習の在り方を児童・保護者に理解され協力を求める。小中一貫教育校として開かれた学校を目指す。地域・学校・保護者が連携して明るい挨拶が行きかう地域づくりを行う。児童が豊かな経験を積めるような行事内容について検討。小中合同地域清掃や緑化活動を通して深い学びと体験活動を重視していく。中：いじめの対応と心の病への対応をお願いしたい。小中合同行事で子供と教員、教員相互の連携を深めていく。主体的に考える生徒の育成が重要。家庭学習によるきめ細かな指導をお願いしたい。少人数指導やティームティーチングによるきめ細やかな指導を継続してほしい。小中交流事業を充実させ放課後子供教室にも参加してほしい。保護者に小中一貫教育をもっと知らせてほしい。感動する心、思いやりや目標に向かって努力することの大切さ等を教えてほしい。PTA 活動をどのように進めていくかが今後の課題。(2)令和7年度学校経営方針説明 4 地域学校協働活動報告：地域学校協働本部に子ども部を作る。

令和6年度 日高市6地区学校運営協議会報告

地区	時間	場所	内 容
武蔵台地区	5月15日 13時40分	武蔵台小中学校	○校舎見学・授業参観 1 任命書交付 教委挨拶 (参事)・学校への支援のお願い、地域学校協働活動の推進のお願い。2 会長選出 会長：本間 英之 副会長 篠崎 明子 3 校長挨拶・学校近況報告・学校運営協議会の役割について辛口のパートナーとしてお願いしたい。最終責任は校長にあり。・後期中間テスト。7年生が大きな変化、落ち着いて授業に臨んでいる。通信陸上で県大会に出場、児童生徒会活動に力を入れる。6年生のリーダー性を培う。4 授業参観感想・落ち着いた授業、児童は生き生きとしている。2年生の教員と児童のやり取りに成長を感じた。前後期の交流ができています。児童生徒同士の挨拶ができていますか関心がある。5 令和6年度学校運営の基本方針について 目指す15歳像「たくましく未来を切り拓き 一歩上を目指す台っ子」 今年度はキーワードに「表現」「挑戦」を付け加えた。・前後期乗り入れ授業の充実・非認知能力の向上＝自己効力感の育成・R6 重点「義務教育学校ならではの教育課程を編成する」＝地域の教育力・外国語・制服自由化等の特色を生かした教育の実現、児童生徒総会の実施＝1～9年生全員が参加。児童生徒会規約の策定、異年齢交流活動＝兄弟学級の実施
	7月10日 水 13時	武蔵台小中学校	1 開会・挨拶 日高市教委 各地区の取組紹介、他市町の実態 会長挨拶：アドバンス委員参加による拡大会議 2 報告 学校運営の進捗状況 (スライドによる振り返り) 日高市行事の参加・入選状況 フレンドリースクール防犯教室 5年ふるさと科・出前授業 (醤油秘密) 部活県大会出場報告、児童生徒会活動「人権宣言」・ミンガン州児童生徒と教育向け動画 Flipgrid を使用したビデオチャット実施 3 協議 (1) 児童生徒会からの提案＝ビオトープ周辺の整備、タイヤ木山の整備、び環境整備作業について、スライドで説明。学校運営協議会・地域学校協働本部の協力を得たい。環境整備活動は昨年からの懸案事業。実施日 8月23日 通学路の除草については学校教育課から建設課へ話が通っている。安全面をどのように確保するか、保険加入も本年度中には整備される模様。関係者で話を詰めておいた方がよい。地域学校協働活動として、できることとできないことの区分けをした方がよい。児童生徒に具体的に何をどうしていくか、しっかり計画を立てて提示することが必要。
	9月11日 水 11時	武蔵台小中学校	-授業参観- 1 開会 2 市教委挨拶・会長挨拶 3 協議・報告 (1) 8/23 実施・地域学校協働活動環境整備についてご協力ありがとうございました。・2学期以降の取組について：10/5 運動会、10/26 校内音楽会、11/26 ツーディウォーク参加・学校教育目標の具現化「考える子・感動する子・仲良くする子」自己有用感を育む＝承認・貢献・自己存在感の向上・校内研修「自己効力感と学力」中室牧子氏講演・前後期子供たちの交流を増やす。・6年生の活躍する場面を意図的に増やしていく。・教職員の心構えについて「風通しの良い職員室・組織を大切に・子供中心の丁寧な指導」(2) 学力調査結果報告並びに学校研究について～全国学力調査・埼玉県学力学習調査の結果を踏まえて～非認知能力の向上＝自己効力感に特化した研究を行う。(3) いじめ・不登校調査結果報告・個に応じた対応の必要性、現在の不登校児童生徒の状況について(4) 1学期保護者・教職員アンケート調査結果報告について・多くの感謝の言葉をいただいた。改善への提言については前向きに検討する。・暑さ対策日傘で日傘を配ってほしい (熊谷の例) (5) 業務改善の取組＝職員ができることを考えていく。
	11月13・2月12 14時	武蔵台小中学校	第4回 11月13日 1 開会・市教委挨拶 2 報告：学校運営進捗状況・入試状況・私立終了、公立入試を控え9年生は頑張っている。・記念誌・記念品作成委員会は滞りなく終了した。3 協議・報告 (1) 2学期以降の主な学校行事＝スライドによる紹介 (2) 学校評価アンケートについて思考を深めるための方策の説明、学校経営課題と重点と評価指標の検討、QRコードの活用 (写真わかりやすく発信力を高める) より理解が増す内容の工夫・学校だよりのペーパーレス化、リーバーの活用 (3) 地域学校協働活動第2回環境整備作業について 第5回 2月12日 (水) 開会校長挨拶「学校を核とした地域づくり」次年度に向けての提案をしたい。2 協議 (1) 学校評価アンケート結果について→教頭から結果の説明。委員の意見取りまとめ後、次回に協議を行う。データのボリュームがあるので、よく読み込んで回答したい。(2) 地域学校協働本部の活動について→学校を核とした地域づくりのための地域学校協働活動年間計画の作成。公民館長、コーディネータ中心に監修する。(3) 学校見学ツアーについて：2/18, 13時から。現在15名の参加あり。卒業生・地域住民対象 (5) 武蔵台小中学校スローガン作成→子供達の手でスローガンを作成し地域に看板を設置する
武蔵台地区	3月5日 水 13時45分	武蔵台小中学校	1 開会 川島町学校視察報告 2 学校報告・9年生の県立合格発表が明日・卒業式、前期課程修了式ではお世話になる。自慢できる学校運営協議会、環境整備など地域学校協働活動ではお世話になった 3 協議 (1) 学校自己評価シートについて：地域の教育力を生かし、横断的な学びを進める。補助発問応用問題等個に応じた指導を工夫する。・小中一貫教育、学校連恵右協議会の取組を積極的に発信する・あいさつの励行、地域と学校が協力して行う・会計事故防止の徹底 (2) 令和7年度の学校経営方針「たくましく未来を切り開き、一歩上を目指す台っ子」一児童生徒が主体となった学校行事の実施・ふるさと科による地域の教育力を取り入れた横断的な学びの工夫・研究課題「非認知能力の向上～自己効力感の特化した指導」・学校を核とした地域づくりーおやゆび活動ーいいねを伝え合う。慈愛と敬愛、強い情熱と使命感を持つ。【意見】タブレット使用の効能は、使うことによって情報量の多さから知的好奇心を向上させ柔軟な思考力を育成することができる。良さを十分に把握していくこと。・学力を点数ではかるだけではなく勉強を好きになるためと捉える。教科の持つ魅力や社会でよりよく生きるために必要なものとして考えていってほしい。・学校評価をホームページに公開する ABC や xyz の評価基準を明確に示してほしい。

○「日高市コミュニティ・スクール研修会」

回	内 容
第1回 4月23日（火） 14:00～16:30 生涯学習センター 視聴覚室	対象：学校運営協議会委員、各学校新任・転入管理職、教職員 内容：①「日高市 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」の説明 ② 各地区地域学校協働活動の紹介 ③ 義務教育学校開設に係る取組について（高根小中学校）
第2回 7月29日（月） 14:00～16:00 埼玉県地域学校協働活動 推進セミナー オンライン開催 （各学校・公民館等）	対象：各地区学校運営協議会委員・地域学校協働本部委員・教職員 内容：「コミュニティ・スクールの現状と今後の取組について」 事例発表「地域全体で子供たちの学びと成長を支える地域と学校の “連携・協働” 所沢市立松井小学校 講義「学校と地域と学校で創る学びの未来～地域コーディネーター の活躍を通して～」 文部科学省総合教育政策局 CSマイスター 栃木県栃木市地域振興部地域政策課 社会教育指導員 鈴木 廣志 氏
第3回 11月22日（金） 13:30～16:30 令和6年度埼玉県地域学 校協働活動推進フォーラ ム オンライン開催 （各学校・公民館等）	対象：各地区学校運営協議会委員・地域学校協働本部委員・教職員 内容：講演「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的 推進～子供の学びを創る～」 文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター） 明星大学教育学部特任教授 朝倉 美由紀 氏 事例発表「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な 推進」 ふじみ野市立三角小学校



令和6・7年度研究テーマ:

地域で子供を育てる意識の向上に向けた「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組」の推進

中間報告書

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

～「学校を核とした地域づくり」を進めるための学校運営協議会と地域学校協働本部の役割～

日高市教育委員会

1 研究のねらい

日高市は、少子高齢化に伴う児童生徒数の大幅な減少や学力向上、小中ギャップなど様々な教育課題を解決するため、日高市小中学校未来構想として、令和2年度から「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育を導入した。市内全6地区に1小学校・1中学校・1公民館が立地する利点を生かし、地区ごとに学校運営協議会を設置し、年5回の会議をコロナ禍の期間も続けてきた。令和7年度を目標に、3つの義務教育学校と3つの小中一貫教育校を開設するため協議を重ね、地域と学校をつなぐ役割を担っていただいた。また、令和5年度にはすべての地区で地域学校協働本部を立ち上げ、コロナの影響により中止を余儀なくされた学校と地域の交流について新たな組織編成を行い、具体的な活動を進めた。そこで、各地区の特長を生かし、小中一貫教育を充実させ、地域の活性化を促すための学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な取組について実践研究を行う。

2 研究の概要

- ①小中一貫教育を支える学校運営協議会の役割を明確にして具体的方策を提案する。
「目指す15歳像」の実現に向け、「どんな子供を育てるか、何を目指すか」というビジョンを学校と地域が共有し、一体的に取り組む組織を確立する。
 - ②地域学校協働活動の一層の充実を図り、学校運営協議会の議題として活動内容について協議・実践を行い、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に取り組み。
- ## 3 学校運営協議会
- 会議回数 各地区年間6回程度（6地区合計36回程度開催）
- 研究に関わる協議内容
- ・目指す15歳像、学校経営方針の承認、地域学校協働本部体制の見直し 第1回（4・5月）
 - ・地域学校協働本部の運営方法と今後の活動予定について 第2回（6・7月）
 - ・地域学校協働活動の実践報告と課題についての協議 第3・4回（9・10・11月）
 - ・各地区における地域学校協働活動の紹介と次年度の取組の協議 第5・6回（2・3月）

日高市 高麗川地区の例



4 地域学校協働活動推進員等

- 地域学校協働活動推進員等数（6地区合計）
- ・地域学校協働活動推進員 6名（内、学校運営協議会委員 6名）
 - ・公民館長 6名（内、学校運営協議会委員 6名）

5 研究実践の特徴的な取組

(1) 学校運営協議会

全市をあげて小中一貫教育を推進するために、「目指す15歳像」の実現に向け、学校・家庭・地域が一体となる協働体制の確立に、学校運営協議会が中心となつて取り組んだ。そのために、学校運営協議会の委員を地域住民、PTA関係者、校長、公民館長、および地域学校協働活動推進員で組織し、様々な意見をもちに、学校や地域が抱える課題について協議した。学校運営協議会は「学校の課題や目標、具体策等を協議していく機関」、地域学校協働本部は「協議されたことを地域の力により実際に実現していく組織」として位置づけ、公民館を中心に協力者を募りメンバーを増やしながら「緩やかなネットワーク」の形成を目指している。

(2) 地域学校協働活動

各地区において、地域学校協働本部に「学習活動」「環境活動」「安全活動」「地域活動」「応援活動」等の部会を設け、学校の要請に応じて推進員と公民館が協力者を派遣して児童生徒と一緒に取り組む活動を行うことができた。また、公民館文化祭、地域祭り、体育祭等地域の催しに児童生徒が積極的に参加するなど学校と地域の双方のつながりを持つことができた。今までの学校応援団を見直し、青少年健全育成会等の活動等を地域学校協働本部の一つとして再編し、さらに企業や幼保小中高に呼びかけたり、公民館サークル等にも周知を図ったりするなど、「できることを、できる人が、できる時にやる」を活動のコンセプトとして取組を進めている。また、年3回の日高市地域学校協働活動推進員連絡会議を設け、講師を招いての研修会や6地区の取組の情報交換を行っている。

(3) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施

各地域において「目指す15歳像」を設定し、どんな子供を育てるか、何を目標とするかというビジョンを学校と地域が共有して地域学校協働活動を進めてきた。地域課題解決型学習・ふるさと科の導入を各学校で進めることで地域と密接につながり、人的・物的資源を学習に生かすよう取り組んでいる。学校運営協議会が地域学校協働本部と常に連携し、アンテナを高くして学校や地域の課題について熟議し、解決を目指している。また、学校運営協議会委員と児童生徒会役員が学校生活について話し合う機会を設け、子供の声を直に聞くなどして、相互理解に役立てる取組を行っている。

6 成果・効果と今後の展望

(1) 成果・効果

学校運営協議会で学校・地域の課題について熟議を重ね、地域学校協働本部につなげてその解決を図る活動を通して、地域の力を取り込み、地域の特長を生かした小中一貫教育を構築することにつながった。特にふるさと科の導入は、小中一貫教育を進めるうえで重要な役割を果たすので、地域学校協働活動とのつながりを明確にして地域の人的・物的資源の活用を図り、各学校の年間指導計画等の整備をさらに進めていく。

(2) 今後の展望

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組を進める鍵は、教職員・保護者・地域住民がこの活動について知ることが最も重要である。各地域における取組の成果を学校運営協議会だよりや市・公民館広報誌、ホームページ等で広く周知を図ること、また教職員が学校運営協議会の内容について理解を深めるために、時間的余裕のある時に参加を促し意見を求めるなど、自分事として考え取り組む姿勢を自ら育めるように環境を整えていきたい。



学校運営協議会熱議の様子



ふれあい隊(応援活動)農業体験



武蔵台地区学校運営協議会
児童生徒会との話し合い



一年生ふるさと科・昔遊び体験

※参考（日高市学校運営協議会規則等）

○日高市学校運営協議会規則

平成31年3月20日教委規則第1号

改正

令和元年11月29日教委規則第4号

令和3年3月18日教委規則第3号

日高市学校運営協議会規則

（設置）

第1条 日高市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の5第1項ただし書の規定に基づき、日高市学校設置条例（昭和46年条例第40号）に規定する小学校及び中学校における相互連携その他の運営並びに当該運営への必要な支援に関して協議するため、別表左欄に掲げる小学校及び中学校につき、同表右欄の学校運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 協議会は、法第47条の5第4項から第7項までに規定する事項のほか、前条の設置の目的に係る協議の対象とする小学校及び中学校（以下「対象学校」という。）につき、次に掲げる事項を所掌する。

- （1） 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第79条の9第1項の規定により小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すための必要な支援に関する事。
- （2） 小学校及び中学校において相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行うための必要な支援に関する事。

（法第47条の5第4項の教育委員会規則で定める事項）

第3条 法第47条の5第4項の教育委員会規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

- （1） 教育目標及び学校運営に関する事項
- （2） 学校施設の管理に関する事項

（法第47条の5第7項の教育委員会規則で定める事項）

第4条 法第47条の5第7項の教育委員会規則で定める事項は、対象学校の職員の採用、転任及び昇任に関する事項（特定の個人に関するものを除く。）とする。

（組織）

第5条 一の協議会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- （1） 対象学校の所在する地域の住民
- （2） 対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者
- （3） 社会教育法（昭和24年法律第207号）第9条の7第1項に規定する地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者
- （4） 対象学校の校長
- （5） 前4号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

3 教育委員会は、前項第1号に掲げる者について委員を任命する際は、公募するものとする。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第7条 協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 協議会に副会長を置き、会長がこれを指名する。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第9条 協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は関係者から資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第10条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の日から平成32年3月31日までの間、第6条の規定の適用については、同条中「2年」とあるのは、「1年」とする。

附 則 (令和元年11月29日教委規則第4号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年3月18日教委規則第3号)

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、現に改正前の日高市学校運営協議会規則の規定により委員となった者は、改正後の日高市学校運営協議会規則の規定により委員となったものとみなす。

別表 (第1条関係)

対象学校の名称	協議会の名称
日高市立高麗小中学校	高麗地区学校運営協議会
日高市立高麗川小学校 日高市立高麗川中学校	高麗川地区学校運営協議会
日高市立高萩小学校 日高市立高萩中学校	高萩地区学校運営協議会
日高市立高根小中学校	高根地区学校運営協議会
日高市立高萩北小学校 日高市立高萩北中学校	高萩北地区学校運営協議会
日高市立武蔵台小中学校	武蔵台地区学校運営協議会

日高市教育委員会告示第3号

日高市地域学校協働活動推進員設置要綱を次のように定める。

令和4年3月2日

日高市教育委員会教育長 中 村 一 夫

日高市地域学校協働活動推進員設置要綱

(設置)

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第5条第2項に規定する地域学校協働活動の円滑かつ効果的な推進を図るため、同法第9条の7第1項に基づき地域学校協働活動推進員（以下「推進員」という。）を置く。

(活動内容)

第2条 推進員の活動内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 地域の教育課題の解決に必要な総合的な連絡調整に関する活動
- (2) 地域・学校の教育活動の支援、企画及び参加促進に関する活動
- (3) 日高市学校運営協議会規則（平成31年教育委員会規則第1号）第1条の規定により設置する学校運営協議会その他必要な協議体との連絡調整に関する活動
- (4) 前3号に掲げるもののほか、推進員の設置の目的を達成するために必要な活動

(委嘱等)

第3条 推進員の定数は、学校区（小学校、中学校及び義務教育学校並びに公民館を中心とした学校教育及び社会教育に関する地域的なまとまりであって、日高市立小・中学校の通学区域に関する規則（昭和62年教育委員会規則第1号）別表第1に定める、各小学校におけるそれぞれの通学区域をいう。以下同じ。）につきそれぞれ1人を原則とする。ただし、地域の実情により、推進員の数を変更することができるものとし、同一の推進員が複数の学校区を担当することを妨げない。

2 推進員は、次に掲げる資格要件に該当する者のうちから、当該学校区内の日高市立小学校、中学校及び義務教育学校の校長並びに公民館長の推薦により、教育委員会が委嘱する。

- (1) 地域において社会的信望があるもの
- (2) 地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者

3 推進員の任期は、委嘱を受けた日からその日が属する年度の末日とし、再任を妨げない。

4 教育委員会は、推進員が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、任期の満了前であっても委嘱を解くことができる。

- (1) 心身の故障のため活動の継続に支障があり、又はこれに堪えられないと認められるとき
- (2) 推進員としてふさわしくない行為を行ったと認められるとき
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が特に必要と認めるとき

(公民館長との連携)

第4条 推進員は、各学校区の公民館長と連携し、活動を行う。

2 推進員がいないとき、又は欠けたときは、各学校区の公民館長が推進員の役割を担う。

(推進員連絡会議)

第5条 教育委員会は、次に掲げる事項を協議するため、必要に応じて推進員連絡会議を開催することができる。

(1) 推進員の行う活動や教育課題等についての情報交換に関すること。

(2) 地域の教育課題等についての研究、協議及び提言等に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、推進員の設置の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(庶務)

第6条 推進員の庶務は、各学校区の公民館において処理する。

2 推進員連絡会議の庶務は、教育委員会から指定された公民館で処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、令和4年4月1日から施行する。

地域とともにある学校



保育ボランティア



畑仕事・収穫



ミシンボランティア



資源回収



地域清掃



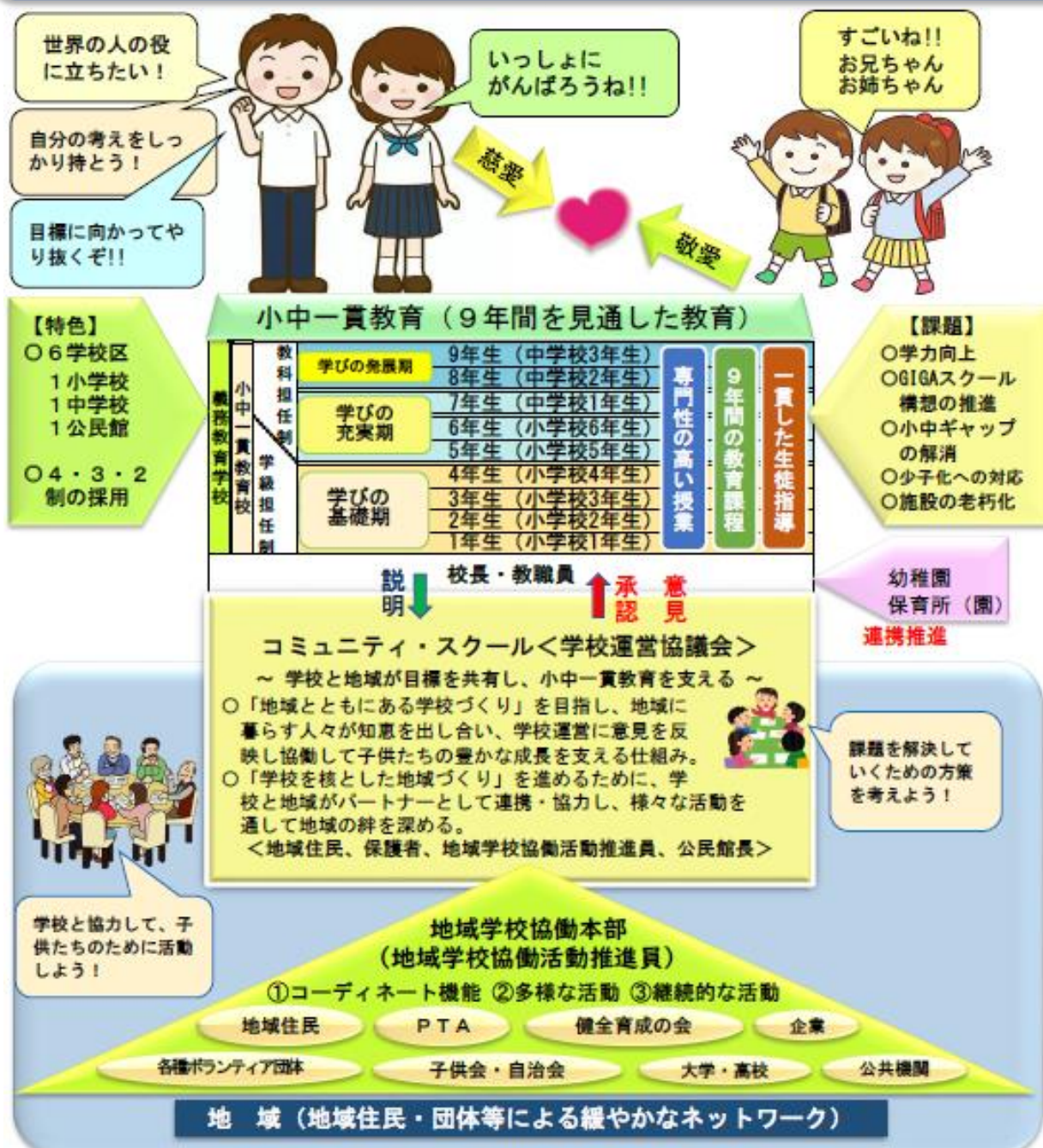
昔遊び

日高市 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

目指そう！「気は優しくて 力持ち」

(利他の心) (主体性・学力・体力)

— 日高市のコミュニティ・スクールと小中一貫教育の関係 —



支えよう！「次代を担う地域の子供たち」

4 日高市小中一貫教育について

(1) 日高市小中一貫教育の目的

小中一貫教育とは、「小・中学校の教員が目指す15歳像を共有し、9年間一貫した教育課程を編成して行う系統的な教育」である。小学校から中学校への接続期の教育の在り方を見直し、地域の特色を生かして9年間を見通したカリキュラムを編成することで、学年間や小・中学校の円滑な接続を図り、児童生徒が安心して学ぶ環境を保障し、豊かな人間関係の中で確かな学力の定着を目指す。

日高市の特色として、6地区が1小学校、1中学校、1公民館で構成されており、学校と地域の緊密な連携が醸成されている。



(2) 日高市小中一貫教育導入の背景

○日高市の小中学校の抱える様々な課題の解決を目指すため

① 課題

ア 学力向上＝喫緊の課題

埼玉県学力学習調査によると、学力の伸びは県の平均と同等以上であるが、平均正答率は県平均を下回っている学年が多い。全国学力調査でも同じ結果である。

イ 新学習指導要領に準拠した教育課程の推進

主体的・対話的で深い学びの実現や外国語教育、プログラミング教育、GIGAスクール構想等、これからの新しい時代に対応した教育の推進が求められている。

ウ 小中ギャップ

以前は中1ギャップと呼ばれ、小6から中1に移行する時期に起こる不登校や暴力行為などの学校不適応を指した言葉であったが、入学間もない小1で起きる話を聞けない、授業中立ち歩く等の問題（小1プロブレム）や低・中学年でも不登校が増えているなどの傾向がみられるため、今は「小中ギャップ」という捉え方になっている。

エ 児童・生徒数の大幅な減少が今後見込まれる。

日高市 地区別児童・生徒、クラス数の推移 ※令和7～特別支援学級は除く

	令和4年度 ()は特支学級	令和5年度 ()は特支学級	令和6年度 ()は特支学級	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
高麗小・中 クラス数	203 ・ 119 小7(2) 中4(1)	191 ・ 127 小6(2) 中5(2)	178 ・ 115 小6(2) 中4(1)	175 ・ 108 前6 後4	161 ・ 90 前6 後3	150 ・ 87 前6 後3	130 ・ 92 前6 後3	116 ・ 94 前6 後4
高麗川小・中 クラス数	836 ・ 455 小24(5) 中12(3)	800 ・ 449 小24(3) 中12(3)	746 ・ 438 小23(4) 中12(3)	704 ・ 439 小23 中12	673 ・ 416 小22 中12	649 ・ 391 小22 中12	637 ・ 375 小22 中12	592 ・ 365 小18 中10
高萩小・中 クラス数	540 ・ 320 小17(4) 中9(2)	533 ・ 303 小17(4) 中9(2)	532 ・ 280 小17(4) 中9(3)	486 ・ 279 小17 中9	468 ・ 269 小16 中9	438 ・ 268 小15 中9	424 ・ 244 小15 中8	413 ・ 243 小14 中8
高根小中 クラス数	182 ・ 140 小6(3) 中6(2)	170 ・ 125 小6(3) 中5(2)	149 ・ 118 前6(3) 後4(2)	131 ・ 91 前6 後3	135 ・ 79 前6 後3	134 ・ 67 前6 後3	122 ・ 71 前6 後3	121 ・ 73 前6 後3
高萩北小・中 クラス数	579 ・ 385 小18(3) 中11(2)	551 ・ 360 小18(4) 中10(2)	504 ・ 341 小17(4) 中10(2)	441 ・ 302 小16 中9	392 ・ 304 小15 中9	366 ・ 273 小14 中9	332 ・ 257 小13 中9	300 ・ 230 小12 中8
武蔵台小中 クラス数	198・116 小7(2) 中4(2)	193 ・ 113 前7(2) 後3(2)	192 ・ 110 前7(2) 後3(1)	179 ・ 107 前6 後4	161 ・ 109 前6 後3	160 ・ 99 前6 後3	156 ・ 92 前6 後3	143 ・ 81 前6 後3
児童生徒合計	4079	3920	3703	3442	3257	2957	2932	2771

【令和6年5月1日現在の調査による】

② 期待される効果

ア 自尊感情の育成

多様な異学年交流を工夫することで自己肯定感が生まれ、下級生への慈愛や利他の心、上級生への尊敬や畏敬の念が育まれる。

イ 小中を一体として捉える教育の推進

「目指す15歳像」を設定してその実現を目指すためには、小中の教職員が所属感を高め、学習指導や生徒指導において互いに協力し、責任を共有して臨むことが重要である。そのためには組織体としての一体感を醸成し、義務教育9年間の系統性・連続性を重視した教育課程の構築が必要である。各教科、領域における系統性を明らかにしたカリキュラムの作成や、教科内や教科間の学習内容の関連性を意識して指導順序・指導内容を入れ替えたり、理解が難しく生徒がつまずき易い内容は、後の学年でも繰り返し指導をしたりするなどの工夫が可能となる。

ウ 小中ギャップの緩和・解消

小学校と中学校間の段差を緩和することで、小学校教育から中学校教育への円滑な移行を促すことが可能となり、中1の壁や小中ギャップと呼ばれる問題が緩和・解消する効果が期待される。

エ 異学年交流による精神的な発達

1年生から9年生までの児童生徒が学校行事などを通じて異学年交流を行うことによって、上級生から下級生に対する思いやりの心、上級生・下級生の規範意識、下級生から上級生に対する憧れの気持ちなどの醸成が期待される。異学年交流によって精神的な発達や社会性の育成等の効果が期待される。

オ 継続的な生徒に対する指導

小学校と中学校が1つの学校という意識を持ち、9年間継続して児童生徒に対する指導が行われるため、教員間で児童生徒の情報が共有しやすくなり、児童生徒の個に応じたきめ細やかな丁寧な生徒指導が可能となる。

(3) 日高市小中一貫教育の特色

小中一貫教育とは、「小・中学校の教員が目指す15歳像を共有し、9年間一貫した教育内容のもと、系統的な教育を目指す教育」と定義する。小学校から中学校への接続期の教育の在り方を見直し、地域の特色を生かした教育課程を編成することで、各学年間や小・中学校の円滑な接続を図り、児童生徒が安心して学ぶ環境を保障し、豊かな人間関係の中で確かな学力の定着を目指す。

日高市では、6地区における今後の児童生徒数の推移や教育的効果等を鑑み、施設の統合を3つの型に定め、2つの形態で小中一貫教育を進める。

※各地区の特色

高麗川地区 ・大規模校 ・市内の中心的な学校 ・自然や図書館、公共施設、商業施設が近い ・市民プールの利用 ・児童養護施設 ・埼玉医大院内学級	高萩地区 ・小、中、公民館が同じ敷地 ・中学プールの共同利用 ・高萩中ユリイカの設置 ・小中連絡通路設置計画 ・人助けによる善行表彰等 ・埼玉女子短期大学	高萩北地区 ・日高高校があり、幼保小中高の連携が可能 ・土地区画整理事業 ・日高おすすめマップ 人権作文等の表彰 ・便利を上手に「BJプロジェクト」
武蔵台地区 ・制服自由化 ・学力が高い (県平均以上2/12項目、 市平均以上は7項目) ・英検3級以上取得率例年50%以上 ・海外とのオンラインでのやりとり	高根地区 ・全国学調「先生があなたの良いところを認めてくれる」市内1位 (全国比小+5.9、中+9.5) ・いじめの認知件数、市内で一番少ない ・地区との合同体育祭	高麗地区 ・水泳授業の外部委託 ・小中合同河川清掃 ・学力高い (県平均以上6/12項目、 市平均以上は9項目) ・英検3級以上取得率例年50%以上 ・不登校率少ない

資料 小中一貫教育の制度化における3類型

		小中一貫型小学校・中学校	
		中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校
設置者	国立・公立・私立	同一の設置者（市区町村立）	
修業年限	9年（前期課程6年 ＋後期課程3年）	小学校6年、中学校3年	
組織・運営	一人の校長 一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織	
		小学校と中学校における教育を一貫して施すためにふさわしい運営の仕組みを整えることが要件 〈例〉 ① 関係校を一体的にマネジメントする組織を設け、学校間の総合調整を担う校長を定め、必要な権限を教育委員会から委任する ② 学校運営協議会を関係校に合同で設置し、一体的な教育課程の編成に 関する基本的な方針を承認する手 続を明確にする ③ 一体的なマネジメントを可能とする観点から、小学校と中学校の管理職を含め全教職員を併任させる	中学校併設型小学校と小学校併設型中学校を参考に、適切な運営体制を整備すること
免許	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※当分の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能	所属する学校の免許状を保有していること	
教育課程		・ 9年間の教育目標の設定 ・ 9年間の系統性・体系的に配慮がなされている教育課程の編成 ・ 一貫教育に必要な独自教科の設定を行うことが可能 ・ 5－4、4－3－2など、6－3以外の区切りを設定することが可能	
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教科	○	○
	指導内容の入れ替え・移行	○	×
施設形態	施設一体型 ・ 施設隣接型 ・ 施設分離型		
設置基準	前期課程は小学校設置基準、後期課程は中学校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、中学校には中学校設置基準を適用	
標準規模	18学級以上 27学級以下	小学校、中学校それぞれ12学級以上18学級以下	
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等 ※規則等とは私立学校等を含んでいるための記述 公立学校は、教育委員会の規則に位置付けることが必要	

出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引／文部科学省

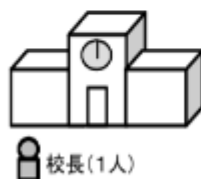
小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)
⇒一人の校長、
一つの教職員組織

修業年限:9年
(前期課程6年+後期課程3年)

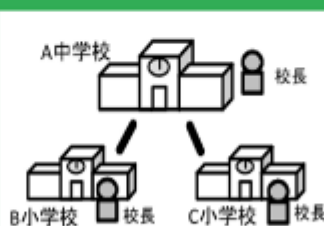


校長(1人)

小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件

例・総合調整を行う校長を定める
・学校運営協議会の合同設置
・校長等を併任

③連携型小学校・中学校 (異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

※①②③いずれも施設の形態は問わない。

制度面

令和7年度からの市内各地区の小中一貫教育の整理

施設隣接型 分離型

併設型小学校 併設型中学校

高麗川地区

高麗川小学校 高麗川中学校
高麗川公民館
高麗川地区運営協議会



施設分離型

R7.4.1 小中一貫教育校
高麗川小学校 高麗川中学校

高萩地区

高萩小学校 高萩中学校
高萩公民館
高萩地区学校運営協議会



施設隣接型

R7.4.1 小中一貫教育校
高麗川小学校 高麗川中学校

高萩北地区

高萩北小学校 高萩北中学校
高萩北公民館
高萩北地区学校運営協議会



施設分離型

R7.4.1 小中一貫教育校
高麗川小学校 高麗川中学校

施設一体型

義務教育学校

武蔵台地区

旧武蔵台小学校 旧武蔵台中学校
武蔵台公民館
武蔵台地区学校運営協議会



施設一体型

R5.4.1 義務教育学校
武蔵台小中学校 開校

高根地区

旧高根小学校 旧高根中学校
高麗川南公民館
高根地区学校運営協議会



施設一体型

R6.4.1 義務教育学校
高根小中学校 開校

高麗地区

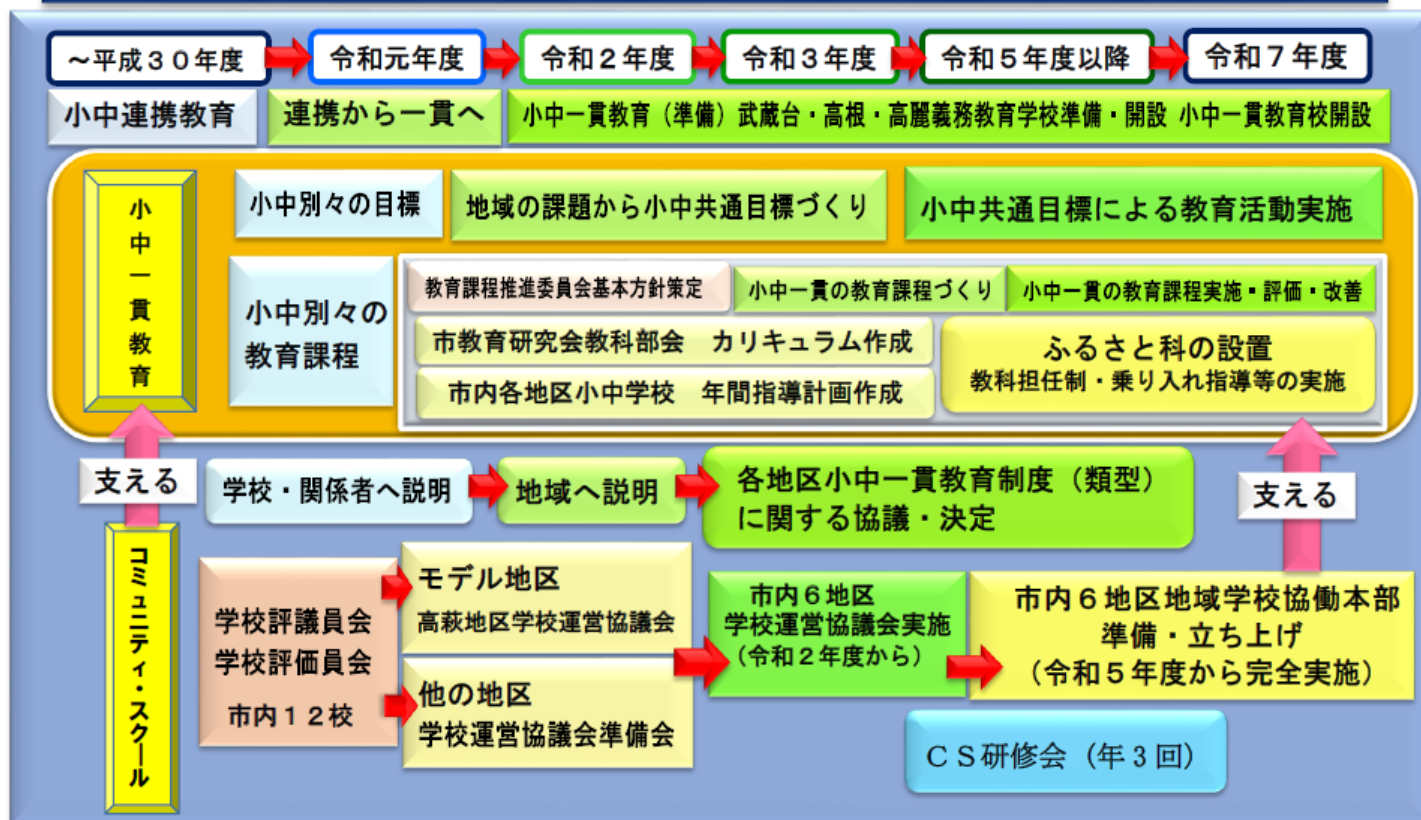
旧高麗小学校 旧高麗中学校
高麗公民館
高麗地区学校運営協議会



施設一体型

R7.4.1 義務教育学校
高麗小中学校 開校

日高市「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」取組の歩み



※これまでの振り返り

H27年度	H27.7.30	「小中一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部を改正する法律について」義務教育学校の制度創設
	H27.12.21	中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」 ・教育改革、地方創生等の動向から見る学校と地域の 連携・協働の必要性について ・コミュニティ・スクールについて
H28年度	H28.11	教育総会議で日高市未来構想の提案
	H29.3.31	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 ※小・中で1つの学校運営協議会の設置が可能となった。
H29年度	H29.6.12	第1回小中一貫教育検討委員会 実施 ・日高市小中学校未来構想、小中一貫教育とコミュニティ・スクール導入の必要性
H30年度	H30.4.1	小中一貫教育を中心的に進める教育指導幹を配置
R元年度	H31.4.1	日高市学校運営協議会規則 施行
	H31.4.1	高萩小・高萩中で、学校運営協議会をモデル地区としてスタート
	H31.4.1	日高市小中一貫教育（施設分離型）スタート
		（教員）校長、教頭への直接説明、・各校への直接説明、・管理職研修会、・教育講演会 （保護者）PTA会長、CS研修会、保護者会で校長からの説明 （地域）現学校評議員対象のCS研修会、区長会での直接説明、教育長が、各地区で地域住民への説明会実施
R2年度	R2.4.1	全6地区に学校運営協議会を設置 全地区でコミュニティ・スクールをスタート
R4年度	R4.4.1	日高市地域学校協働活動推進員設置要綱 施行
R5年度	R5.4.1	義務教育学校 武蔵台小中学校スタート
R6年度	R6.4.1	義務教育学校 高根小中学校スタート
R7年度	R7.4.1	義務教育学校 高麗小中学校スタート 高麗川、高萩、高萩北地区は、併設型小中一貫教育校として新たにスタート

(4) 新しい学年段階の設定と学びの工夫

○「4・3・2制」の採用

昭和22年4月から、新しい学校教育法に基づき小学校6年間、中学校3年間で義務教育とする制度、所謂「6・3制」が始まった。この「6・3制」は長く我が国の学校教育に根付き、小学校、中学校それぞれ独自の文化が育まれた。現在の学制の原型が導入された戦後すぐの時期に比べて、現代の子供たちの身体的成長や性的成熟は2年ほど早まっていると言われている。「6・3制」も戦後70年以上経過し、子供たちの発達の現状から小学校6年で区切ることが難しくなっている。

日高市教育委員会としては、9年間の区切り方を現代の子供たちの実態に合わせることで小中学校のスムーズな接続を図りたいと考え、日高市小中一貫教育推進委員会等で子供たちの実態について話し合った。その結果、「小学校4年生から5年生の時期」に心身ともに大きな変化がある、いわゆる第2次成長期の児童の姿が浮かび上がった。この成長の大きな変化をとらえ、小学4年生までに基礎をしっかりと身に付けさせる必要があること、また、発達の特徴から、中学2年生と3年生を一つのまとまりとして考えることが適切であるとの結論に至った。

そこで、義務教育9年間で新たな3つのまとまりに区切り、小学1年生から4年生を「第Ⅰ期 学びの基礎期」、小学5年生から中学1年生を「第Ⅱ期 学びの充実期」、中学2年生から3年生を「第Ⅲ期 学びの発展期」とし、「4・3・2制」を採用することとした。この新たな区切りである「4・3・2制」は、東京都品川区や広島県呉市等、小中一貫教育先進地で多く採用されている。中でも第Ⅱ期は、小中一貫教育の一番の重点期で、第Ⅰ期で身に着けた学びを使って課題を解決することを通してその定着を一層図れることが報告されている。また、小学5年生から中学1年生の3年間で一つのまとまりにすることで、定期的に子供たちの基礎・基本の定着状況を確認し、必要に応じて学び直しも可能となる。これは、従来の6・3制では難しかった点である。重点期である第Ⅱ期では、特に小中学校の教員の「協働」が必要になる。小学校と中学校の指導方法を合わせることはもとより、中学の教員が5・6年生の指導を行ったり、小学の教員が中学1年生の指導に入ったりすることなども必要となる。どちらかが「主従の関係」ではなく、共に知恵を出し合っただけの授業づくりが求められる。

○ 一部教科担任制の導入

音楽など一部の教科を除き、小学校6年生までは学級担任制で、中学校1年生から全て教科担任制となるのが今までのスタイルであった。このようなシステム上の変化が子供たちの心理的負担を増大させ、中1ギャップが起こる要因であるとも考えられる。学級担任が児童の学校生活のすべてを把握し、適切な指導・支援を行うという小学校で行われてきた教育の形は、担任と児童、児童相互の信頼が育まれ、よりよい人間関係の醸成が期待できる。しかし、担任教員の一義的な見方は学級内の様々な変化に気付きにくくなることもあり、担任と児童の関係が良い方向にいかずに停滞を招き、学級崩壊や生徒指導上の問題を起こすことも指摘されている。そこで、小学校でも教科担任制を導入し、複数の教員が目で見守る指導にかかわり、小さな変化を見逃さずに対応することで課題の早期発見と解決に資することが可能となる。また、教科担任制は教材研究や授業の準備を行う上で教員の負担軽減にもつながる。

文部科学省では、2022年度に小学校高学年の一部教科担任制を本格的に実施する旨の通知を出し、それに伴う教職員の増員も行うとの報道もされている。先進地域では、小学3年生から学年内教科担任制を実施している学校もある。第2次性徴が始まる小学4

年生前後を境として、地域や学校の特性を生かし、児童の実態を考慮しながら、外国語活動や、算数科、理科などで一部教科担任制の導入を検討していくことが求められる。

○ 小・中学校教員による相互乗り入れ授業

小学校教員が中学校で、中学校教員が小学校で授業を行うとなると、教員が所有する免許状の問題が発生する。基本的には、小学校免許状は小学校でのみ有効で、中学校の教科免許状はその教科に限り小学校でも授業が可能となる。小・中学校それぞれの教員が、小・中両方の免許をもっていれば相互乗り入れ授業の自由度が大きくなるが現実には教員個々によって異なってくる。この取組は教員の所有免許状に左右されるものの、授業を通して、中学校の教員が小学生を早くから理解したり、小学校教員が卒業した生徒に関わったりすることは、子供や教員、相互に大きなメリットをもたらす。

○ 小学生と中学生との様々な交流活動

児童・生徒間交流は、小学生には中学生への憧れの気持ち(中学生への畏敬)を、一方中学生には小学生への思いやりの気持ち(自尊感情の育成)を持たせるのに効果が期待できる。しかし、ただやりさえすればよいのではなく、「何のために行うのか(目的)」を明確にした上で行事を企画しないと、児童生徒や教職員が忙しくなってしまうだけの取組となる心配がある。

(5) 小中一貫した教育課程の編成・実施に関する取組

(日高市小中一貫教育推進委員会を中心とした、各校における取組)

① 小中共通目標の設定

(ア) ねらい

小中学校教員が、小中共通目標『目指す15歳像』を共有することで、共に連携して児童生徒の教育にあたるようにする。

(イ) 基本方針

これまでは、小学校は6か年の児童像を、中学校は3か年の生徒像を、それぞれ独自に設定してきた。これまでの小学校、中学校を9か年連続して考えるには、卒業する中学校3年生像、即ち『目指す15歳像』を小中学校教員がお互いに協議し、共有化することが必要である。小中学校教員が『目指す15歳像』を共有することで、学校が1つの目標に向かった組織体になり、児童生徒が安心して教育を受けられるようになる。

(ウ) 内 容

- 1 小学校、中学校の実態(課題等)から、小・中学校共通の課題を考える。
- 2 学校教育目標の視点から、課題を「知」「徳」「体」で考える。課題に、地域の特色が出るようにする。
- 3 課題をもとに小・中学校が共通して育てたい児童生徒像『目指す15歳像』を考える。
- 4 地域の特色が表れた目指す児童生徒像が設定できるようにする。

(エ) 方法

- 1 各委員が、校長の指導のもとに、各学校の実態(課題等)を持ち寄る。6地区の小中学校に分かれて、小中共通の課題から目指す児童生徒像を考える。考えた児童生徒像については、所属長の指導を受ける。課題から、目指す児童生徒像を考える過程を通して、設定方法や留意点を明らかにする。
- 2 学校運営協議会において、提案された『目指す15歳像』を協議し、承認を得る

日高市小中一貫教育構想

「教えない授業」の実践 ― 教えから学びへ！ ― 9ヶ年カリキュラムに基づく一貫した指導 ―

2年間

第Ⅲ期 学びの発展期 8年生～9年生

学びの自立を確立する第Ⅲ期は、主体的・対話的で深い学びを総合的に発揮して、実践的な発信力の育成と自己実現を図ります。

- 学習指導・生徒自身で課題を設定し、学ぶ意義や目的を見出して互いに意見を出し合いながら課題を解決するなど、学びの本質に迫るための学習を行い、自己実現を図る。
- 生徒指導・生徒一人一人が将来について前向きに捉え、社会的・職業的な自立に向けて選択の幅を広げることができるよう、進路相談・支援の体制を整えることによりキャリア教育の充実を図る。

3年間

第Ⅱ期 学びの充実期 5年生～7年生

学びの自立への第Ⅱ期は、今まで身に付けた学びをもとに課題を解決したり、学びをさらに広げたりするなど、主体的な追求力の育成を図ります。

- 学習指導・今まで学んだことを関連付けて問題を解決したり、論理的に考えて自ら学びの視野を広げたりするなど、主体的に追及していく力を養う。
非認知能力の育成
- 生徒指導・課題に対し、チームで取り組む。小中の情報を共有する。
乗り入れ授業や小中合同の教育相談を行い、きめ細かなフォローをする。

4年間

第Ⅰ期 学びの基礎期 1年生～4年生

学びの自立への第Ⅰ期は、体験的・発見的な活動を重視し、各教科・領域における基礎・基本の定着を図ります。

- 学習指導・具体的な事物に触れたり、体験から得たりした知識を基に試行錯誤をしながら反復学習を行うことで基礎・基本の定着を図る。
- 生徒指導・学習形成に有効となる学習規律や生活規律、家庭学習を含めた望ましい生活リズムの定着を図る。 ―「早ね 早おき 朝ごはん」―

学校・地域の実態調査票

日高市立高麗小学校

1 学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

- ① 歴史・沿革
 - ・開校は明治20年12月2日
 - ・今年度136周年
- ② 学校規模・学級数
 - ・小規模校
 - ・学級数8
- ③ 特色ある施設
 - ・充実した郷土資料室
 - ・1階にオープンスペース（多目的室）
- ④ 花壇・自然環境等の状況
 - ・校庭周りには計12箇所の花壇
 - ・学校農園（平成20年～）

〈児童生徒の状況〉

- ⑤ 児童数、全体的特性
 - ・児童数174名 家庭数145世帯
 - ・素直で元気の良い児童が多い。
- ⑥ 学力の状況
 - ・国語…読解力、言語活動に課題
 - ・算数…活用能力に課題
- ⑦ 体力の状況
 - ・立ち幅跳び・反復横跳びに課題
- ⑧ 人間関係（いじめ・不登校）状況
 - ・小中を通して9年間同じメンバー、グループ化してしまう。

〈教職員の状況〉

- ⑨ 教職員数、全体的特性
 - ・県費16名 市費7名 合計23名
 - ・チームワーク協働的 初動の速さ

2 地域の実態

〈保護者〉

- ① 学校行事・保護者会への参加状況
 - ・学校行事やPTA活動に積極的に参加して下さる。
- ② 学校への理解、協力状況
 - ・学校教育に理解があり、学校応援団などの活動で、積極的に協力して下さる。
- ③ 学校への意見・要望
 - ・学力・体力の向上
 - ・豊かな心の育成
 - ・落ち着いた学習環境

〈地域〉

- ④ 歴史・文化等の施設の状況
 - ・高麗神社（徒歩20分）
 - ・寺社6箇所（学区内）
 - ・高麗郷古民家（有形文化財）
 - ・高麗郷民俗資料館（徒歩2分）
- ⑤ 自然環境等の状況
 - ・巾着田（自然観察）
 - ・高麗峠（低学年春の遠足）
- ⑥ 社会教育関係施設の状況
 - ・高麗公民館（3年総合6月）
 - ・高麗の郷（4年総合10月）
- ⑦ 地域人材の状況
 - ・学校応援団 登録者数75名
 - ・各学年の各学習への支援
- ⑧ 学校への期待
 - ・「絆」を大切にする児童の育成
 - ・「豊かな心」社会規範の育成
 - ・「ふるさと日高」を愛する高麗っ子の育成

〈 生かしたいよさ 〉

- ・恵まれた環境
 - 高麗の風土（自然環境 小規模校）
- ・地域保護者の期待
 - 高麗コミュニティ会議 地域に根ざした（地域一体）組織運営

〈 解決したい課題 〉

- ・前に踏み出す（あきらめない・粘り強さ）力
- ・コミュニケーション能力

〈 キーワード 〉

- ・伝統
 - （学校地域一体）
 - （高麗の風土）
- ・協働
 - （地域・保護者）
- ・交流
 - （小中一貫 地域）

学校・地域の実態調査票

日高市立高麗中学校

1 学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

- ① 歴史、沿革
 - ・昭和22.4.1 高麗村立高麗中を高麗小に併設
- ② 学校規模、学級数
 - ・5学級（うち支援学級1）、小規模校
- ③ 特色ある施設
 - ・敷地内に弓道場（体育の選択授業で活用）、農園2
- ④ 花壇、自然環境等の状況
 - ・PTA主催「花いっぱい運動」花壇整備

〈児童生徒の状況〉

- ⑤ 生徒数、全体的特性
 - ・114名、素直な生徒が多い。個性豊かである。
- ⑥ 学力の状況
 - ・生徒間の学力差が大きい。発表力表現力が弱い。
 - 「主体的・対話的で、深い学び」の授業を取り入れ、徐々に意欲は高まっている。埼玉県学力状況調査では、どの教科も伸びてきている。
- ⑦ 体力の向上
 - ・令和4年度実施の新体力テストでは、48項目中26項目で県平均を上回っている。
- ⑧ 人間関係（いじめ、不登校等）の状況
 - ・9年間同じメンバー、グループ化、不登校が課題である。また不登校が課題である。

〈教職員の状況〉

- ⑨ 教職員数、全体的特性
 - ・常勤14名 ・ふれあい相談員1名
 - ・非常勤3名 ・AET1名 ・SC1名
 - ・校務員1名 ・給食配膳員1名
 - ・チームワークが良い。学年・担当の枠を超えて、協力する姿勢が様々な場面で見られる。
 - ・令和7年度義務教育学校高麗小中学校開校に向け、小学校の先生との連携も取ることができている

2 地域の実態

〈保護者〉

- ① 学校行事、保護者会への参加状況
 - ・学校行事やPTA活動等にも積極的に参加してくれる。
- ② 学校への理解、協力状況
 - ・学校教育へ肯定的な理解があり、積極的に協力してくれる。
- ③ 学校への意見、要望
 - ・学習面での意見や要望がある。
 - ・自転車通学の生徒が多いため、安全面での意見や要望もある。

〈地域〉

- ④ 歴史、文化等の施設の状況
 - ・高麗郡建郡1300年の歴史と文化のある地に位置するため、歴史的価値のある施設は多い。
- ⑤ 自然環境等の状況
 - ・市のシンボル日和田山、曼殊沙華の巾着田。
 - ・日高市遠足の聖地である。
- ⑥ 社会教育関係施設の状況
 - ・夜間に体育館を社会教育団体に開放している。
 - ・弓道場があり、地域の方に開放している。
- ⑦ 地域人材の状況
 - ・歴史と文化のある地域に位置するため、多くの人材を抱えており、協力的である。社会体験（チャレンジワーク）では多くの事業所が協力的である。
 - ・体育の授業での弓道では、地域の方が指導に來てくれている。
- ⑧ 学校への期待
 - ・地域に根ざした伝統ある学校であり、多くの卒業生も輩出しているため、今後小中一貫教育やコミュニティ・スクールの在り方など期待は大きい。
 - ・学校評価での地域、諸団体からの評価は比較的良好。課題等に対し、地域も含めて組織的に向き合っていきたい。

〈生かしたいよさ〉

- ・恵まれた環境と小規模校（小学校との連携）
- ・素直な生徒
- ・地域保護者の協力と期待
- ・高麗コミュニティーの存在
- ・高麗中の伝統行事

〈伸ばしたい力〉

- ・前に踏み出す力
- ・コミュニケーション能力
- ・粘り強く取り組む力

〈R4年度より〉高麗中ミッション
「ミラクル高麗中奇跡を起こせ！」

〈キーワード〉

- ・伝統（学校と地域）
- ・協働（地域、保護者を巻き込んで）
- ・交流（小学校、地域）

高麗地区小中学校共通目標

＜小中共通目標 ～目指す15歳像～＞

○ 全 体

「よく学び、心豊かに、たくましい高麗っ子」

○ 知 育 進んで学び、学習の基礎・基本を身につけることができる子

○ 徳 育 思いやりの心を持ち、他者と共によりよい生き方ができる子

○ 体 育 心身共に健康で安全な生活を送ることができる子



＜設定理由（納得させる説明） 児童生徒のよさと課題をもとに＞

本地区の児童生徒のよさは、とても素直で明るく元気である。また、年齢や性別に関係なく仲がよく、お互いに協力し合い活動することができる。しかし、課題は、小さい頃から集団に変化がないため、競い合ったり自分の考えを相手に伝えたり、自らの意見を発表することが苦手であり、表現力やコミュニケーション力にも課題がある。

こうした良さと課題を踏まえて、学力・体力の向上はもちろん、自らの将来に夢や希望を持ち、自他を尊重し、地域とともに「ふるさと高麗」に学ぶ喜びを味わわせ、前向きに取り組む児童生徒を育てたいと考え、目指す15歳像を設定した。

学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

① 歴史、沿革

- ・開校１０８年の歴史ある学校
- ・Ｈ２３年「埼玉医大院内学級開設」
- ・Ｈ２８年「開校１００周年記念式典」

② 学校規模、学級数 ※特支は院内学級１を含む（１月８日現在）

学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	特支	合計
人数	98	119	119	122	129	139	20	746
学級数	3	4	4	4	4	4	4	27

③ 特色ある施設等

- ・校舎内に１つ、隣接して３つの学童がある
- ・校長室前のテレビモニター（各行事等のスライドショー）
- ・３階建て、Ａ～Ｄ棟に渡る巨大な校舎
- ・市民プールを利用した水泳学習
- ・わかたけ通級指導教室
- ・児童養護施設（あいの実・荒井ホーム）
- ・オンラインの積極的な活用（連絡帳・出欠・保護者アンケート）

④ 花壇、自然環境等の状況

- ・学年ごとに割振りされた花壇
- ・学校農園による収穫（じゃがいも・さつまいも・大根等）

〈児童生徒の状況〉

⑤ 児童数、全体的特性

- ・人懐っこく明るく素直な児童が多い。また、歌うことが好きで、歌声がすばらしい。

⑥ 学力の状況※Ｒ６年度埼玉県学力状況調査結果（国語・算数）

- ・全体的に県平均と同じか少し下回っている。
- ・質の高い国語と算数の授業をするための研修の充実が必要である。
- ・練習問題に繰り返し取り組む必要がある。

⑦ 体力の状況 ※６年度新体力テスト総合評価（男女合計）

	学校全体	県の割合
A+B	48.5%	46.3%
A+B+C	80.6%	78.4%

○握力・反復横とび・立ち幅とびは過半数の学年が県平均を上回った。

▲長座体前屈で県平均を下回る学年が多く見られた。

⑧ 人間関係（いじめ、不登校等）への取組

- ・年１回いじめアンケート（保護者）、生活アンケート（児童）を実施し、いじめの早期発見、問題解決につなげている。

〈教職員の状況〉

⑨ 教職員数、全体的特性

- ・県費負担教職員４４名、その他１６名、産休育休６名 合計６６名
- ・毎年、職員の入れ替わりが激しい。（例年ほぼ半数が入れ替わる）
- また、臨時採用職員も多く本年度も１０名近く採用。

⑩ 男女比（県費負担教職員４４名で算出）

- ・男性職員１５名、女性職員２９名

２ 地域の実態

〈保護者〉

① 学校行事等への参加状況

- ・運動会、マラソン大会、環境整備作業等、参加率が高い。特に運動会では、３世代が集まる家族が多い。

② 学校への理解、協力状況※６年度学校自己評価

評価項目	保護者回答結果 「A」ほぼ達成「B」概ね達成
組織運営の充実	93.5%
基礎学力の定着	88.5%
社会性・人間性の充実	92.0%
保護者・地域との連携	93.1%
安心・安全な教育環境	93.2%

○学校の教育目標や目指す学校像への理解、各取組に対して、肯定的な方が多い。

▲児童や保護者、社会のニーズの多様化に伴って、様々な要望が寄せられている。

③ 学校への意見・要望

○とてもしっかりと学校管理に安心しています。

○先生方が親身になって対応してくださり、感謝しています。

▲大人が挨拶をしても、子供たちから挨拶が返ってこないことがある。

〈地域〉

④ 歴史、文化等の施設の状況

- ・「製茶の父」高林謙三/桑田衡平の記念石碑（北平沢）
- ・野々宮神社（野々宮）

⑤ 自然環境等の状況

- ・高麗川駅、県道１５号や３０号など交通量が多いエリアである。学区内を高麗川が流れる。

⑥ 社会教育関係施設の状況

- ・教育センター、生涯学習センター併設の市立図書館
- ・高麗川公民館
- ・日高市文化体育館ひだかアリーナ
- ・市民プール

⑦ 地域人材の活用

- ・ふれあい推進員（畑の栽培活動、昔遊び等）
- ・民生児童委員
- ・高麗川地区青少年健全育成の会（かえでっ子アフタースクール）

⑧ 学校への期待

- ・あいさつ
- ・安心安全な学校（施設等の修繕や改善）
- ・体力の向上
- ・学力向上

〈活かしたいよさ〉

【児童・生徒】・・・明るく、元気 ・年齢や性別に関係なく仲が良い
・素直な性格で勤労奉仕の心が育っている。（お手伝い好き）

【地域・保護者】・・・全体的に協力的で子供や職員を温かく見守ってくれている

〈解決したい課題〉

- ・小中一貫教育のよりよいあり方
- ・多様化する生徒や保護者への対応

〈キーワード〉

- ・積極性・自主性（児童生徒）
- ・こまがわっ子
（この言葉は児童生徒や職員のみならず地域に浸透している）

学校・地域の実態調査票

日高市立高麗川中学校

1 学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

① 歴史、沿革

- ・昭和 22 年入間郡高麗川村立高麗川中学校として開校
- ・昭和 23 年 11 月 新校舎竣工 職員数 8 学級数 6
- ・平成 3 年 市制施行により日高市立高麗川中学校に改称
- ・平成 23, 24, 25 年 校舎体育館耐震工事大規模改修

② 学校規模、学級数 (R6. 5 月 1 0 日現在)

学年	1 年	2 年	3 年	特支	合計
人数	1 5 0	1 3 8	1 3 8	1 2	4 3 8
学級数	4	4	4	3	1 5

③ 特色ある施設

- ・生徒全員へのタブレット端末 (グーグルクローム)
- ・ナイター照明のあるグラウンド

④ 花壇、自然環境等の状況

- ・学校のシンボルとしてロータリーに大けやき。
- ・学校農園における栽培、収穫。

〈児童生徒の状況〉

⑤ 生徒数、全体的特性

- ・生徒数 4 3 8 名。明るく素直である。男女の仲がよい。ボランティア活動に意欲的である。

⑥ 学力の状況 (中 3) ※R6 年度埼玉県学力学習状況調査結果

	教科	国語	数学	英語
R5 から R6 の伸び	R5	+ 2	0	+ 3
	R6	+ 2	- 1	+ 3
	比較	0	- 1	0

○国語・英語が伸びている。

▲数学に伸びがなく、県平均を下回っている。

⑦ 体力の状況 ※R6 年度新体力テスト総合評価 (男女合計)

	学校全体	県の割合
A+B	5 7. 2 %	5 3. 5 %
A+B+C	8 2. 7 %	8 1. 4 %

男女各 2 4 項目計 4 8 項目中

○3 0 項目 (上体起こし、立ち幅跳び等) で県平均を上回る。

▲1 8 項目 (長座前屈、握力等) で県平均を下回る。

⑧ 人間関係 (いじめ、不登校等) の状況 ※R6 年度結果

- ・いじめ認知件数は 9 件。いじめアンケートを生徒に年 3 回、保護者に年 1 回実施している。
- ・不登校生徒出現率は 8. 6 % であり、高い状態が続いている。

〈教職員の状況〉

⑨ 教職員数 (産休・育休を除く)、全体的特性

- ・県費負担教職員 3 1 名、その他 5 名 合計 3 6 名
- ・職員の入れ替わりが激しい。新採用教員が毎年配置されている。臨時採用職員も 4 名勤務している。本校が 1 校目、または 2 校目の教員が半数近くいる。

2 地域の実態

〈保護者〉

① 学校行事、保護者会への参加状況

- ・体育祭、合唱祭など、非常に参加率が高い。3 世代での参観も多い。定期の保護者会は 60 % 程度である。

② 学校への理解、協力状況 ※R6 年度学校自己評価

評価項目	保護者回答結果 A+B 「A」ほぼ達成「B」概ね達成
組織運営の充実	9 5 %
基礎学力の定着	8 8 %
社会性・人間性の充実	9 7 %
保護者・地域との連携	9 5 %
安心・安全な教育環境	9 4 %

○学校の教育目標や目指す学校像への理解、各取組に対して、非常に肯定的である。協働学習、いじめ、不登校対応についても理解を得られている。

▲学力の伸びが数値として表れてこない。

③ 学校への意見・要望

- ・小グループ (4 人組) を用いた協働学習では、意見が活発に交わされ、とてもよい雰囲気です学習しているので、続けて欲しい。
- ・ボランティア活動を学校の代名詞に。
- ・校舎内外の整備がよくできている。今後も P T A や地域で協力していきたい。

〈地域〉

④ 歴史、文化等の施設の状況

- ・「製茶の父」高林謙三/桑田正平の記念石碑 (北平沢)
- ・野々宮神社 (野々宮)

⑤ 自然環境等の状況

- ・高麗川駅、県道 1 5 号や 3 0 号など交通量が多いエリアであり、住宅も多いため日高の中ではあまり自然環境に恵まれていない。

⑥ 社会教育関係施設の状況

- ・高麗川公民館
- ・生涯学習センター
- ・市立図書館
- ・日高市文化体育館ひだかアリーナ
- ・市民プール

⑦ 地域人材の状況

- ・学校応援団
- ・民生児童委員
- ・健全育成会

⑧ 学校への期待

- ・学力・体力の向上
- ・ボランティア活動でさらなる地域貢献を
- ・安全安心な学校

〈生かしたいよさ〉

【児童・生徒】・・・明るく、元気が良い ・年齢や性別に関係なく仲が良い
・素直な性格で勤労奉仕の心が育っている

【地域・保護者】・・・全体的に協力的で子供や職員を温かく見守ってくれている

〈解決したい課題〉

- ・小中一貫教育のよりよいあり方
- ・多様化する生徒や保護者への対応

〈キーワード〉

- ・積極性・自主性 (児童生徒)
- ・こまがわっ子
(この言葉は児童生徒や職員のみならず地域に浸透している)

高麗川地区小中学校共通目標

＜小中共同目標 ～目指す15歳像～＞

- 全 体
「ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子」
～地域と学校の連携を生かした学習・体験・交流を通して～
- 知 育 自ら考え、よく学び、自分の言葉で表現できる子
- 徳 育 相手の気持ちを考えて、仲良く協力し合える子
- 体 育 自分の目当てを持って、進んで運動できる子



＜設定理由(納得させる説明) 児童生徒のよさと課題をもとに＞

本地区の児童生徒のよさ（課題）は、

- ①明るく、元気である。
 - ②年齢や性別に関係なく仲が良い。その分競争意識、粘り強さに欠ける。
 - ③素直で勤労奉仕（お手伝い、ボランティア）の心がある。
- こうしたよさ（課題）を踏まえて、
- ①さらに自主性・積極性を磨き、自分から学び・行動する児童生徒
 - ②すぐにあきらめず、仲間と競い合い、高めあって粘り強く課題に対処していく児童生徒
 - ③奉仕の心を大きく育て、友人、地域、社会の役に立つ経験を通して、それを自信にしてさらに伸びていく児童生徒
- を育てたいと考え、上記の目指す生徒像を設定した。

高麗川中学校卒業後、未知の状況の中でも、ねばり強く考え、行動し、自分の足で人生を切り拓き、歩んでいく生徒を育てたい。他者や社会の役に立つ経験を通して、自分の行動（人生）に自信を深め、さらに社会に貢献していくような児童生徒を育てたいと考え、目指す15歳像を設定した。

学校・地域の実態調査票

日高市立高萩小学校

1 学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

- ① 歴史
 - ・令和5年度で135年を迎えた歴史ある学校。高萩北小学校と昭和53年に分離した。
- ② 学校規模 学級数
 - ・中規模校 全校児童 令和6年1月22日現在 540名 家庭数418
 - ・学級数 21学級（特別支援4学級を含む）
- ③ 施設の特徴
 - ・中学校と隣接しているため、プールや校庭は共有している。敷地内に公民館がある。
- ④ 花壇、自然環境等の状況
 - ・学区内に栗林、ブナ林等が点在している自然豊かな学校。また国道407号が走っていて大きな幹線道路がある。

〈児童生徒の状況〉

- ⑤ 学級数と児童の特性
 - ・3年生は2学級、それ以外は3学級平行。特別支援学級が4学級ある。人懐っこく素直な児童が多いが、ねばり強さに欠けるのが課題である。
- ⑥ 学力の状況
 - ・各種学力調査の点数は県平均をやや下回っている。埼玉県学力学習状況調査の結果の考察から、高萩小中共に「思考力」に課題があることが明らかになり、合同研修会を通して児童生徒の学習への意欲向上を図る取組を行っている。
- ⑦ 体力の状況
 - ・新体力テストの結果は、埼玉県平均の記録に若干届かない種目が多い。ボール投げが得意で、握力と20mシャトルランが課題。
- ⑧ 人間関係（いじめ、不登校等）に対する対応
 - ・いじめ案件や不登校児童に対する対応は、生徒指導主任を中心として、組織で行っている。

〈教職員の状況〉

- ⑨ 教員数 全体的特徴
 - ・県費負担教職員34名
男性12名、女性22名
 - ・担任21名
- ⑩ 平均年齢 男女比
 - ・41歳 男：女=6：11

2 地域の実態

〈保護者〉

- ① 学校行事、保護者会への参加状況
 - ・学校行事、役員を中心に協力的である。
 - ・保護者会への参加状況
学年によるが60%前後。
- ② 学校への理解、協力状況
 - ・理解があり好意的に支えてくださる方が多い。
- ③ 学校への意見・要望
 - ・あいさつをして元気に学校に通うこと。

〈地域〉

- ④ 歴史、文化等の施設
 - ・鎌倉街道の記念碑、女影ヶ原古戦場跡がある。
- ⑤ 自然環境の状況
 - ・学区内には、森林が豊富にあり、自然豊かな学区である。
- ⑥ 社会教育関係施設の状況
 - ・敷地内に高萩公民館が建設された。
- ⑦ 地域人材の状況
 - ・木の剪定や除草作業に積極的に助けていただける。
- ⑧ 学校への期待
 - ・子どもたちが安心・安全に通えて、あいさつのあふれる学校。

〈生かしたいよさ〉

- ・保護者、地域の方の協力
- ・素直な子どもたち
- ・児童の主体的活動

〈解決したい課題〉

- ・若手職員の育成、児童・保護者理解
- ・指導力向上（学力向上に向けて）
- ・児童のねばり強さの育成

〈キーワード〉

- ・保護者、地域との連携
- ・指導力向上
（学力向上、児童・保護者理解）
- ・粘り強さ

1 学校の実態

〈学校の歴史、文化等〉

- ① 歴史、沿革
 - ・昭和22年4月1日 高萩村立高萩中学校開設
 - ・現在、開校77年目
- ② 学校規模、学級数
 - ・中規模校、11クラス（うち特支学級2クラス）
- ③ 特色ある施設
 - ・高萩小学校とグラウンドが繋がっている。
- ④ 花壇、自然環境等の状況
 - ・学校ファームとして特支学級の生徒がじゃがいもや大根、小松菜などの野菜を栽培している。

〈児童生徒の状況〉

- ⑤ 児童生徒数、全体的特性
 - ・281名、落ち着きがあり、素直である。
 - 一方、集団生活に不安を感じている生徒がいる。
- ⑥ 学力の状況
 - ・令和6年度埼玉県学力学習状況調査では埼玉県平均を下回っていた。
- ⑦ 体力の状況（令和6年度調査）
 - ・県平均を上回っているものは48項目中、19項目ある。上体起こしや、50m走、持久走にて向上の傾向が見られる。
 - ・陸上男子110mH 埼玉県大会第1位（新人戦）

〈教職員の状況〉

- ⑧ 教職員数、全体的特性
 - ・県費教職員23名、その他職員12名
 - ・再任用3名、本校が1校目または2校目の職員が半数以上、臨時採用が1名である。
- ⑨ 平均年齢、男女比（校長、教頭を除く県費職員）
 - ・44歳、 11：10

2 地域の実態

〈保護者〉

- ① 学校行事、保護者会への参加状況
 - ・参加率およそ60%（年間行事の平均）である。
- ② 学校への理解、協力状況
 - ・学校評価では、教育方針への理解度が90%である。
- ③ 学校への意見・要望
 - ・基本的には感謝の言葉が多いが、一部の家庭より、校則や指導について改善要望がある。

〈地域〉

- ④ 歴史、文化等の施設の状況
 - ・鎌倉街道や日光街道等の歴史的な主要交通網がある。
 - ・女影ヶ原古戦場跡などがある。
- ⑤ 自然環境等の状況
 - ・雑木林や水田、畑などが多くある。
- ⑥ 社会教育関係施設の状況
 - ・公民館が高萩小学校校庭に新築された。
 - ・学区内に総合公園がある。
- ⑦ 地域人材の状況
 - ・高萩地区青少年健全育成の会と生徒による地域清掃を毎年行っている。
 - ・萩っ子見守隊による登校指導が行われている。
- ⑧ 学校への期待
 - ・高萩地区の歴史などの伝承や郷土愛の育成。
 - ・地域で挨拶が交わせる人間関係づくり。
 - ・校内で生徒が安心安全で生活できる環境づくり。

生かしたいよさ

- ・生徒の素直で真面目な態度
 - ・継続的な特別活動
 - ・地域や保護者からの協力
 - ・学校環境（行き届いた清掃）
 - ・隣接型による小中一貫教育
 - ・地域との連携
- 〈解決したい課題〉
- ・不登校生徒や情緒不安定な生徒への対応
 - ・意図的な地域連携
 - ・教職員の指導力向上と生徒の学力向上
 - ・教職員の人材育成とケア
 - ・生徒の主体性、ねばり強さ、コミュニケーション能力

〈キーワード〉

- ・個と集団
- ・協働、連携
- ・ねばり強さ
- ・主体性

高萩地区小中学校共通目標

＜小中共同目標 ～目指す15歳像～＞

- 全 体 ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子
- 知 育 夢を持ち、豊かな学びができる子
- 徳 育 絆を大切にする子
- 体 育 明るく元気な子



＜設定理由（納得させる説明） 児童生徒のよさと課題をもとに＞

本地区の小中共同の課題として、以下の三点がある。

- 1 主体的に取り組む
- 2 ねばり強く取り組む
- 3 コミュニケーション能力が低い

これらの課題を克服するために、目標の文言に取り入れた。

学校運営協議会などで話し合った内容（地域・保護者の意見）として、以下の三点がある。

- ・「おらが地域」という言葉を用いて欲しい。
- ・「感謝」できる人に成長して欲しい。
- ・毎日「健康」でいて欲しい。

こうした地域の意見を踏まえて、地域全体の目標としての位置づけができるような目指す15歳像を設定した。

1 学校の実態

<学校の歴史、文化等>

① 歴史、沿革

- ・令和5年11月8日
校章・校歌 高根地区学校運営協議会
承認・設定(11月8日が開校記念日)
- ・令和6年4月1日

日高市立高根小中学校開校

② 学校規模、学級数 小規模

- ・前期課程9学級(通常6、特別支援3)
- ・後期課程6学級(通常4、特別支援2)

③ 特色ある施設

- ・高根児童室併設 ・(水田)

④ 花壇、自然環境等の状況

- ・花壇…中庭、正門前 農園…校庭南側
- ・学校の北・東側には住宅地が広がり、
南・西側には森、林が見られる。

<児童生徒の状況>

⑤ 児童生徒数、全体的特性

- ・児童生徒数270名
(前期:151人 後期:119人)
- ・配慮を要する児童生徒、家庭が各クラスに一定数いる。素直な子が多い。

⑥ 学力の状況

- ・全国学テ(2024)正答率
前期課程:国50% 算39%
後期課程:国47% 算39%
正答率が全国平均より下回っている。

⑦ 体力の状況

- 前期課程:○44項目 △55項目
- 後期課程:○13項目 △35項目
- は県平均値を上回っているもの
- △は県平均値を下回っているもの

⑧ 人間関係の状況

- ・不登校あり。(数名)
- ・いじめ…あり。深刻な状況は1件。

<教職員の状況>

⑨ 教職員数(令和6年4月現在)

- ・常勤職員37人 非常勤職員4人
- ・育児休業職員4人 AET1人
- ・ふれあい相談員1人
- ・スクールカウンセラー2人

⑩ 平均年齢、男女比

- ・平均年齢42.1歳
- ・男性職員56% 女性職員44%

2 地域の実態

<保護者>

① 学校行事、保護者会への参加状況

- ・懇談会への出席率
1学期89% 2学期59%
- ・前年度より上昇し、参加率が高まっている。

② 学校への理解、協力状況

- ・学校応援団、PTAが協力的。
大運動会開催にあたり、多くの保護者の協力を
いただいて実施できた。
- ・学校に対する期待も大きい。

③ 学校への意見・要望

- ・指導方法に対する意見・要望をいただく
ことがある。

<地域>

④ 歴史、文化等の施設の状況

- ・約50年前、住宅公団や不動産会社による宅地
開発によって山を切り開いてできた。こま川
団地の歴史とともにある。
高麗川南公民館。

⑤ 自然環境等の状況

- ・住宅地・団地が北から東側に広がり、森林が南
から西側に広がっている。桜並木が学校北側
の通りにある。

⑥ 社会教育関係施設の状況

- ・放課後や土曜日の午後など、子供たちの成長を
見守ってくれたり、様々な経験をさせてくれ
たりする機関がある。
高根児童室 高麗川南公民館
ぬくもり元気食堂
青少年健全育成の会

⑦ 地域人材の状況

- ・学校運営協議会がコミュニティ・スクールの基
盤となっている。
- ・地域学校協働本部の協力が手厚く、体制が組織
としてしっかりしている。
- ・人材の高齢化が課題である。

⑧ 学校への期待

- ・義務教育学校となり、これまで以上に教育活
動の様子を発信するとともに、学校をよりど
ころとしながら、積極的に地域との連携・協力
を深めていく。

<生かしたいよさ>

- ・地域の協力的風土
- ・子どもたちの素朴さ、少人数(縦のつながりをつくれる)

<解決したい課題>

- ・地域と保護者のむすびつき、連携の構築
- ・学力向上(思考力・判断力・表現力、考え続ける粘り強さ、関心)

<キーワード>

- ・基礎・基本の定着
- ・粘り強さ
- ・地域連携

高根地区小中学校共通目標

<小中共同目標～目指す15歳像～>

- 全体 夢を持ち、自分の行動に責任を持つ かにたっ子
- 知育 自ら学ぶ子
- 徳育 夢に向かってがんばる子
- 体育 あきらめないでやりぬく子



<設定理由(納得させる説明)児童生徒のよさと課題をもとに>

本地区の児童生徒のよさは、「素直で明るい児童生徒が多いこと」である。これは、家庭や学校だけでなく、学校運営協議会や地域学校協働本部をはじめとした地域の方々の熱心な協力によって育てられている。

一方、次のような課題が見られる。1つ目は、「基本的な生活習慣の定着」である。虫歯の治療率が低く、1日歯磨きをしない児童生徒も見られる。学習面では宿題などの提出物を自分から出すことができない児童生徒がいる。2つ目は、「学力に課題が見られる児童生徒の割合が高い」点である。そして、3つ目は、「自分に自信がもてない点」である。自信は、物事をやり遂げることで身につくものだが、本地区の児童生徒は、こうした機会が少なかったり、うまくやり遂げられなかったりしたことなどが原因と考えられる。

こうしたよさと課題を踏まえ、義務教育学校9年間の学びの中で「基本的な生活習慣をしっかり身に付けること」「自ら学び、基礎基本の学力をつけること」を粘り強く取り組むことで先の2つの課題解決につなげていきたい。この2つの粘り強い取組は、児童生徒のできることが増えていくことに結びつき、それが自信へとつながっていく。自信は自分たちの学びに広がりを与え、自分のもつ可能性や将来の夢を持つことにつながる。また、視野の広がりに伴い、今まで気付かなかった地域の方々の協力のおかげであることにも気付くことにつながると考える。このように、自分にできることを増やす中で自分に自信をもつとともに、地域の支えに気付き、15歳で社会的に自立した児童生徒を育成し、「いつかは自分の地域のために」と地域の発展を願う心を育てたいと考え、目指す15歳像を設定した。

1 学校の実態

〈学校の歴史・文化等〉

- ①歴史、沿革
 - ・昭和53.4.1 日高町立高萩北小学校として開校
- ②学校規模、学級数
 - ・21学級、中規模校、減少傾向
- ③特色ある施設
 - ・岩石園、流水実験施設
 - ・観察池（北っ子池）
- ④花壇、自然環境等の状況
 - ・運動場、花壇、学校ファーム、観察池（北っ子池）

〈児童の状況〉

- ⑤児童数、全体的特性
 - ・505名
 - ・素直で人懐っこい児童が多いが、自己表現が苦手
- ⑥学力の状況
 - ・全国、県平均より低い。児童間の学力差が大きい。
 - ・学力が低位層の児童の学力の伸びが大きい。
 - ・非認知能力の「向社会性」の伸びが大きい。
- ⑦体力の向上
 - ・県平均に近づいてきている。
 - ・新体力テストの結果では、県の平均の数値を超えている種目は男子約40%、女子約55%である。
- ⑧人間関係（いじめ、不登校等）の状況
 - ・不登校の児童がおり、コロナ流行を経て増加している。

〈教職員の状況〉

- ⑨教職員数、全体的特性
 - ・県費職員（32名）
 - ・若手が多く、ベテランが少ない。
- ⑩平均年齢、男女比
 - ・平均年齢・・・41.0歳
 - ・男女比・・・男性12名、女性20名



2 地域の実態

〈保護者〉

- ①学校行事、保護者会への参加状況
 - ・運動会などの学校行事への参加率は高い。
 - ・4月の保護者会は比較的、参加率が高い
- ②学校への理解、協力状況
 - ・PTAの協力や登下校の立哨指導など保護者や地域の方から多くの協力を得ている。
 - ・公民館を中心に地域学校協働活動の組織が作られた。
- ③学校への意見、要望
 - ・家庭学習の習慣がつくような指導についての要望が高い。

〈地域〉

- ④歴史、文化等の施設の状況
 - ・地域一帯は戦後に開拓地となったが、戦中は陸軍航空隊の飛行場だった。
- ⑤自然環境等の状況
 - ・大きな畑地が点在している。
 - ・旭ヶ丘松の台土地区画整理事業が行われている。（R7.11月まで）
- ⑥社会教育関係施設の状況
 - ・公民館、公会堂があり、県立日高高校が隣接している。
- ⑦地域人材の状況
 - ・様々な機関や施設が身近にある（公民館、旭ヶ丘病院）
 - ・産業、工場が多い（茶畑、丸美屋のりたま工場、加藤牧場）
 - ・地域の方が協力的である（地域学校協働活動や見守り隊）
- ⑧学校への期待
 - ・学校教育目標の具現化をし、達成すること
 - ・児童の学力や体力向上、生活習慣化が保障されること
 - ・教師と子供が共に成長し合うこと
 - ・保護者・地域から信頼される学校をつくること
 - ・互いに支える教職員集団『チーム北小』を築き上げ、家庭、地域と共に協力し合うこと

〈生かしたいよさ〉

- ・自校のことをよく理解し分析することが、子供（学校）、家庭、地域へとつながると考える。
 - 小・中学校が連携して組織的に取り組む。（目指す学校像と育てたい児童生徒像の共有）
 - 地域を巻き込んだ教育活動の推進（様々な機関や施設、産業、工場、日高高校、加藤牧場など）

〈解決したい課題〉

- ・児童の学力や体力の向上
- ・児童の表現力の向上
- ・生徒指導の組織化・教職員の意識改革（指導力の向上・働き方）
- ・教職員の意識改革（指導力の向上・働き方）

1 学校の実態

<学校の歴史、文化等>

① 歴史、沿革

昭和 20 年に飛行場跡地に高萩開拓団が入植し、旭ヶ丘を拓いた。北中は昭和 59 年 4 月 1 日に萩中から分離して開校した。

② 学校規模・学級数

中規模校・13 学級

1 学年	2 学年	3 学年	特別支援
3 学級	4 学級	3 学級	2 学級

③ 特色ある施設

特になし

④ 花壇、自然環境等の状況

校庭を挟むように花壇が設置されており、地域の花植プロジェクトにより通年花が咲いている。季節によって体育館西側にも大規模花壇を整備している。

<児童生徒の状況>

⑤ 児童生徒数、全体的特性

生徒数 341 人、明るく元気な声が出る生徒が多い。

⑥ 学力の状況

全国、県平均より低い。県学力状況調査では勉強が苦手だった生徒層の数値が上昇しているが、中間層の伸びが鈍い。

⑦ 体力の状況

県平均よりやや高い。

⑧ 人間関係（いじめ、不登校等）の状況

<教職員の状況>

⑨ 教職員数、全体的特性

26 人（県費職員）、若手中心でベテランが少ない。

⑩ 平均年齢、男女比

男 18 人、女 8 人、→平均年齢 39.6 歳

2 地域の実態

<保護者>

① 学校行事、保護者会への参加状況

体育祭や合唱祭への参加率は非常に高かった。保護者会への参加率は、各学年により差があったが、比較的高い。1 学期、2 学期は、各学年で日を分けて保護者会を行った。

② 学校への理解、協力状況

PTA 活動が盛んで、PTA 役員の学校への協力は高いレベルにある。学校評価では学校教育目標への理解が 96%、学習内容についても 89%が肯定的理解となっている。

③ 学校への意見・要望

家庭学習の取り組みについてや学習内容が身につくようなわかる授業への意見・要望が多い。

<地域>

④ 歴史、文化等の施設の状況

南北に鎌倉街道、東には日光街道杉並木が走っている。また、地域一帯は戦後に開拓地となったが、戦中は陸軍航空隊の飛行場だった。近年では高麗郡関連の遺跡も発見されている。

⑤ 自然環境等の状況

加藤牧場が隣接している。また、大きな畑地が点在している。

⑥ 社会教育関係施設の状況

公民館、公会堂があり、学区内に県立日高高校が設置されている。

⑦ 地域人材の状況

酪農、農業、落語、部活動指導

⑧ 学校への期待

平和な中学校生活を送らせたい
学力の向上

<生かしたいよさ>

- ・明るく元気な声が出せる生徒が多い。
- ・地域活動が盛んである。

<解決したい課題>

- ・学力向上
- ・頑張り抜く力

<キーワード>

自 立
創 造
貢 献

高萩北地区小中学校共通目標

＜小中共通目標 ～目指す15歳像～＞

○全 体 「明日をひらき のびゆく 輝多っ子」

○知 育 自ら学び続ける子

○徳 育 相手の気持ちを考え行動できる子

○体 育 進んで運動を楽しめる子



＜設定理由（納得させる説明） 児童生徒のよさと課題をもとに＞

本地区の児童生徒のよさ・課題は、児童生徒・教職員・保護者・地域で実施したアンケートより以下のように示すことができる。

＜よさ＞

- ①明るく、元気である
- ②仲がよい
- ③行事等に一生懸命で、団結できる

＜課題＞

- ①学力の向上（あきらめない・粘り強く・自ら進んで）
- ②積極性・自主性（あいさつ・時間を守る・忘れ物をなくす・決まりを守る）
- ③豊かな心の育成（いじめをなくす・悪口をなくす・掃除を頑張る・言葉遣い）

また、児童生徒のよさ・課題に加え、長年にわたり学校を支えて下さる方が多数おり、学校に対して協力的に活動していただいているという特色がある。これらを踏まえ、高萩北地区の児童生徒育成のねらいとして、小中学校9年間の学び（学習面）と、育ち（生活面）、生涯に渡り運動に取り組める姿勢（体力面）を鑑みて目指す児童生徒像（知・徳・体）を設定した。

目指す15歳像は、自ら未来を拓き、生涯にわたり成長し続け、地域に貢献できる北（輝多）っ子を育てたいと考え、上記のように設定した。

1 学校の実態

<学校の歴史、文化等>

- ① 歴史、沿革
 - ・昭和 55 年開校 ・令和 5 年 3 月 31 日で閉校
令和 5 年度から日高市立武蔵台小中学校となる。
- ② 学校規模、学級数 ・小規模
 - ・前期課程 9 学級（通常 7、特別支援 2）
 - ・後期課程 4 学級（通常 3、特別支援 1）
- ③ 特色ある施設
 - ・タイヤ木山（自然環境を生かした遊び場）
 - ・教室に余裕があるので教科ごとに教室がある。
- ④ 花壇、自然環境等の状況
 - ・花壇はよく手入れがされ、ビオトープにはたくさんの生き物が棲みついている

<児童生徒の状況>

- ⑤ 児童生徒数、全体的特性
 - ・児童生徒数 301 名（前期…190 名 後期…111 名）
 - ・高学年のリーダーシップが強い。
- ⑥ 学力の状況
 - ・定期テスト前の勉強会を実施し、不得意科目の克服に取り組んでいる。（後期課程）
- ⑦ 体力の状況
 - ・全体的に高めだが、投げる力がやや弱い。（前期）
 - ・走力はレベルが高い（長距離走の結果が良い）。
- ⑧ 人間関係（いじめ、不登校等）の状況
 - ・不登校傾向の児童が若干名いる。
 - ・前期課程は毎学期、後期課程は毎月末に学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見に努めている。

<教職員の状況>

- ⑨ 教職員数、全体的特性
 - ・28 名（県費）、児童生徒によく寄り添い熱心。

2 地域の実態

<保護者>

- ① 学校行事、保護者会への参加状況
 - ・いずれも 6～9 割程度。学年等によっても異なる。行事と比べると、保護者会への参加は少なめ
- ② 学校への理解、協力状況
 - ・PTA 活動にとどまらず、運動会の準備等にも進んでご協力いただける方が多い。
- ③ 学校への意見・要望
 - ・異年齢集団の行事、体験を希望する方が多い。

<地域>

- ④ 歴史、文化等の施設の状況
 - ・昭和 48 年に入居が始まった新しい街区である。高麗石器時代住居跡（日高市 台）
- ⑤ 自然環境等の状況
 - ・多峯主山を背にした森の香り豊かな環境であり、標高がやや高いため冬は比較的寒い。
- ⑥ 社会教育関係施設の状況
 - ・武蔵台公民館が中心となり、社会教育関係の事業を推進している。
- ⑦ 地域人材の状況
 - ・高学歴の方が多く、多くの分野で活躍された方がいる。教育活動には協力的。
- ⑧ 学校への期待
 - ・学力向上への期待が高い。学校へ協力的である一方、地域への協力要請も多い。

<生かしたいよさ>

- ・細かい部分まで目の届いた学習支援
- ・地域の教育に対する理解（期待）の高さ

<解決したい課題>

- ・現状に満足しない、より高度なレベルを求めていく意識改革
- ・児童数減少と、それに伴う保護者（PTA など）、教職員の人材育成

<キーワード>

- ・自己効力感

武蔵台小中学校共通目標

＜小中共通目標 ～目指す15歳像～＞

- 全 体 たくましく未来を切り拓き、一歩上を目指す台っ子
- 知 育 進んで学び、学習の基礎基本をしっかりと身に付けた15歳
- 徳 育 思いやりの心を持ち、他者とともにより良い生き方を求める15歳
- 体 育 基礎体力を身に付け、心身ともに健康で安全な生活を送る15歳



＜設定理由（納得させる説明） 児童生徒のよさと課題をもとに＞

本地区の児童生徒のよさは、学力への関心の高さと、さまざまな手段（人との交流、調べ学習、情報機器の活用）で興味関心のある事柄について、探求する能力が備わっていることである。また、地域の教育に対する理解も深く、細かい部分まで目の届く学習支援が可能な環境である。一方で、「ここまででいい」という達成度で満足しがちであるという課題もある。

こうしたよさを踏まえて、対話・協働による学びを大切にし、高い目標を持って学習できる児童生徒を育成したいと考え、目指す15歳像を設定した。

(ア) ねらい

(イ) 基本方針

- ・学習状況調査等の児童生徒の実態から重点を置く指導内容を定め、カリキュラムを開発・実施することにより、児童生徒が躓きやすい単元や、重点的に指導すべき事項が明らかになり、確かな学力の向上を図ることができる。
- ・小学校と中学校の教員が、カリキュラムを用いて指導方法等についても共通理解を図ることにより、9年間で一貫した学習指導や生徒指導を行うことができる。
- ・中一ギャップが解消され、児童生徒が安心して学ぶ環境が整い、児童生徒の学力が向上する。

- 1 教育課程編成について確認する。
- 2 学年区分と区分目標について確認する。
- 3 小中一貫9年カリキュラムについて研究する。
- 4 教育目標と教育課程編成の基本方針の作成 ※推進委員会作成済
- 5 各教科等の概要版の作成 ※推進委員会作成済

- ・児童生徒の「課題」を明確にする。← 学習状況調査、学校訪問 等
- ・9年間で「育みたい力」を明確にする。
- ・発達の段階に応じて「重点をおく指導内容」等を整理する。

- ・9年間の系統性が分かるように一覧表で示す。
- ・重点化を図る指導内容や躰きやすい項目に網掛けをする。

・各教科概要、単元配列（系統）表をもとに各学校で年間指導計画を作成する。（以下は例）



算数・数学科内容系統配一覧表

期	Ⅰ期				Ⅱ期			Ⅲ期	
日 程	区分目標：数、量、図形などの感覚を養うとともに、思考力、判断力及び表現力の基盤を養う。				区分目標：より一層抽象的な概念の構築を図り、思考力、判断力及び表現力を育む。			区分目標：様々な事象に対する数理的な考察や処理する能力や思考力、判断力及び表現力を伸ばす。	
学 年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
A 数と式 計算	【数の構成と表し方】 ・個数を数えること ・個数や順序を数えること ・数の大小、順序と数直線 ・2位数の表し方 ・簡単な場合の3位数の表し方 ・十を単位とした数の見方 ・まとめて数えたり等分したりすること 【加法、減法】 ・加法、減法が用いられる場合とそれらの意味 ・加法、減法の式 ・1位数の加法とその逆の減法の計算 ・簡単な場合の2位数の加法、減法	【数の構成と表し方】 ・まとめて数えたり、分類して数えたりすること ・十進位取り記数法 ・数の相対的な大きさ ・一つの数のほかの数の様としてみる ・数による分類整理 ・1/2、1/3などの簡単な分数 【加法、減法】 ・2位数の加法とその逆の減法 ・簡単な場合の3位数などの加法、減法 ・加法や減法に関して成り立つ性質 【乗法】 ・乗法が用いられる場合とそれらの意味 ・乗法の式 ・乗法と加法、減法の関係 ・簡単な場合の2位数と1位数との乗法	【数の表し方】 ・万の単位 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさ ・数の相対的な大きさ 【加法、減法】 ・加法、減法の計算の仕方 ・3位数や4位数の加法、減法 【乗法】 ・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算 ・乗法に関して成り立つ性質 【除法】 ・除法が用いられる場合とそれらの意味 ・除法の式 ・除法と乗法、減法の関係 ・簡単な場合の2位数の除法 【数量の関係を表す式】 ・○□を用いた式 【そろばん】 ・そろばんによる数の表し方と計算	【数の表し方】 ・億、兆の単位 【乗数と四捨五入】 ・乗数が用いられる場合 ・四捨五入 ・四捨五入の結果と見方 【整数の除法】 ・除法の計算の仕方 ・被除数、除数、商及び余りの関係 ・除法に関して成り立つ性質 【小数の位組みとその計算】 ・小数を用いた計算 ・小数と数の相対的な大きさ ・小数の加法、減法 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算 【同分母の分数の加法、減法】 ・大きさを等しい分数 ・分数の加法、減法 【数量の関係を表す式】 ・四則を混合した式や「 $\square$ 」を用いた式 ・□、△などを用いた式 【四則に関して成り立つ性質】 ・四則に関して成り立つ性質 【そろばん】 ・そろばんによる計算の仕方	【整数の性質】 ・偶数、奇数 ・約数、倍数 【整数、小数の乗除法】 ・10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさ 【小数の乗法、除法】 ・小数の乗法、除法の意味 ・小数の乗法、除法の計算 ・計算に関して成り立つ性質 ・小数への対応 【分数の意味と表し方】 ・分数と整数、小数の関係 ・除法の結果と分数 ・同じ大きさを表す分数 ・分数の約分と大小 【分数の加法、減法】 ・異分母の分数の加法、減法 【数量の関係を式に表す式】 ・数量の関係を式に表す式	【分数の乗法、除法】 ・分数の乗法及び除法の意味 ・分数の乗法及び除法の計算 ・計算に関して成り立つ性質 ・分数への対応(分数×整数、分数÷整数) 【文字を用いた式】 ・文字を用いた式 日高市重点項目 「56年」分数の乗除	【正の数・負の数】 ・正の数と負の数の必要性と意味 ・正の数と負の数の四則計算 ・正の数と負の数の大小 ・(省略「乗数」を追加。内容の表し方に、自然数の乗数の様として表すことの追加。) 【文字を用いた式】 ・文字を用いた式 ・乗法と除法の表し方 ・一次式の加法と減法の計算 ・文字を用いた式に表すこと 【一元一次方程式】 ・方程式の必要性と意味及びその解の意味 ・一元一次方程式を解くこと	【文字を用いた式の四則計算】 ・簡単な式の加法及び乗法の計算 ・文字を用いた式で表したり読み取ったりすること ・文字を用いた式で与えられたものを読み取る ・目的に応じた式変形 【連立二元一次方程式】 ・二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味 ・連立方程式とその解の意味 ・連立方程式を解くこと	【平方根】 ・平方根の必要性と意味 ・平方根を含む式の計算 ・平方根を用いて表すこと(概数、近似値、 $a \times 10^n$ の形の表現を追加) 【式の展開と因数分解】 ・単項式と多項式の乗法と除法の計算 ・簡単な式の展開や因数分解 【二次方程式】 ・二次方程式の必要性と意味及びその解の意味 ・因数分解や平方完成して二次方程式を解くこと ・解の公式を用いて二次方程式を解くこと
	日高市重点項目 「12年」10の補数 九の唱唱ときまり			日高市重点項目 「34年」分数の理解と加減		日高市重点項目 「56年」分数の乗除		日高市重点項目 「中学校」関数 図形	
B 図 形	【図形についての理解の基礎】 ・形とその特徴の捉え方 ・形の構成と分解 ・方向やものの位置	【三角形や四角形などの図形】 ・三角形、四角形 ・正方形、長方形と直角三角形 ・正方形や長方形の面で構成される形の形	【二等辺三角形、正三角形などの図形】 ・二等辺三角形、正三角形 ・角 ・円、球	【平行四辺形、ひし形、台形などの図形】 ・直線の平行や垂直の関係 ・平行四辺形、ひし形、台形 【立方体、直方体などの立体図形】 ・立方体、直方体 ・直線や平面の平行や垂直の関係 【ものの位置の表し方】 ・ものの位置の表し方 【平面図形の面積】 ・面積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定	【平面図形の性質】 ・図形の形と大きさが決まる要素と図形の合同 ・多角形、正多角形、円周率 【立体図形の性質】 ・角柱や円柱 【平面図形の面積】 ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の計算による求め方 【立体図形の面積】 ・体積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定	【平面図形の性質】 ・図形の形と大きさが決まる要素と図形の合同 ・多角形、正多角形、円周率 【立体図形の性質】 ・角柱や円柱 【平面図形の面積】 ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の計算による求め方 【立体図形の面積】 ・体積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定	【平面図形の性質】 ・図形の形と大きさが決まる要素と図形の合同 ・多角形、正多角形、円周率 【立体図形の性質】 ・角柱や円柱 【平面図形の面積】 ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の計算による求め方 【立体図形の面積】 ・体積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定	【平面図形の性質】 ・図形の形と大きさが決まる要素と図形の合同 ・多角形、正多角形、円周率 【立体図形の性質】 ・角柱や円柱 【平面図形の面積】 ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の計算による求め方 【立体図形の面積】 ・体積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定	【平面図形の性質】 ・図形の形と大きさが決まる要素と図形の合同 ・多角形、正多角形、円周率 【立体図形の性質】 ・角柱や円柱 【平面図形の面積】 ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の計算による求め方 【立体図形の面積】 ・体積の単位と測定(メートル法の単位に注意) 【角の大きさ】 ・角の大きさの単位と測定
	日高市重点項目 「56年」割合			日高市重点項目 「中学校」関数 図形					
C 化 測 と 定 関 関 数 係 変	【量の測定についての理解の基礎】 ・量の大きさの直観比較、間接比較 ・任意単位を用いた大きさの比べ方 【時間の読み方】 ・時間の読み方	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・およその見当と適切な単位 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること	【長さ、かさの単位と測定】 ・長さやかさの単位と測定 ・適切な単位と計測の選択(メートル法の単位に注意) 【時間の単位】 ・時間の単位と関係 ・時間や時間を求めること
	日高市重点項目 「中学校」関数 図形			日高市重点項目 「中学校」関数 図形					
D デー 活 用 タ の	【線や面を用いた数量の表現】 ・線や面を用いた数量の表現	【数直線やグラフ】 ・数直線やグラフ	【数と棒グラフ】 ・データの分類整理と表 ・棒グラフの特徴と使い方(内 容の表し方に、最も目立つ 2、5などの棒グラフや複数の 棒グラフを組み合わせたグ ラフを追加)	【データの分類整理】 ・二つの観点から分類する方 法 ・折れ線グラフの特徴と用い 方(内容の表し方に、複数の 折れ線グラフを組み合わせた グラフを追加)	【円グラフや棒グラフ】 ・円グラフや棒グラフの特徴 と使い方 ・統計的な問題解決の方法(内 容の表し方に、複数の棒グ ラフを比べることを追加) 【測定値の平均】 ・平均の意味	【データの考察】 ・表の表し方と表の表し方 ・度数分布を表す棒グラフ の特徴と使い方 ・統計的な問題解決の方法 【図に表したデータ】 ・図に表したデータ ・図に表したデータ	【データの分布の傾向】 ・ヒストグラムや相対度数の 必要性と意味 ・【データの分布の傾向】 ・ヒストグラムや相対度数の 必要性と意味		

(理科概要)

＜選科の目標＞

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に遠んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

＜理科における児童生徒の課題＞

- 主体的に問題を見いだすこと
- 理科に関する基礎的・基本的な知識や技能を定着させること
- 実験、観察の計画や考察などを、科学的な根拠を基に説明すること

＜児童生徒に身に付けさせたい力＞

- 自然の事物・現象に進んでかかわる主体的な力
- 自然の事物・現象についての知識と科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能力
- 科学的な思考力・判断力・表現力

＜カリキュラム作成のポイント＞

- 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の4つに分類している。

各期における重点事項と指導の工夫

	I 期	II 期	III 期
重点事項	○知識及び技能 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路、空気、水、身の回りの性質、電流の働き及び金属の性質、太陽と地面の様子、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の生長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての知識と、観察、実験などに関する基本的な技能。 ○思考力、判断力、表現力等 自然の事物・現象について追究する中で、差異点や共通点を基に、問題を見いだす力。既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力。 ○学びに向かう力、人間性等 自然の事物・現象について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生物を愛護する態度。	○知識及び技能 物の溶け方、振り子の運動、電流が流るる磁気、燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働き、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての知識と、観察、実験などに関する基本的な技能。 ○思考力、判断力、表現力等 自然の事物・現象について追究する中で、予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力。仕組みや性質、規則性及び働きについて、より適切な考えをつくりだす力。問題を見いだし見通しをもって、観察、実験などを行い、【規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準】を見いだす力。 ○学びに向かう力、人間性等 自然の事物・現象について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生物を愛護する態度。	○知識及び技能 科学技術の発展と人間生活との関わり、生命や地球に関する事物・現象について、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能。 ○思考力、判断力、表現力等 見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、【規則性や関係性】を見いだす力。見通しをもって観察、実験などを行い、その結果（や資料）を分析して解釈し、【特徴、規則性、関係性】を見だし、探求の過程を振り返る力。 ○学びに向かう力、人間性等 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度。生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度。
	指導の工夫	○それぞれの学年で今、学習している内容だけの「単元完結型」の授業ではなく、前学年、次学年、中学校のつながりを見通した連続的な指導を行う。 ○身の回りの自然や生活と結び付け考えることで、理科学習の意義や有用性、実感を伴った理解を図る。	○観察、実験の前に自分の考えを顕在化し、見通しをもった観察、実験を行う。そして、観察、実験後には結果について、他者との話し合いを通して共有化を図る。

理科内容系統配列一覧表「エネルギー」

期		I 期			II 期			III 期	
目標		区分目標 情意面を大切に、理科の見方・考え方を働かせ、科学の 初步的な理解や科学的に判断する資質・能力を身に付ける。			区分目標 理科の見方・考え方を働かせ、観察・実験を行うことなどを通して、科学の基礎的な理 解や科学的に判断する資質・能力を身に付ける。			区分目標 理科の見方・考え方を働かせ、観察・実験を行うことなど を通して、科学的に探求する態度や科学的に判断する資 質・能力を身に付ける。	
学年		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年	
エネルギー	エネルギーの捉え方	風とゴムの力の働き ・風の力の働き ・ゴムの力の働き 光と音の性質 ・光の反射・集光 ・光の当て方と明る さや暖かさ		振り子の運動 ・振り子の運動（性 質） ★光の反射と屈折の 違いの理解	てこの規則性 ・てこのつり合いの 規則性 ・てこの利用	力の働き ・力の働き （2力のつり合い） 光と音 ・光の反射・屈折 （光の色含） ・凸レンズの働き ・音の性質	・電流 回路と電流・電圧 とその他のエネルギー （電気による発熱・色） ・電磁界と境界 電流が受ける力	力のつり合いと合成・ 分解 ・水中の物体に働く力 （水圧、浮力含） ・力の合成・分解 運動の規則性 ・運動の速さと向き ・力と運動	
	エネルギーの変換と保存	磁石の性質 ・磁石に引き付けら れる物 電気の通り道 ・電気を通すつなぎ方 ・電気を通す物	電流の働き ・乾電池の数とつなぎ	電流がつくる磁力 ・鉄心の磁化、極の変 化 ・電磁石の強さ ・磁力・磁界・ 磁界の向き ★電流がつくる磁力の 向きなどの理解	電気の利用 ・発電（光電池含）、 蓄電 ・電気の変換 ・電気の利用			力学的エネルギー ・仕事とエネルギー ・力学的エネルギーの 保存	
	エネルギー資源の有効利用							エネルギーと物質 ・エネルギーとエネ ルギー資源（放射線 含） ・様々な物質とその 利 用（プラスチック 含） ・科学技術の発展 自然環境の保全と科学 技術の利用 ・自然環境の保全と科 学技術の利用 【第2分野】と共通	

48

国語科「読む・文学」 配当系列一覧表

期		I期		II期		III期	
目標		区分目標 ①日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉のよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①日常・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常・社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。	
学年		第1・2学年		第3・4学年		第5・6学年	
（思考力・判断力・表現力等）読むこと（文学的文章）	基礎・基本	イ 漫画の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ・事柄の順序を捉え、登場人物や場面の大体の様子をつかむ。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、筋道を基に捉えること。 ・場面の移り変わりや基に、登場人物の様子を見る。 ・場面の移り変わりや基に、中心人物の人柄を見る。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、筋道を基に捉えること。 ・中心人物の姿容を捉え、作品の面白さを考える。	イ 場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、筋道を基に捉えること。 ・人物の描写に注意して読む。	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主題と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・作品の構成や特徴について考えを交える。	ア 文章の筋道を踏まえて、論議や物語の展開の仕方などを捉えること。 ・人物の設定を見る。
	精査・解釈	エ 漫画の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ・登場人物の関係を捉え、場面や人物の様子を想像する。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格成長について、場面の移り変わりや筋付けで具体的に想像すること。 ・場面の移り変わりや中心人物の姿容から、作品の構図を捉える。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること ・中心人物の姿容や原因から人物像をつかみ、作品の主題を考える。 ・物語の構図を捉え、作品の良さや面白さを考える。 ・対比関係を捉え、作品に象徴されたものを読む。	エ 文章の構成や展開、表現の効果などについて、材料を例証して考えること。 ・正確にわかりやすく書ける ・表現の神韻について考えをもつ。 ・作品の構成の工夫を読み取る。	イ 目的に応じて段組の理解を整理しながら適切な情報を読み取り、登場人物の言動のきまりなどについて考えたりして、内容を把握すること。 エ 筋道を例証して文章を比較するなどし、文章の構成や展開の展開、表現の効果について考えること。 ・人物の言動の意味を考える。 ・作品の構造を生かして創作する。 ・例示の効果を考える。	イ 文章を具体的に読みながら、文章に記されているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や展開の展開、表現の仕方について評価すること。 ・人物像を的確に捉える。 ・表現の工夫を生かして創作する。 ・心情を味わう。
	考へ	オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有すること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んで考えた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んで考えた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことに基づいて、自分の考えを述べたりすること。 ・ものの見方や考え方を広くする。 ・主人公の心情の変化を読み取る。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことに基づいて、自分の考えを述べたりすること。 ・引用して解説する。 ・登場人物の心情を読み取る。

(発達段階に応じて)登場人物や場面の様子を叙述に即して読み取り、自分の考えを表現する能力を身につけさせる。

外国語（英語）「内容配当系列一覧表」

[illegible]

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の遂行や活動を行う上で必要となることにについて理解し、行動の仕方自身に力をつけるようにする。

(2) 自己や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることに力をつけるようにする。

(3) 自主的、実態的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

- よりよい合意形成への話し合いの進め方や、協働して実施するための役割分担を設定すること。
- 解決すべき問題を発見する力や今の自分や、将来になりたい自分を追求しようとする事。
- 現在及び将来の自己の課題を発見し改善して、よりよい生き方を追求していこうとすること。

- ダイバーシティ（多様性）の社会の中で、年齢や性別といった属性、考え方や関心、意見の違い等を理解した上で認め合おうとする能力。
- 一人一人の存在が尊重される集団づくりに自ら携わり、他者と協力し合いながら課題を見出し、解決に向け実践する能力。
- 様々な環境下（集団や社会）で適応するために、卒業後も特別活動で身に付けたことを生かして、自分らしさを発揮する能力。

- 縦軸を特別活動の目的である「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」とした。
- 重点語句はゴシック体で示した。
- 重点項目は『』で示した。
- 学校行事は5つの活動内容の中で、特に重点をおいて活動する内容を示した。

特別活動「内容配当系列一覧表」

期	1期				2期			3期		
日	区分目標 自分と異なる意見もしっかり聞いて、みんなで力を合わせて、楽しい活動ができるようにする。				区分目標 異なる意見を比べながら、みんなの合意のもとに決定し、創意工夫して活動ができるようにする。			区分目標 多様な意見のよさを生かして合意を作り上げ、決定できるようにし、自己の生き方について考えを深めようとする。		
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年	
人間関係形成	【学級活動（1）集会活動】 ・教師の適切な指導の下、児童が計画、運営しながら楽しく充実した学級生活や仲間をつくる活動を取り入れること （例）お楽しみ会、スポーツや文化的な活動				【学級活動（1）学級会】 ・全員で協力して楽しく豊かな学級、学校生活するための議題を取り上げること ・事前に計画委員、教師による議題の精選や設定を行うこと ・役割分担をして皆で全員が司会グループをする（学習過程の例） ①問題の発見・確認⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定⇒④決めたことの実践⇒⑤ふりかえり⇒次の課題解決			【学校行事】 ・運動会（1学期） ・文化祭 ・職業安全学習	【学校行事】 ・運動会（2学期） ・職業安全学習	【学校行事】 ・運動会（3学期） ・職業安全学習
	【クラブ活動】 自主的、実践的な活動経験を積ませる ・児童同士で協力し、活動の目標と計画、役割分担を立てること ・学年ごとに反復をくり返すこと、発展性を高める				【生徒会活動（自治体活動の場）】 ・学校生活の中から課題を見つけ、及び課題解決をする実践力 ・組織力活動における、リーダーシップ（4年）とフォローアップ（5年） ・仕事をやり抜く責任感 ・主体的に学校生活の充実と向上に働く			【生徒会活動】 ※学習過程の例は上記と同じ ・生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること ・学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担ったり、運営に主体的に協力したりすること ・地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること （例） ・学校生活における健康とよき文化、校風の発展に繋がる活動 ・環境の保全や美化のための活動 ・生徒の教養や情操の向上のための活動 ・よりよい人間関係を形成するための活動 ・奇抜な課題等の解決を図る活動		
社会参画	【学級活動（1）当番活動】 ・学校生活が円滑に運営される仕事を全員で分担すること （例）一人一役当番				【学級活動（1）係活動】 ・児童の力で学級を楽しく豊かにすること ・創意工夫しながら、自主的、実践的に取り組む活動を行うこと					
	【学校行事】 ・運動会（1学期） ・職業安全学習	【学校行事】 ・文化祭 ・職業安全学習	【学校行事】 ・職業安全学習	【学校行事】 ・文化祭 ・職業安全学習	【学校行事】 ・文化祭 ・職業安全学習	【学校行事】 ・職業安全学習	【学校行事】 ・職業安全学習			
自己実現	【学級活動（2）】 ・理由を明確にして意見を述べるようにしたり、異なる意見を受け入れたりして、楽しい学級生活をつくるために合意形成を図ることができるようにする				【学級活動（2）】 ・人間関係や健康・安全・教育などに関する悩みの解消 ・自己に合った実践可能な解決方法を決定、粘り強く努力する ・自分の生活や学習への適応に関する課題を見出し、自ら意思決定することができること			【学級活動（2）】 ・基本的生活習慣の定着 ・実態に応じた適切な担任・協理の指導 ・家庭と連携しての指導		
	【学級活動（8）】 児童・生徒が記録し蓄積した（ポートフォリオ型）9年間の『キャリアパスポート』の活用 現在及び将来にわたってよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指すという態度を養う ※将来の仕事に固執するのではなく、発達段階に合わせた目標や、夢・希望を持たせること									

② ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ 各地区の特色を生かした小中一貫教育の取組

【施設一体型義務教育学校】

令和6年度 高麗地区小中一貫教育 取組報告

○小中合同校務会の実施

小中合同校務会とは、高麗小、高麗中の校長、教頭、(教務)の計6名が一堂に会し、高麗小中学校開校へ向けた話し合いをする場である。

<令和6年度の合同校務会の内容>

4月26日(金)於:高麗中

- ・令和6年度年間計画の確認
- ・開校に向けて準備項目の確認
- ・開校準備会に向けて
- ・高麗小中学校工事内容の確認と職員作業への手伝いについて

その後、日課表や移動作業など、具体的な項目ごとに話し合いを持った。

○小中合同で行った行事

①小中合同河川清掃…10月31日(木)実施

対象学年…小4、中1、中3

場所…巾着田(高麗川)周辺。

令和7年度行中合同河川清掃実施予定日…10月30日(木)

対象学年は今年と同じく、小4、中1、中3

②小中合同あいさつ運動…6月27日(木)11月20日(水)2月25日(火)

高麗小との合同のあいさつ運動、場所は高麗小学校正門前。

来年度日程予定

2月24日(火)

○小中学校開校に向けた取組

開校準備会

第1回:5月13日(月) 会場:高麗中学校

(1)開会

(2)本日のねらい

いよいよ来年に迫った義務教育学校開校に向け、小中学校が連携して活動していくための土台作りをする。

(3)日程

○全体会(3F 視聴覚室)

- ・あいさつ
- ・アイスブレイク
- ・今後(今年度)の活動

○グループ活動

- ・6つのグループで片付け作業



・作業が終了したグループから反省会(3F 調理室)

○閉会

第2回:6月17日(月) 会場:高麗中学校

(1)本日のねらい

昨年度の話し合いを元に、それぞれの担当で具体的な実施案を作成し始める。

(9月以降の小中合同校務会へ提案できるように)

<開校へ向けての基本方針>

・「一つの学校になる」という意識で、可能な限り児童生徒と一緒に活動することを考える。

・教職員として、お互いを理解し尊重しながら支え合う意識を持って考える。

(2)日程

15:20 ○全体会(3F 視聴覚室)

・アイスブレイク

・本日の活動説明

15:30頃 ○部会ごとの活動

16:30頃 ○閉会

【本日の話し合い項目】

- ・日課表:日課表案…優先した事項、課題となる点を明確化
- ・保健:保健室の利用方法…第1、第2保健室それぞれの利用方法
- ・運動会:運動会実施計画…参加児童生徒、種目、実施時間 等
- ・合唱:合唱祭実施計画…参加児童生徒、内容、実施時間 等
- ・児童会生徒会:組織…人数、役職、役割 等
- ・書写:硬筆、書きぞめの練習案…競書会の実施有無、選手選抜方法
- ・児童生徒行事:歓迎会、送る会 等…実施行事、削除行事の分別、内容
- ・給食:配膳方法…4校時後から昼休みまでの流れ、持ち物
- ・生徒指導:生活のきまり見直し…小中共通の「生活のきまり」作成
- ・厚生親睦会:集金方法、規約…1年間の流れ確認

第3回:8月29日(木) 会場:高麗小学校

(1)本日のねらい

学校生活全般についての基本方針を全体で確認し、部会での検討をすすめる。

(2)日程

9:00 ○全体会(場所:家庭科室)

・あいさつ

・アイスブレイク

・本日の活動説明

9:15 ○学校生活についての項目検討

10:10 ○部会ごとの活動①(場所:一覧表参照)

11:10 ○部会ごとの活動②(場所:一覧表参照)

11:30 ○家庭科室集合、部会①の報告

○次回 8/28 の予定

11:45 ○閉会



第4回：8月28日（水）

（1）本日のねらい

学校生活全般についての基本方針を全体で確認し、部会で話し合った事項を全体へ広げる。また、実施案や方向性が決まった事柄から順に、年間行事計画案へ反映させる。

（2）日程

- 8:30 ○全体会（場所：家庭科室）
 - ・あいさつ
 - ・アイスブレイク
 - ・本日の活動説明
- 8:45 ○全体に関わる項目検討
 - 日課表案について
 - ・学校生活について
- 9:45 ○部会ごとの活動①の発表
 - 課題、論点の確認
- 10:30 ○部会ごとの活動②（場所：一覧表参照）
- 11:10 ○家庭科室集合、部会②話し合い内容報告
 - 次回 10/28 の予定
- 11:30 ○閉会

令和7年度 日課表(案)＜火・水・金＞

時間	1・2年	3年	4年	5・6年	7～9年	時間
	登校					
8:15						8:15
8:25	朝学習/新読書				読書書	8:25
8:30	朝の会 (10分)				朝の会 (5分)	8:30
8:40	5分休み				10分休み	8:40
8:45	1校時				1校時	8:45
9:30	10分休み					9:30
9:40	2校時				2校時	9:40
10:25	20分休み (兼団体休み)				10分休み	10:25
10:30					3校時	10:30
10:40					3校時	10:40
10:45					3校時	10:45
11:30	10分休み					11:30
11:40	4校時				4校時	11:40
12:25					給食	12:25
12:30	給食・書画タイム				給食	12:30
13:10	5分休み					13:10
13:15	読書リクエスト					13:15
13:30	読書 (20分)					13:30
13:50	5校時				5校時	13:50
14:35	読書の会 (10分)				10分休み	14:35
14:40	下校	6校時		6校時	10分休み	14:40
14:45		読書時間以下校				14:45
14:50					6校時	14:50
15:30						15:30
15:40	下校				5分休み	15:40
15:45					読書の会 (10分)	15:45
15:55					下校・部活動	15:55

第5回：10月28日（月）

（1）本日のねらい

改修工事が終わった校舎を確認し、物品移動、整理のイメージを作る。また、日課表、年間行事計画について話し合いを進める。

（2）日程

- 15:10 ○全体会（場所：視聴覚室）
 - ・あいさつ
 - ・アイスブレイク
 - ・本日の活動説明
- 15:20 ○日課表について
 - 年間行事計画について
- 15:50 ○部会ごとの活動②
- 16:25 ○視聴覚室集合
 - 本日のまとめ
 - 準備会予定
- 16:35 ○閉会



第6回：11月18日（月） 場所：高麗中学校

（1）本日のねらい

各部会の話し合いを進め、全体に諮る事項を挙げる。また、年間行事計画について話し合いを進める。

（2）日程

- 15:10 ○全体会（場所：視聴覚室）

- ・あいさつ
- ・アイスブレイク
- ・本日の活動説明、今後の流れ
- 15:30 ○部会ごとの活動③
- 16:20 ○視聴覚室集合
 - 本日のまとめ
 - 準備会予定
- 16:30 ○閉会

第7回:12月16日(月) 場所:高麗中学校

(1)本日のねらい

各部会の話し合いを進め、全体に諮る事項を挙げる。また、年間行事計画について話し合いを進める。

(2)日程

- 15:10 ○全体会(場所:視聴覚室)
 - ・あいさつ
 - ・アイスブレイク
 - ・本日の活動説明、今後の流れ
- 15:30 ○部会ごとの活動④
- 16:20 ○視聴覚室集合
 - 本日のまとめ
 - 小中合同行事の確認
 - 12/17(火)地域学校保健委員会
 - 12/18(水)高麗地区特別教育講演会
 - 3/ 4(火)校旗返納式
 - 今後の準備会予定
 - 第 8 回 2 / 3(月)全体会
 - 第 9 回 3 /17(月)開校に向けて
- 16:30 ○閉会



第8回:2月3日(月) 場所:高麗中学校

(1)本日のねらい

各部会での話し合い内容を全体に共有し、意識の共有化を図る。また、年間計画を確認し、前期・後期課程それぞれの流れを共有する。

(2)日程

- 15:10 ○全体会(場所:視聴覚室)
 - ・あいさつ
 - ・アイスブレイク
 - ・本日の活動説明
- 部会ごとの説明
- 協議(必要な項目)
- 16:30 ○指導計画の進捗状況確認

全体計画、年間指導計画(各領域)

年間指導計画(各教科)

○小中合同行事の確認

3/4(火)校旗返納式

○今後の準備会予定

第9回 **×**3/17(月) 開校に向けて →○3/24(月)に変更

○本日のまとめ

16:40 ○閉会

第9回:3月24日(月) 場所:高麗中学校

※開校に向けての最終確認をする予定。

○学校運営協議会

第1回…5月24日(金)実施 於:高麗中学校

内容:自己紹介・報告・協議

協議内容:

- (1) 令和6年度の流れから今年度実施すべきこと
- (2) 協議会 全5回の流れ検討
- (3) 学校運営協議会の発信について
- (4) 全体への周知事項確認
- (5) その他



第2回…7月9日(火)実施 於:高麗小学校

内容 :授業参観・近況報告・協議

協議内容:

- (1) 開校に向けた課題について
- (2) 校旗返納式について
- (3) その他

第3回…7月29日(月)実施 於:高麗小学校

内容 :近況報告・協議

協議内容:

○埼玉県 地域学校協働活動推進セミナー(オンライン)に参加

・埼玉県の取組紹介

・事例発表「地域全体で子供たちの学びと成長を支える地域と学校の“連携・協働”」

・講義「学校と地域と学校で創る学びの未来～地域コーディネーターの活躍を通して～」

文部科学省 CS マイスター 栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員鈴木廣志氏

第4回…10月16日(水)実施 於:高麗中学校

内容 :校内見学・近況報告・協議

協議内容:

- (1)開校に向けた課題について
- (2)「ありがとう！高麗小」について
- (3)学校評価システムシートについて
- (4)連絡

第5回…1月23日(木)実施 於:高麗中学校

内容 :授業参観・近況報告・協議

協議内容:

- (1) 学校評価のまとめ
- (2) 連絡

第6回…2月17日(月)実施 於:高麗中学校

内容 :授業参観・近況報告・協議

協議内容:

- (1) 学校評価システムシートについて
- (2) 令和7年度高麗小中学校学校経営方針について
- (3) 高麗小中学校開港記念日について
- (4) 高麗小中学校 開校式、入学式について



【高麗小中ふるさと科(生活科・総合的な学習の時間) 内容系統配列一覧表】

期	Ⅰ期				Ⅱ期			Ⅲ期	
目標	区分目標 地域の人々や地域を調べ、教師や友達との関わりの中で課題を設定し、課題解決のための調査方法を学びながら調査に取り組み、地域のよさを明らかにし、地域を大切にしようとする態度を養う。				区分目標 地域や日高市について調べる中で課題を設定し、これまでに学習した調査方法を活用しながら調査に取り組み、地域のよさと問題を明らかにするとともに、問題を解決しようとする態度を養う。			区分目標 日高市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、地域をよりよくしようと社会をよりよくする態度を養う。	
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
横断的・総合的な課題				『「ふく・し」について考えよう』		『高麗の未来を考えよう(地域・歴史)』			『みんながよりよく暮らせる日高市にするために日高市民として提案しよう』 (国際交流、健康福祉、環境・町づくり、地域経済)
地域や学校の課題の特色に応	がっこうだいすき	どきどきわくわく	『地域の人とふれあおう』 高麗辞典の作成(町づくり)	『食の健康について考えよう』 高麗辞典の作成(食・町づくり)	『高麗の未来を考えよう』 高麗辞典の作成	『日和田山登山』 (地域を知る)	『高麗川河川清掃』 (地域を知る)		
	たのしいあいっぱい	おもちゃまつり	『高麗の自然、環境のよさを広めよう』 高麗辞典の作成	『高麗の自然、環境のよさを広めよう』 高麗辞典の作成					
児童生徒の心に基づく課題	ふゆをたの	ぐんぐんそでわたしの野	『地域の人とふれあおう』 『高麗やさしい街づくり』(交流)	自然からの収穫を分かち合おう (交流・勤労)	『市への意見提出』(交流)	任意のボランティア活動(キャリア)			
	市着田で虫取り (地域の人との交流)	農園で野菜を育てよう (勤労奉仕・生活科と接続)	仕事調べ1 職業体験(キャリア)	仕事調べ2 地域在住の様々な職種の方からその仕事の話を聞く。中学校調べ(キャリア)	仕事調べ3 職業体験、進路調べ(キャリア)	進路調べ2 上級学校訪問(キャリア)	進路調べ3 志望校見学、職業調べ(キャリア)		
	いきものとなかよし	生きものな	『働くって、どんなこと?』	PC操作1 ローマ字入力	PC操作2 検索エンジン	PC操作3 SNS、メール送信の方法と留意点	PC操作4 プレゼンソフトの操作	PC操作5 SNSの影響力と使用上の注意 レポート作成ソフトの操作	PC操作6 既習の操作を活用した提案の作成
	※地域との交流に関わる内容例 ・昔の遊びも教えてもらう ・絵手紙・花いっぱい運動 ・地域講演会・地域をきれいに(清掃) 各学校の地域とのつながりのある学習								

単元名【高麗の自然、環境のよさを広めよう】

【単元の目標】

○地域に興味・関心をもち、高麗のよさを調べて広めることができる。

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
4		オリエンテーション	○3年の学習について振り返る。 ・日高市の特徴 ○学習の見通しをもつ。		
5		課題設定 情報の収集	○高麗地区について知る。 ○課題を設定しよう。 ○自然、環境について調べる。 ・巾着田 ・高麗川 ・日和田山 など ・ゲストティーチャーに聞く。 ・高麗川河川清掃（後期課程との連携） ○課題設定をする。 ○テーマごとにグループに分かれ、情報収集をする。 ・生き物 ・植物 ・魚 ・鳥 ・食 ・川 ・環境に関する取り組み など	地域の 名人 ○○さん 学校 応援団	・「季節の生き物」 (理科) ※調べる方法、必要なもの、記録の方法などの計画を立てる。 ※単に資料の丸写しにならないように、情報活用の仕方について指導する。
12		整理分析 まとめ・表現	○高麗の自然、環境のよさをまとめよう。 ・パンフレット ・マップ ・パワーポイント ・紙芝居 など ○他の学校と交流しよう。 ・それぞれの学区の良さを発表し合う。 ○3年生に発表しよう。		
1		振り返り	○名人にお礼の手紙を書こう。 ・学習の振り返りをする。		

備 考

- ・地域の名人○○さん（巾着田サポーターズクラブ）TEL：○○○ - ○○○○
- ・発表会には○○さんをお呼びする。

日高市立高麗小中学校（８年）「ふるさと科」年間指導計画

単元名【立志式】

【単元の目標】

- 自分を見つめ、自分の将来について考える機会とする。
- 明るい展望に立って、将来の目標を持てるようにする。
- 進路について考え、充実した９年生の生活につなげる。
- 生徒や保護者の前で、自分の志を力強く発表し、決意を新たにする。

月	単元	学習過程	活動名・活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
9 10 11		課題設定 情報の収集	○中学校卒業後の進路について考えさせる。 ・前年度に行った職場体験学習や職業インタビューを想起させる。 ・中学校卒業後の進路先を考える。		・高等学校以外の進路先についても情報を与える。 ・必ず調べる項目も設定する。 ・県公立、私立など偏りがないように割り振る。 ・新聞をモニターに映し、発表させる。
		整理分析 まとめ・表現	○立志の言葉原稿作成 ・原稿の作成、修正、読みの練習をする。		
		整理分析 まとめ・表現	○グループでの読み練習。 ○動きの確認・練習		
		まとめ・表現	○リハーサル ○立志式本番		
		振り返り	○自分で立志したことを実現するために、これからの生活について考える。		

令和6年度 高根地区 小中一貫教育の取組

1 高根地区幼保小中連携の目的と取組

- ・前期課程と後期課程の特色を生かした教育課程の基盤を構築する。
- ・目指す15歳像の具現化を図るために、発達段階に応じた意図的な教育活動を推進する。
- ・幼保小中の連携を密にし、情報共有・問題に対する共通認識・共通行動を図り、一体となって地域の課題に対処する。

2 今年度の取り組み

(1) 幼保小中の交流について

幼保が本校の校庭を使用している。(幼稚園の年長がマラソンで使用)

高根保育所の子どもたちが、高根小中学校の生活の様子を参観する。

(2) 高根小中学校の主な取組について

①児童生徒の取組

○詩の暗唱

後期課程の国語係が前期課程の児童の「今月の詩」の暗唱を聞きました。後期課程の生徒に聞いてもらえることで、前期課程の児童も喜んで詩の暗唱に挑戦していました。



○生徒総会

後期課程の生徒総会の様子を6年生が見学しました。生徒会主体の総会を間近で見学することで、頼もしい後期課程の姿に敬意をもつとともに、1年後の後期課程への期待感が膨らんでいる様子でした。



○シン高根まつり

児童会と生徒会が中心となり、自主的に催しものを企画、運営する活動を行いました。子どもたちの自主的、自治的な活動を通して、自分たちの力で高根小中学校の新たな歴史を創っていかうとする意欲の向上につながりました。



○全校遠足

6年生がリーダーとなる縦割り活動に、後期課程の生徒も参加してレクを楽しみました。6年生の進行を温かくサポートする後期課程の生徒の姿が見られました。



○引き渡し訓練

家庭の協力を得て、避難訓練・引き渡し訓練を実施しました。避難訓練では、後期課程生徒の迅速な避難行動の姿を前期課程児童が間近で見ること、児童にとってよきお手本となっています。



○なかよし運動会壮行会

壮行会には、昨年度「なかよし運動会」に出場した7年生が参加することで、先輩として6年生にアドバイスを送っていました。なかよし運動会に向けた練習では、後期課程の陸上部との合同練習計画を立て、後期課程生徒の応援も受けながら学校全体で盛り上がりを見せました。



○音楽会

5年生、そして7年から9年生の合唱を聴き合いました。生徒の迫力ある声量に、前期課程の児童も驚き感動している様子が見られました。全体合唱では、体育館いっぱいに「もみじ」の歌声を響かせました。



②教職員の取組

○教員研修

年度当初、職員に研修希望アンケートを取り、必要感のある校内研修を実施しました。これまで、不審者防止、ICT、特別支援教育、非認知能力、LGBTQに係る研修等を前期・後期課程の教職員が合同で行い、学校の組織力の向上を図りました。



○後期課程教員による授業

5、6年生に、後期課程の教員が一部の授業を担当しました。体育、外国語、音楽など、後期課程教員の専門性を生かした学習により、子どもたちの学習意欲の向上や中1ギャップの解消など、様々な効果が期待できます。



③地域との取組

○高根地区大運動会

本年度は、学校の運動会・体育祭と高根地区体育祭を合同開催しました。当日は雨となってしまいましたが、地域との交流イベントとして「日高小唄」を体育館で踊りました。本番に向けて地域の「藤よし会」の方が子どもたちに踊り方の指導をしました。地域の方との交流だけでなく、伝統文化を肌で感じるよい機会ともなりました。また、生徒会を中心に全校種目を考え、児童生徒が共に協力しながら競技を楽しみました。



○開校記念コンサート

読売日本交響楽団エルダー楽団の演奏を全校で鑑賞しました。地域や保護者の方も招待し、学校、児童生徒、地域の方が一体となって、高根小中学校の開校をお祝いしました。



(3)教育課程について

○日課表

高根小 中学校日課表案		(単位は1メモリ5分)															
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00							
基本	前期課程		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	休	6校時	帰
	後期課程		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	休	6校時	帰
月	1～6年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	帰	集	
	7～9年		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	帰	集	
火	1～2年		朝会	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	帰		
	3～6年		朝会	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	6校時	帰
	7～9年		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	6校時	帰
水	1～2年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	帰					
	3年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	帰		
	4～6年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	6校時	帰
	7～9年		朝会	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	(6校時)	帰
木	1～6年		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	帰		
	7～9年		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	掃	休	5校時	休	6校時	帰
金	1年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	帰					
	2～3年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	帰		
	4～6年		モ朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	6校時	帰
	7～9年		読朝	1校時	休	2校時	休	3校時	休	4校時	給食	休		5校時	休	6校時	帰

○主な年間行事

月	主な行事
4月	入学式 7年生オリエンテーション 1年生を迎える会 授業参観・保護者会
5月	避難訓練・引き渡し訓練 9年生修学旅行（京都・奈良方面） 5年生校外学習
6月	授業参観・保護者会 6年生修学旅行（栃木 日光方面） 7年生校外学習 学校総合体育大会入間西部予選
7月	1学期終業式 授業参観・保護者会
8月	2学期始業式
9月	新人戦入間西部予選 9年生英語検定
10月	高根地区大運動会 4年生校外学習 1・2年合同校外学習
11月	音楽祭 なかよし音楽会 8年生校外学習 全校遠足（日高市ツーデーウォーク）
12月	授業参観・保護者会 2学期終業式
1月	3学期始業式 6年生校外学習
2月	県公立学力検査
3月	授業参観・保護者会 6年生9年生感謝の会 卒業式 前期課程修了式 修了式

令和6年度学級配置計画書

日高市立高根小中学校

4階							資料室				
			更衣室					女子WC		男子WC	
	パントリー										
国際理解 ルーム 114.18㎡		更衣室	9－1 61.2㎡	9－2 61.2㎡	8－1 61.2㎡	7－1 61.2㎡	更衣室 61.2㎡	準備室	音楽室 161.5㎡		

3階					資料室							
	パントリー		収納庫		女子WC		男子WC					
	理科室 94.78㎡				特別支援 学級（情緒） 61.2㎡	特別支援 学級（知的） 61.2㎡	児童生徒 会室 61.2㎡	6－1 61.2㎡	5－1 61.2㎡	（園工・美術） 資料室6	準備室	図工室 90.7㎡
	準備室											
	準備室											
	理科室											

[illegible]

1階				受入室		資料室		女子 WC		男子 WC		
	会議室 69.21㎡			3-1 61.2㎡	2-1 61.2㎡	1-1 61.2㎡	執務室 相談室 61.2㎡	保健室 61.2㎡		技術室 120.4㎡		
体育館	視聴覚室 200.0㎡			池						昇降口		
										調理・被服室		

3 高根小中学校 ふるさと科の取組について

【高根小中学校ふるさと科内容系統配列一覧表】

は、ふるさと科に特化した学習

高根小中学校 ふるさと科（生活科・総合的な学習の時間） 内容系統配列一覧表

期	I 期					II 期					III 期						
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年	区分目標	区分目標	区分目標	区分目標	区分目標	区分目標		
横（断的・現代的・総合的な課題）	参考：生活科の学習と系統																
地域や学校の特色に応じた課題	(5) (6) 夏がそばうたのしいあき いっぱい ふゆをたのしもう (1) 学校大好き	(5) (6) 春夏秋冬のくらし (3) (4) (8) だまどまわくく まちたんけん みんなでつかうま ちのしせつ もっとなかなま ちたんけん つたわの広がるわ たしの生活	「高根地区い つくろく」 (町づくり) 家のまわりのCO2削減 であるために (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	「みんながよりよ く暮らそうよう」 (町づくり)	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	
児童・生徒・関係者の心に基づいた課題	(7) まれにさ いでね (2) じぶんで まるよ (3) じぶんで まるよ	(7) 大まくな られたしの歌さ い	地域の人と交流し 地域の人と交流し 地域の人と交流し	「おまわり、地 域の人と交流し 地域の人と交流し	米作りを体験し 地域の人と交流し	日本市を訪問し 日本市を訪問し	日本市を訪問し 日本市を訪問し	日本市を訪問し 日本市を訪問し	日本市を訪問し 日本市を訪問し	日本市を訪問し 日本市を訪問し	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。	区分目標 日本市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を 考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、問題 解決の力を養う。

令和7年度 ふるさと科（たかねの時間）年間指導計画

学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年 (12)	○学校大好き（12時間） 「学校のいいところを発見しよう」										
2年 (22)	○地域のひみつ（10時間） 「地域のひみつを発見しよう」				○地域のひみつ（12時間） 「地域のひみつを伝えよう」						
3年 (70)	○高根地区のいいところマップをつくらう（21時間） 「日高市を観光しよう」（日高市の特産物） ○タブレットに慣れよう（8時間） （タブレットの使い方・マナー・ローマ字打ち・名刺作り）				○地域のひとと交流しよう（21時間） 「高根川南公民館で活動している人とふれあおう」 ○働くってどんなこと（2時間）				○できるようになったこと発表会をしよう（18時間） ○働くってどんなこと（2時間）		
4年 (70)	○福祉について考えよう（21時間） 福祉体験				○みんながよりよく暮らせるように～お年寄り、障害のある方との交流～（39時間） 市内の福祉施設との交流、10年間の成長のふり返りを発信						
5年 (70)	○タブレットに慣れよう（4時間） インターネットの使い方・タイピング練習 ○日高市の農業生産を考えよう～米作りを体験～ 「田おこし・代掻き・稲まき・育苗・田植え・水の管理・刈り取り・もちつき・感謝の会」 ※パケツで実施する。				○タブレットに慣れよう（4時間） 写真の取り込み・自己紹介カード ○米作りの思い出を残そう（10時間） パワーポイントを使ってまとめる				○様々な職業について知ろう（2時間） ○日高市のこれからの農業生産を考えよう（20時間）		
6年 (70)	○みんながよりよく暮らせるように～世界を広げよう～（35時間） 「色々な国を知ろう」 ※1学期は国際交流・2学期は日本について（修学旅行の調べ学習） 修学旅行の時期によって、1学期・2学期の内容を交換する必要がある。 ○タブレットを使いこなそう（8時間） SNS、メールの送信方法と留意点				○米作りの思い出を残そう（10時間） パワーポイントを使ってまとめる				○ありがとう高根小（25時間） 卒業文集・奉仕活動		
7年 (50)	○わが郷土を考えよう（17時間） ～校外学習の成果発表～				○職業について（18時間）				○中学校でどんなところ。（2時間）		
8年 (70)	○自然や環境について考える（25時間） ～宿泊学習の成果発表～				○卒業後の進路（25時間）				○9年生を送る会を作り上げる（20時間）		
9年 (70)	○京都・奈良の文化遺産から感じた日本の歴史（20時間） ～修学旅行の成果発表～				○自分の道を切り拓こう（50時間）						

赤字が「ふるさと科」に特化した学習

令和7年度以降の旅行的行事（案）

ふるさと科			それ以外		
2年	6月 校外学習	<町探検> 高根小中学校周辺を探検し、高根地区について（お店や環境）知ろう	1年 2年	10月 校外学習	高坂子ども動物公園
2年	10月 校外学習	<町探検2> 日高市立図書館を見学し、日高市について知ろう			
3年	9月 校外学習	<町探検3> TOPを訪問して日高市の産業について知ろう			
3年	10月 校外学習	<狭山茶の里> 入間市博物館アリットを訪問し、狭山地区一帯のお茶の文化について知ろう			
3年	11月 校外学習	<日高の防災> 飯能日高消防本部を訪問して、日高市の防災について知ろう			
4年	6月 校外学習	<日高市の文化と生活> 高麗神社・高岡浄水場を訪問して、日高市の歴史や人々の生活を支える浄水設備について知ろう	5年	5月 宿泊学習	名栗げんきプラザ
4年	10月 校外学習	<他地区との比較> 川越方面を訪問して、日高市との違いや共通するところを探そう	5年	校外学習	未定 ※できればふるさと科と関連させて実施したい
6年	6月 修学旅行 1泊2日	<他地区との比較> 鎌倉方面を訪問して、日高市との違いや共通するところを探そう	6年	1月 社会科見学	国会議事堂 科学技術館
7年	7月 校外学習	<防災館> 池袋の防災館を訪問し、日高市の地域防災について考えよう			
8年	11月 校外学習	<他地区との比較> 東京都内旅行を通して、東京都と日高市との違いや共通するところを探すとともに、日高の未来を考えよう			
9年	1学期 修学旅行 2泊3日	<他地区との比較> 京都・奈良の旅行を通して、日高市との違いや共通するところを探すとともに、日高の未来を考えよう			

日高市立高根小中学校（２年）「ふるさと科（たかね）の時間」年間指導計画

単元名【地域のひみつ】

【単元の目標】

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり人がいることや、地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付けるようにする。
＜知識及び技能＞
- (2) 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付け、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする態度を養う。＜学びに向かう力、人間性等＞

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	△各教科等との関連 ★地域との連携・指導上の留意点
5月	地域のひみつ	オリエンテーション	○事前学習をする。 ・地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話し合う。	保護者 地域 中学生	△生活「どきどきわくわくまちたんけん」 ★学校周辺の地域の方
6月	10時間	課題設定	○課題を設定する。 「地域のひみつを発見しよう」		
		情報の収集	○生活「地域をたんけんしよう」による情報収集 ・家族、地域の人、中学生にインタビューする。		
		整理分析	○集めた情報から自分が興味をもった地域のひみつを整理する。		
		まとめ・表現	○地域のよさを学級全体で共有する。		
10月	地域のひみつ	課題設定	○課題を設定する。 「地域のひみつを伝えよう」 ・地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めるなど、探検の計画を立てる。	保護者 地域 中学生	△生活「もっとなかよしまちたんけん」 ★学校周辺の地域の方 ・何をどんなふうに伝えるのかをよく考えさせる。 ★他学年やお世話になった方を招待する。
11月	12時間	情報の収集	○生活「地域をたんけんしよう」による情報収集 ・家族、地域の人、中学生にインタビューする。 ○発表する方法を調べる。		
		整理分析	○興味をもったテーマごとにグループを組み、発表方法を選択する。		
		まとめ・表現	○情報収集でお世話になった方を招待し、発表会を開く。		
		振り返り	○学習全体のふり振り返り		

備 考

校外学習との関わり

6月校外学習＜町探検 1＞

高根小中学校周辺を探索し、高根地区について（お店や環境）知る。

10月校外学習＜町探検 2＞

日高市立図書館を見学し、日高市について知る。

日高市立高根小中学校（9年）「ふるさと科（たかね）の時間」年間指導計画

単元名【自分の道を切り拓こう】

【単元の目標】

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 上級学校の特色を理解し、様々な人々とふれあいながら自分の進路について考えを深めることができる。＜知識及び技能＞
- (2) 情報の収集の仕方を理解し、課題解決に向けて得た情報をもとに自分の考えをまとめ、発表することができる。＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 学習したことをもとに、自分の生き方について考えを深めることができる。
＜学びに向かう力、人間性等＞

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	△各教科等との関連 ★地域との連携 ・指導上の留意点
7月	自分の道を切り拓こう 50時間	オリエンテーション	○高校生活の先生より講話をしていただき、進路選択への見通しを持たせる。	近隣の高校の先生	★近隣の高校の先生と連携を図る。 ・夏の体験入学への参加を促し、適切な進路選択の一助とさせる。 ・いろいろな高校を招聘し、現在考えている進路先を選択するための情報を集められるようにする。
		課題設定	○課題を設定する。 「自分の進路と向き合おう」		
9月 10月 11月		情報の収集	○自分の将来の職業生活を考えた高校選択をするために、高校の特色を知る。 ・学力、進路状況、経済的な問題、通学時間等校風を知る ・自分の現在の学力を知り、将来設計の見通しを持つ。 ・自分にあった進路選択の情報を収集する。 ・高校説明会	近隣の高校の先生	
12月		整理分析	○集めた情報から自分の進路を整理する。 ○夢を叶えようとする意志をもつ。	保護者	
1月 2月 3月		まとめ・表現 振り返り	○進路を決定する。 ・自分進路決定を自己評価し、決意を固める。 ・模擬面接を通して面接の自信をつける。 ○9年間の自分の成長を振り返り、今後の進路へ自信と希望を持つ。	保護者	

備 考

校外学習との関わり

1 学期修学旅行 2 泊 3 日＜他地区との比較＞

京都・奈良の班行動を通して、日高市との違いや共通するところを探すとともに、日高の未来を考える。

令和6年度 武蔵台地区 小中一貫教育取組報告

○学校運営協議会

武蔵台地区では、5月15日（水）に第1回学校運営協議会が開催された。「すべては子どもたちのために」を合言葉に、保護者・地域の皆様方と協働して学校づくりを行っていくことを確認した。7月10日（水）の第2回学校運営協議会では、児童生徒会から「学校をよりよくするための環境整備について」の提案を受け、実現に向けて話し合った。今後も、「地域と共にある学校」を目指して取り組んでいく。

〈主な協議内容〉

- ・ 学校運営の基本方針
- ・ 学校の教育活動への支援
- ・ 環境整備作業

等



＜第1回学校運営協議会＞



○武蔵台小中学校の特色ある教育活動

武蔵台小中学校がスタートし、今年で2年目となる。義務教育学校だからこそできる教育活動を更に充実させている。



＜1年生と7年生が一緒に入場＞



＜入学式並びに進級式＞

①児童生徒会活動を中心とした異学年の交流活動

1年生から9年生の縦割り班による「台っ子掃除」、1年生から6年生までの縦割り班による「台っ子遊び」を行っている。委員会活動も5年生から9年生が共に活動している。今年度は新たな取り組みとして、6年生の児童も選挙権をもった「児童生徒会本部役員選挙」を実施した。大運動会や校内音楽会、全校遠足などの行事も、義務教育学校の良さを生かした工夫を行っている。



＜縦割り班での台っ子掃除＞



＜大運動会での児童生徒会種目＞



＜全校遠足＞

②地域の教育力を生かした教育活動

地域学校協働本部との連携を強化し、地域人材の活用を進めている。ふるさと科では、ゲストティーチャーによる授業を積極的に行っている。また、部活動においても、吹奏楽部の指導をしていただくなど地域の教育力を生かしている。



＜健全育成会非行防止キャンペーン＞

③前期課程における一部教科担任制

外国語、音楽、社会の3教科において、後期課程の教諭が前期課程の授業を行っている。また、前期課程の教諭も後期課程の体育、数学の授業を行っている。教員の専門性を生かした授業を展開できるだけでなく、全職員で子どもたちを見守り育てていくことに繋がっている。

【異学年交流活動①】

台っ子掃除

1. 方針

美しくあることをめざす児童生徒の育成

学校内をきれいにする活動を通して、自分に向き合い協力する大切さや責任感を培う。

(1) 清掃の仕方の手順、動作を確実に全職員で共通理解を持って指導にあたる。

- ・清掃用具の場所、準備、片付け ・清掃の仕方 ・清掃道具の使い方
- ・無言清掃ではなく黙働流汗（黙々と一生懸命汗が流れるほど働く）

(2) 全職員で清掃の指導を行い、児童生徒とともに清掃し、清掃の仕方を会得させていく。

2. 清掃指導

【月・水・木・金】13:15～13:30（15分間） 【火曜】なし

(1) クラスそうじ 【別紙①：クラスそうじ場所】

- ・クラスごとに割り当てられた場所を清掃する。
- ・クラスの班の数に合わせて、割り当て場所を組み直してもよい。
- ・1年生のクラスそうじは、6年生がお手伝いに入る。

(2) 縦割り班そうじ（台っ子そうじ）について 【別紙②：台っ子そうじ場所】

①日程

5月	7日（火）	オリエンテーション（6年生対象）
5月	14日（火）	縦割り班の顔合わせ
5月	22日（水）	から台っ子そうじ開始

②台っ子そうじについて

- ・6年生が班長を務め、清掃ファイルを管理する。役割分担、反省会の司会等を行う。
- ・学期はじめと学期末、面談週間、学級閉鎖などにより感染拡大防止策が必要な場合は、クラスそうじに切り替える。
- ・不在学年があっても、台っ子そうじを行う。（※階ごとに分担して監督する）

(3) ローテーション 【別紙③：ローテーション表】

- ・クラスそうじ：2週間でそうじ場所を交代する。（各クラスで設定）
- ・台っ子そうじ：水曜日から約2週間同じそうじ場所を担当し、役割分担は1週間交代とする。

(4) 清掃方法について 【別紙④：清掃方法について】

【別紙⑤：トイレ清掃のしかた】

(5) 清掃物品について

①1階南校舎の清掃用具庫にあるもの

ほうき・ちりとり・ぞうきん・バケツ・
クイックルワイパー各種
クレンザー・トイレ用洗剤

②職員室前にあるもの

教室用ゴミ袋
トイレ汚物用ゴミ袋（黒）・トイレ流しゴミ袋（白）
トイレ用除菌シート・メラミンスポンジ
トイレトーパーパー・使い捨て手袋

(6) 掃除の流れについて 【別紙⑥：始めの会・反省会の進行】 【別紙⑦：反省会カード】

- ① 各クラスで身支度を済ませ、13:15から清掃を開始できるように移動。
身支度：マスク・学年帽子・スカート×・ぞうきん2枚、7～9年生は体育着またはジャージ
※清掃場所が変わる日は、5年生が1年生を迎えに行く。
- ② 清掃場所に着いたら清掃用具の準備をし、窓を開ける。
- ③ はじめの会を行う
・新しい清掃場所や分担の確認は、班長が前の週の金曜日に反省会で行っておく。
- ④ 終わりの音楽が鳴りはじめるまで、時間いっぱい清掃に取り組む。
・金曜日、廊下掃除担当が、黒板消しクリーナーと黒板用黄色クロスを水洗いする。
・トイレの洗剤は金曜日に使用する（4年生以上は使ってよい。）
・普通のごみは金曜日、汚物は毎日保健室前の黄色いゴミ箱へ。
- ⑤ 音楽が鳴りはじめたら、片付け、窓を閉め、反省会を行う。
※鳴り始めるまでは綺麗にできるところを探して掃除を行う。
- ⑥ 金曜日は、反省会後にごみ捨てをする。
- ⑦ 反省会後は、（班長は、そうじ点検カードに先生からサインをもらい）歩いて教室に戻り、ぞうきんを片付けたら、手を洗う。
- ⑧ チャイムが鳴ってから休み時間にする。

台っ子そうじ 担当場所ローテーション表																								
	清掃場所	清掃監督	清掃用具	～5/20	～6/3	～6/17	～7/1	～7/15	～7/18	～9/2	～9/16	～9/30	～10/14	～10/28	～11/18	～12/2	～12/16	～12/23	～1/20	～2/3	～2/17	～3/3	～3/17	～3/25
1	1の1(流し)・1階南ろうか	斉藤・畑仲	1の1・2の1	クラスそうじ	赤1	クラスそうじ	青12	青11	クラスそうじ	クラスそうじ	青10	青9	青8	青7	クラスそうじ	青6	青5	クラスそうじ	クラスそうじ	青4	青3	青2	青1	クラスそうじ
2	昇降口・1階通路	後期教頭	昇降口・なかよし		赤2		赤1	青12			青11	青10	青9	青8		青7	青6			青5	青4	青3	青2	
3	2の1(流し)・なかよし・1階南トイレ	畑仲・渡辺・大矢	2の1・なかよし		赤3		赤2	赤1			青12	青11	青10	青9		青8	青7			青6	青5	青4	青3	
4	1階北ろうか・1階北トイレ	板川	技術/美術室		赤4		赤3	赤2			赤1	青12	青11	青10		青9	青8			青7	青6	青5	青4	
5	外そうじ・【技術/美術室】	前期教頭	【技術/美術室】		赤5		赤4	赤3			赤2	赤1	青12	青11		青10	青9			青8	青7	青6	青5	
6	南階段	原田	自立活動室		赤6		赤5	赤4			赤3	赤2	赤1	青12		青11	青10			青9	青8	青7	青6	
7	体育館・体育館トイレ・体育館通路	安保	体育館		赤7		赤6	赤5			赤4	赤3	赤2	赤1		青12	青11			青10	青9	青8	青7	
8	3の1・児童生徒会室	松本あ	3の1・児童生徒会室		赤8		赤7	赤6			赤5	赤4	赤3	赤2		赤1	青12			青11	青10	青9	青8	
9	4の1・2階南ろうか	善明	4の1		赤9		赤8	赤7			赤6	赤5	赤4	赤3		赤2	赤1			青12	青11	青10	青9	
10	2階南ろうか(流し)	善明	4の1		赤10		赤9	赤8			赤7	赤6	赤5	赤4		赤3	赤2			赤1	青12	青11	青10	
11	2階通路・2階南トイレ	斉藤ふ	図工室		赤11		赤10	赤9			赤8	赤7	赤6	赤5		赤4	赤3			赤2	赤1	青12	青11	
12	2階北ろうか(流し)・2階北トイレ	小牧	理科室		赤12		赤11	赤10			赤9	赤8	赤7	赤6		赤5	赤4			赤3	赤2	赤1	青12	
13	【会議室・多目的室・社会/数学室・理科室・調理室】	毛利	【各教室】		青1		赤12	赤11			赤10	赤9	赤8	赤7		赤6	赤5			赤4	赤3	赤2	赤1	
14	5の1・3階南ろうか(流し)	佐藤	5の1		青2		青1	赤12			赤11	赤10	赤9	赤8		赤7	赤6			赤5	赤4	赤3	赤2	
15	5の2・3階南ろうか	廣澤	5の2		青3		青2	青1			赤12	赤11	赤10	赤9		赤8	赤7			赤6	赤5	赤4	赤3	
16	6の1・少人数教室	木屋川内	6の1・少人数教室		青4		青3	青2			青1	赤12	赤11	赤10		赤9	赤8			赤7	赤6	赤5	赤4	
17	【図工室・複写/図読室・2階図書室・3階図書室】	浅見	【各教室】		青5		青4	青3			青2	青1	赤12	赤11		赤10	赤9			赤8	赤7	赤6	赤5	
18	3階通路・3階南トイレ	鴨下	5の1		青6		青5	青4			青3	青2	青1	赤12		赤11	赤10			赤9	赤8	赤7	赤6	
19	3階北ろうか(流し)・3階北トイレ	神山	調理室		青7		青6	青5			青4	青3	青2	青1		赤12	赤11			赤10	赤9	赤8	赤7	
20	7の1・4階南トイレ	町田	7の1		青8		青7	青6			青5	青4	青3	青2		青1	赤12			赤11	赤10	赤9	赤8	
21	8の1・4階北トイレ	筋内	8の1		青9		青8	青7			青6	青5	青4	青3		青2	青1			赤12	赤11	赤10	赤9	
22	9の1・4階南ろうか(流し)・【英語室】	東	9の1・【英語室】		青10		青9	青8			青7	青6	青5	青4		青3	青2			青1	赤12	赤11	赤10	
23	4階北ろうか(流し)・4階通路・【音楽室】	高橋	社会/数学室・【音楽室】		青11		青10	青9			青8	青7	青6	青5		青4	青3			青2	青1	赤12	赤11	
24	北階段	蘆田	社会/数学室		青12		青11	青10			青9	青8	青7	青6		青5	青4			青3	青2	青1	赤12	

令和6年度大運動会 児童生徒会種目

種 目：へびじゃんけん

提案理由：児童生徒会では、「全学年・全員が参加できる」「誰にでも勝機がある」をテーマに考えた。

【競技方法について】

- 紅組・青組の縦割りチームで対戦する。
- 前半・後半で6チームずつ出場(全6レーン)。5分間ずつ行う。
- 相手陣地内にゴールした人数が多いチーム、またはチーム全員がゴールしたチームの勝ち。
- 前半・後半で勝ったチームの合計が多い組の勝利

【ルール】

児童生徒会本部役員の合図で一斉にスタートする。

①自チームの陣地からスタートしてゴールを目指す。

②相手チームと出会ったらじゃんけんをする。

→勝者：ゴールを目指して進む。

→敗者：自チームの陣地に戻り、列の最後尾に並ぶ。次の選手が自分の陣地からスタートする。

③ゴールに到着した選手は指定の場所で待機をする

①～③を繰り返す

④(5分経過)児童生徒会本部役員の合図で終了。本部役員が人数をカウントする。勝ったチーム数をアナウンスする

【審判】

○フライングの確認(12名)： 試合に出ない9年生

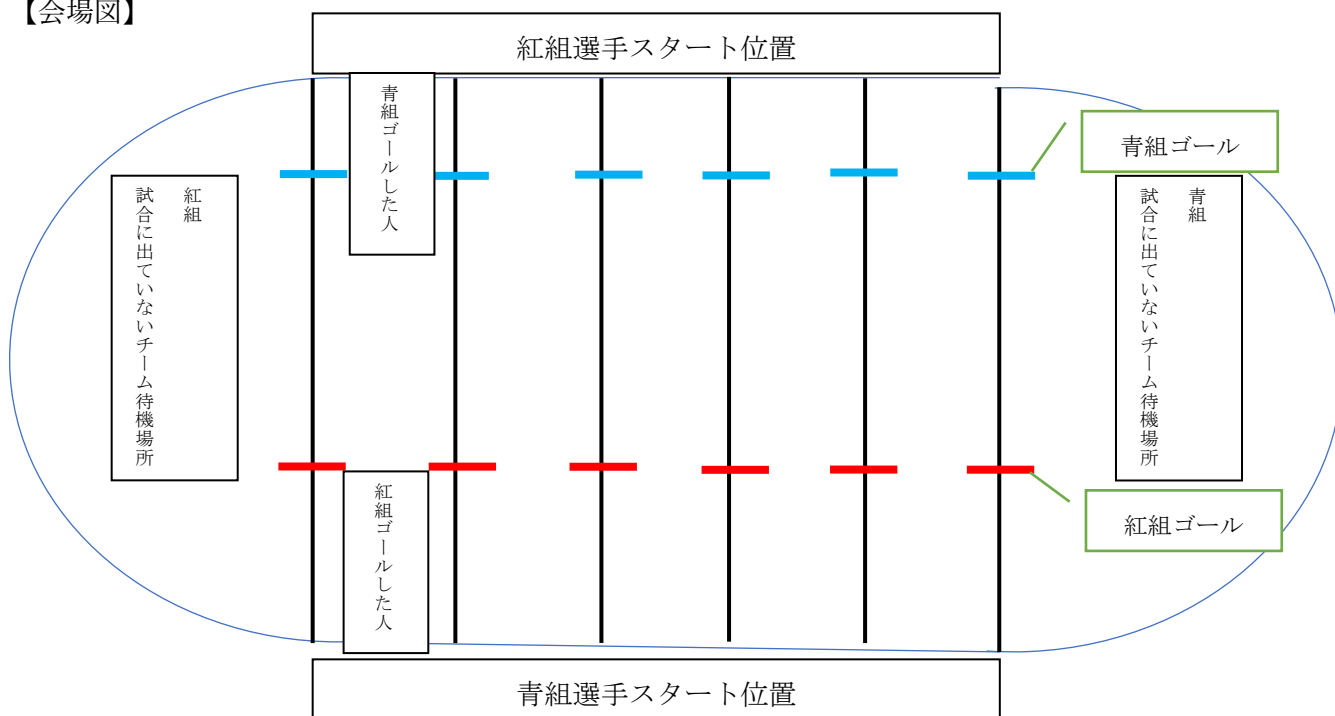
○ジャンケンの確認(6人)： 児童生徒会本部役員、担当教員

【その他役割】

○司会・時間計測(1名)： 児童生徒会本部役員

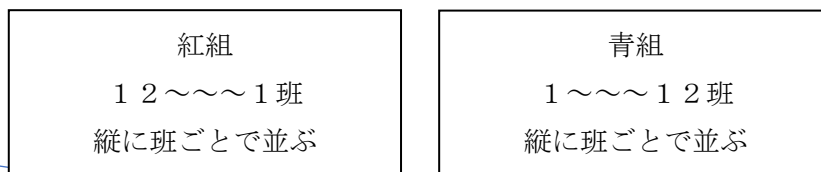
○スタートのピストル(1名)： 体育科の先生

【会場図】

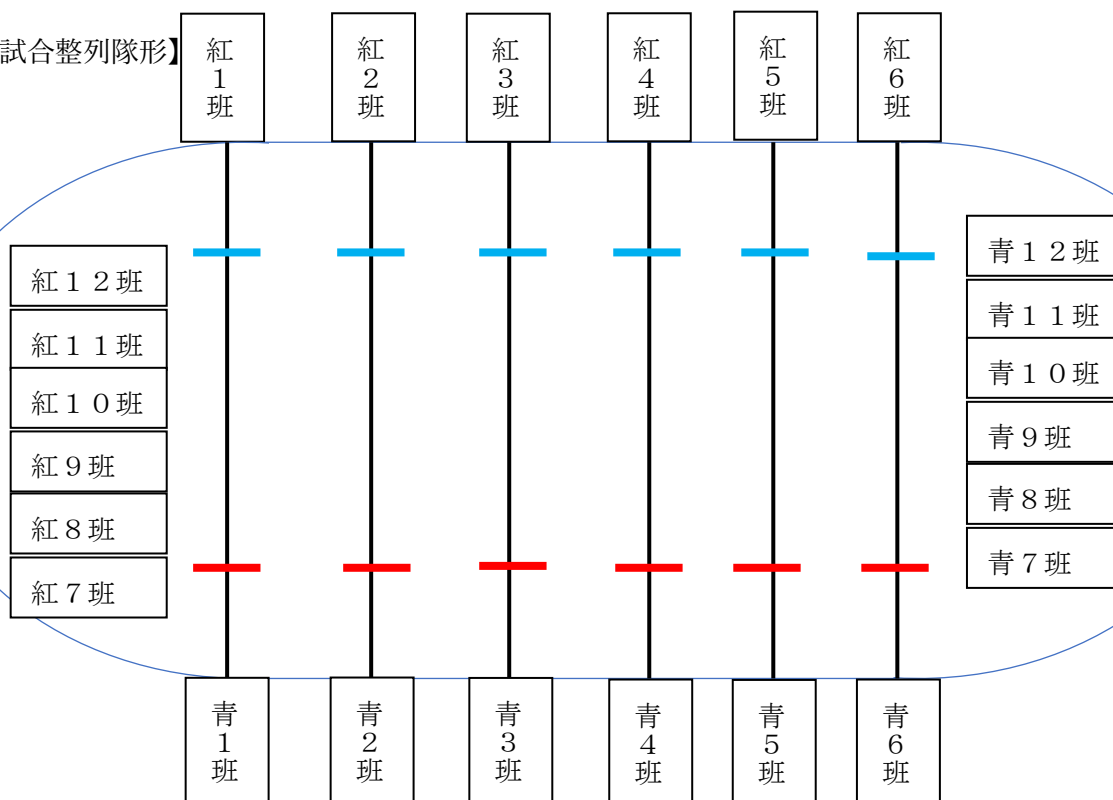


【入場隊形】

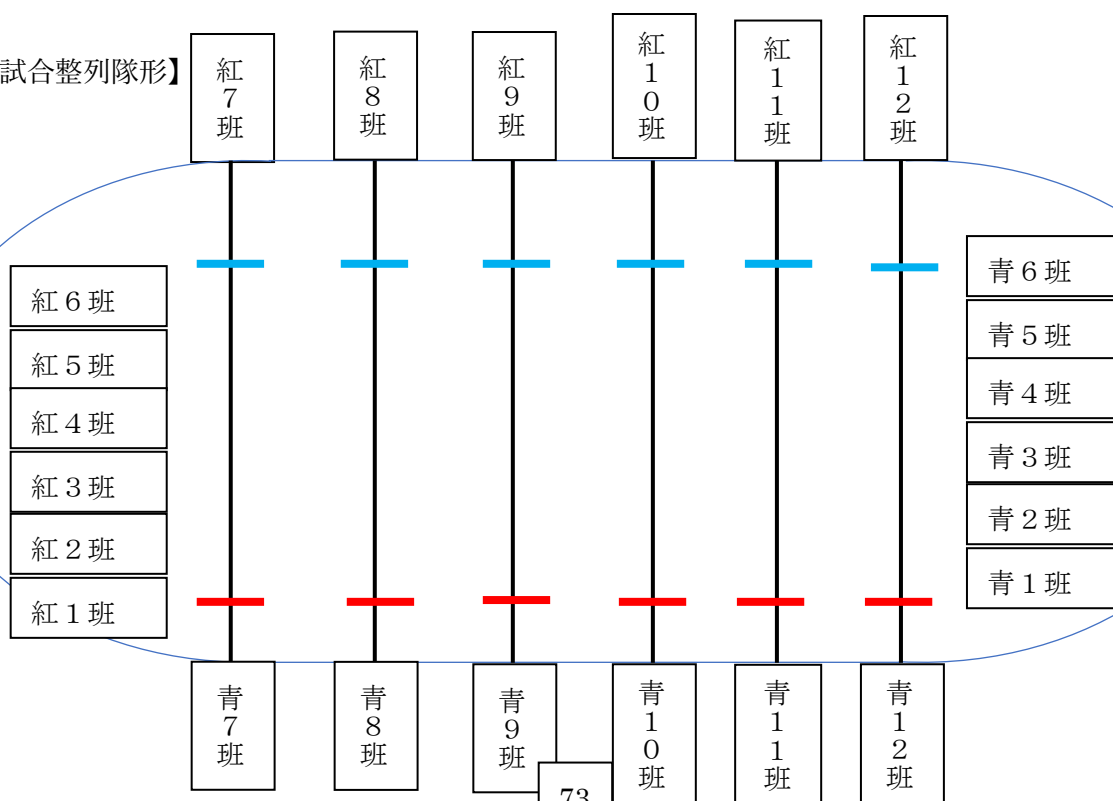
先頭9年生⇒1・2・3・4・5・6・7・8年の順に並ぶ



【第1試合整列隊形】



【第2試合整列隊形】



【異学年交流活動③】

全校遠足

1 目的

- ・児童一人一人が武蔵台・高麗周辺の魅力を味わい、協力して活動する態度を養う。
- ・自然に親しみ、自然を愛する心情を養う。

2 日時 令和6年11月24日（日）（学校行事4）

（雨天時 中止・・・月曜日課で4時間目まで授業、お昼はお弁当を各教室で食べて下校）

振替休業日は11月25日（月）保護者に通知済み

3 内容

学活・朝の会	8：25～8：35
移動開始	9：05
校庭集合完了	9：20 ※縦割り班で、整列する。
始めの会（校庭）	9：20～9：30 班長の6年生は帽子を学年の色にする
出発	9：30（校長先生、青1班～青12班、赤1班～赤12班）
観光案内所	10：00～10：20
トイレ休憩	（行きたい児童 生徒 のみ これ以降、巾着田までトイレなし）
巾着田到着	11：20（校長先生、青1班～青12班、赤1班～赤12班）
点呼・諸注意	11：20～11：25
縦割り班ごとの遊び	11：25～11：50
昼食	11：50～12：30
集合・終わりの会	12：30～12：40（各学年1名、感想発表）
巾着田出発	12：40（校長先生、赤1班～赤12班、青1班～青12班）
中の田公園到着	13：10（通学班に並び替える、行きたい人のみトイレ）
下校	13：20～

3 遠足コース

学校→武蔵台5丁目貯水タンク（多峰主山入り口）→観光案内所→広域飯能斎場
→新299バイパス→高麗峠→ほほえみの丘→ドレミファ橋→巾着田

4 始めの会、終わりの会 司会：計画委員

始めの会

- 1 始めの言葉
- 2 校長先生のお話
- 3 諸注意
- 4 終わりの言葉

終わりの会

- 1 始めの言葉
- 2 感想発表（各学年代表1名）
- 3 校長先生のお話
- 4 終わりの言葉

※集合隊形は、縦割り班の隊形

5 持ち物

帽子、弁当、水筒、敷きもの、おしぼり、ゴミ袋、雨具、
タオル、おやつ（食べきれるだけ。アメ・ガムは禁止。）、ハンカチ、ティッシュ
※名札は学校へ置いて行きます

6 その他

- ・緊急車両は教頭先生
- ・雨天中止の場合、LEBERでメール配信をする（午前6時30分）
- ・下校の教員の引率は武蔵台地区のみとし、横手地区は学校信号下までとする。
- ・事前に遠足の安全を守るボランティアを募集する。（教頭先生）

7 事前準備

11月19日（火）ロング昼休みに、1～9年生の縦割り班で集まり、全校遠足での遊びを決める。

- ・道具はなしで、できる遊び（荷物になるため）
- ・1～9年生のみんなが楽しめる遊び（1年生も分かる遊び 安全面の配慮など）

遊びが決まったら、班長の6年生は担当の先生へ報告する。

（例）1班 「だるまさんがころんだ」をして遊びます。

※昨年度の反省を踏まえて、他の班と一緒にあったり、班がバラバラになつたりしないで、縦割り班のメンバーで遊ぶことを確認しておいてください。

※当日、縦割り班の担当の先生方は、縦割り班ごとに、事前に決めた遊びで遊んでいるかを確認し、見守りをお願いします。

令和6年度 武蔵台小中学校 日課表

75

	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
登校	【前期】 8:00～8:05 【後期】 8:00～8:15									
朝読書	8:20～8:25		【朝会】 8:20～8:30 【音楽・体育朝会】 8:20～8:35		8:20～8:25					
朝の会	8:25～8:40	8:25～8:30	8:35～8:45	8:35～8:40	8:25～8:40	8:25～8:30	8:25～8:40	8:25～8:30	8:25～8:40	8:25～8:30
第 1 校時	8:45～9:30	8:40～9:30	8:45～9:30	8:40～9:30	8:45～9:30	8:40～9:30	8:45～9:30	8:40～9:30	8:45～9:30	8:40～9:30
第 2 校時	9:40～10:25	9:40～10:30	9:40～10:25	9:40～10:30	9:40～10:25	9:40～10:30	9:40～10:25	9:40～10:30	9:40～10:25	9:40～10:30
業間	10:25～10:45	10:30～10:40	10:25～10:45	10:30～10:40	10:25～10:45	10:30～10:40	10:25～10:45	10:30～10:40	10:25～10:45	10:30～10:40
第 3 校時	10:45～11:30	10:40～11:30	10:45～11:30	10:40～11:30	10:45～11:30	10:40～11:30	10:45～11:30	10:40～11:30	10:45～11:30	10:40～11:30
第 4 校時	11:40～12:25	11:40～12:30	11:40～12:25	11:40～12:30	11:40～12:25	11:40～12:30	11:40～12:25	11:40～12:30	11:40～12:25	11:40～12:30
給食	12:25～13:10	12:30～13:10	12:25～13:10	12:30～13:10	12:25～13:10	12:30～13:10	12:25～13:10	12:30～13:10	12:25～13:10	12:30～13:10
清掃	13:15～13:30		13:15～13:20（簡単清掃）		13:15～13:30		13:15～13:30		13:15～13:30	
昼休み	13:30～13:45		13:20～13:45		13:30～13:45		13:30～13:45		13:30～13:45	
					【1年】 13:35～13:45 …帰りの会 13:50 …下校					
第 5 校時	13:50～14:35	13:50～14:40	13:50～14:35	13:50～14:40	13:50～14:35	13:50～14:40	13:50～14:35	13:50～14:40	13:50～14:35	13:50～14:40
	【1～6年】 14:40～14:50 …帰りの会 14:55 …下校	14:45～15:00 …帰りの会 15:15 …下校	【1・2年】 14:40～14:50 …帰りの会 14:55 …下校		【2～6年】 14:40～14:50 …帰りの会 【2・3年】 14:55 …下校		【1～3年】 14:40～14:50 …帰りの会 14:55 …下校		【1・2年】 14:40～14:50 …帰りの会 14:55 …下校	
第 6 校時			14:50～15:35	14:50～15:40	【4～6年】 15:00～15:45 …委員会/クラブ /授業 15:55 …下校	(委員会なし) 14:50～15:40 …6校時 16:15 …下校 (委員会あり) 15:00 …委 17:00 …下校	14:50～15:35	14:50～15:40	14:50～15:35	14:50～15:40
	課外 ○15:15～ 職集 ○職集後～ 職員会議・校内研修・ 各種会議・委員会		【3～6年】 15:40～15:50 …帰りの会 15:55 …下校	15:45～16:00 …帰りの会 16:15 …下校			【4～6年】 15:40～15:50 …帰りの会 15:55 …下校	15:45～16:00 …帰りの会 16:15 …下校	【3～6年】 15:40～15:50 …帰りの会 15:55 …下校	15:45～16:00 …帰りの会 16:15 …下校

【短縮日課】

※後期課程の下校時刻は部活動休止の場合

○3時間の日

	前期	後期
帰りの会	11:35～11:45	11:35～11:50
下校	11:50	12:05

○4時間の日

	前期	後期
帰りの会	13:35～13:45	13:35～13:50
下校	13:50	14:05

部活動時下校時刻

○4/1～9/15 …18:00 ○11/1～11/15 …16:45 ○1/16～2/10 …17:00
○9/16～新人戦終了 …17:45 ○11/16～12/31 …16:30 ○2/11～2/28 …17:30
○新人戦終了～10/30 …17:15 ○1/1～1/15 …16:45 ○3/1～3/31 …17:45

【武蔵台小中学校ふるさと科内容系統配列一覧表】

総合的な学習の時間 内容系統配列一覧表

期	I 期	II 期	III 期						
区分目標	地域の人々や地域を調べ、教師や友達との関わりの中で課題を設定し、課題解決のための調査方法を学びながら調査に取り組み、地域のよさを明らかにし、地域を大切にしようとする態度を育てる。	区分目標 地域や日高市について調べる中で課題を設定し、これまでに学習した調査方法を活用しながら調査に取り組む。地域のよさと問題を明らかにするとともに、問題を解決しようとする態度を育てる。	区分目標 日高市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、地域をよりよくしようと社会参画する態度を養う。						
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
横（断的・総合的な課題） （現代的な諸課題）	参考：生活科の学習と系統性								
地域や学校の特色に応じた課題	夏だあそぼう たのしいあいさつ いっばいふゆをたのしもう	春夏秋冬のくらし	SDGs～環境について考えよう～ (環境)	日本について (環境・町づくり)	日高市の防災を考える (防災)	伝えたい、鎌倉 (国際交流・伝統文化)	武蔵台・日高市の歴史を知ろう (伝統文化)	長瀬の歴史と未来の日高の今 (伝統文化、地域経済)	京都の歴史と未来の日高 (国際交流・伝統文化、健康福祉、環境・町づくり、防災、地域経済)
興味・関心の中心に基づく課題	学校大好き	どきどきわくわく みんなであそぶ まちのしぜつももっとなかよし まちたんけんわたしの生活	ウグイスの放流 (交流)	バラスポーツ体験 (交流)	農家の方と作物をつくらう (交流・勤労)	伝えよう 感謝の気持ち (交流)	体感しよう 日高市と川越の違い (地域経済)	進級する6年生、卒業する9年生に感謝を伝えよう (交流)	進路実現をしよう (交流、キャリア)
	きれいにさいいてね	大きくなあれわたしの野さい				これからの私 (キャリア)	「働く」についてかんがえよう ・職場体験 (キャリア)	連絡調べ (キャリア)	
	じぶんのできるよ							日高市生涯学習まちづくり 出前講座 (交流)	
	ICT タブレットの操作	ICT ローマ字入力	ICT メディアリテラシー	ICT SNS、メール送信の方法と留意点	ICT プレゼンソフトの操作	ICT SNSの影響力和使用上の注意 レポート作成ソフトの操作	ICT 既習の操作を活用した提案の作成		

日高市立武蔵台小中学校（５年）「ふるさと科の時間」年間指導計画

単元名【日高市の産業を考える】

【単元の目標】

○日高市の産業の現状を調べ、課題を見出し、これから産業の発展についての提言をまとめる探求的な活動を通して、地域の発展に参画する態度を育てる。

月	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
4	オリエンテーション	○日高市の農産物について思いだそう。 ・イメージマップ（思考ツール）を用いて、「日高市の農産物」について知っていることを出し合う。（スクールタクト） ・これからの学習の見通しをもつ。		・『産業分野での日高市への提言』がゴールであることをおさえる。
5	課題設定 情報の収集	○ダイズの栽培を通して、農作業を学んでいこう。 ・ダイズの栽培をしていく。 ・ダイズの加工品について調べる。	・ダイズ農家 ・日本醤油協会 ・豆腐厨房日高店 ・JAいるま野アグレッシユ日高中央	・栽培は、春から秋までかかるので、次の課題と並行して進める。
6		○醤油について知ろう ・“しょうゆ博士”から、ダイズの加工の流れを教えてもらう。 [収穫後] ○収穫したダイズから、加工食品をつくってみよう。 ・豆腐をつくる。		・理科 ・家庭科 ・国語
7	整理分析 まとめ・表現	○ダイズ栽培を通して、農産物の発展にとってキーポイントとなるのは何だろう。 ・ダイズ栽培で苦労した経験や、農家の方や商品を作り出す方との話の中から、自分の考えをまとめていく。		
9	課題設定	○日高市の産業について、更に調べたいことを考えよう。 ・自らが探求するテーマを決めていく。		
	情報の収集 整理分析	○自分のテーマとする産業の現状を把握しよう。 ・インターネットや書籍にて調べ学習を行う。 ・産業に関わる人物や農協の方から聞き取り調をする。 ・現状から、これからの日高市の産業の発展に必要なアイデアを考える。		・国語
10	まとめ・表現	○『産業分野での日高市への提言』発表会を開こう。 ・いまでの調査や、自分の意見をまとめる。 ・発表会をする。新たな情報や考え方を知り、自分の考えを広げたり深めたりする。		・理科
	再構築	○自分のできることは何だろう。 ・自分で調べたことや、友だちの発表を聞いて知ったことなどを通して、これからの自分の生活等にどのように活かしていくのかを考える。		・国語
	振り返り	○学習全体を振り返る ・テーマの決め方、調べ方、まとめ方、発表のしかたなど、学んだことやできるようになったことを整理し、自分の成長に気づく。		

備 考

- ・各農産物を栽培されている農家さんを、アグレッシユさんに紹介してもらった。R6年度のリストあり。
- ・他学年のつながりとして、6年生の「鎌倉紹介」の発表会への参加あり。

日高市立武蔵台小中学校（7年）「ふるさと科の時間」年間指導計画
キャリア教育・文化

単元名【武蔵台、日高市の歴史を知ろう】

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連 ・ 指導上の留意点
10	武蔵台 日高市の歴史を知ろう	オリエンテーション	○ふるさと科ガイダンス ・ どのような学習をするのか知る。	高麗神社宮司さん 高麗武蔵台自治会長さん 学校運営協議会委員さん 地域学校協働活動推進員さん	社会 技術・家庭 国語
		課題設定 情報の収集	○課題にそって調べる。 ・ インターネットや本で情報を収集 ・ 地域の方から武蔵台、横手台の開発についての話を聞く。 ・ 高麗神社の宮司さんから日高市の歴史についての話を聞く。		
		整理分析 まとめ・表現	○武蔵台・日高市の歴史についてまとめる。		
		課題設定	○各自で課題を設定する。 ・ 武蔵台・日高市の自然や人口など ○課題解決のための方策を考える。		
		情報の収集 整理分析	○「武蔵台、日高市の歴史発表会」の資料作成 ・ 本、インターネット、人からの聞き取りなどの方法により、調べ学習をする。		
		まとめ・表現	○「武蔵台、日高市の歴史発表会」をする。 ○これまでの学習を振り返る。		
		再構築	○「武蔵台、日高市の歴史」について改めて話し合う。		
		振り返り	○これまでの学習を振り返る。		

備 考

高萩小・中学校小中一貫教育だより

高萩小・中学校は、令和7年4月から小中一貫教育校になります！

1. 小中一貫教育って何？

○「小中一貫教育」とは、小学校から中学校までの義務教育9年間で、子どもたちの成長や発達の段階に応じた学習活動や生活指導を一体的に行う教育のことで、児童生徒や教職員が連携・交流を深め、小学校と中学校が協働して系統性や連続性を意識した教育活動の実現を図ります。

2. 小中一貫教育校って何？

○義務教育学校とは異なり、学校施設を統合せずに小学校と中学校が連携・協働しながら、義務教育9年間の教育活動を行います。

- ・小学校6年間・中学校3年間のままで、既存の枠組みと変わりません。
- ・合同行事や乗り入れ授業の実施など、小学校と中学校が連携・交流を図ります。
- ・義務教育学校に準じた形で9年間の共通目標を設定し、系統性や連続性を踏まえた教育課程を編成・実施します。

3. 高萩小・中学校はどんな特徴があるの？

○高萩地区は「ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指し、授業を行ったり、小・中の情報交換を密に行うことで課題を共有したりしながら、高萩地区の子どもたちへのよりよい教育の推進を図っています。

- ・高萩小・中学校は日高市内唯一の【施設隣接型・分離型小中一貫教育校】です。校舎やグラウンドが隣り合っているというメリットを活かし、様々な活動を行っています。
- ・小学校、中学校、公民館が近くに建てられていて、行き来が容易にできます。

4. 具体的にどんな取組を行っているの？

(1) 児童・生徒編

○施設の共同利用

- ・高萩中学校に設置されているプールを共同利用しています。プールの深さを調整するため、6月初旬から中学生が利用し、徐々に水位を下げていき、小学生高学年、中学年、低学年が利用するようにしています。
- ・高萩中学校の校庭を共同利用しています。小学校のクラブ活動の時間、運動会練習などで利用しています。

○部活動交流会

- ・小学校から中学校に進学した際に、大きな変化の一つに部活動があります。これをギャップとしないために、事前に小学生6年生が部活動を見学・体験し、心構えをすることは、非常に有効です。



○合唱交流会

- ・中学校で行われる合唱祭に、小学校5年生の児童が参加しています。小学生は中学生の歌声を聴き、5年生も合唱を披露します。最後に、児童・生徒が全体合唱「BELIEVE」を歌います。この合唱を通して、中学生は先輩として、小学生は中学生への憧れをより一層強めます。



○新入生体験入学

- ・2月下旬には、小学校6年生が中学校を訪れ体験入学を行います。体育館での全体説明を行い、各教室にわかれて「萩中カルタ」を体験しながら、中学校生活を学びます。その後、教科の授業を体験します。体育館での説明やカルタを行うときは、中学校3年生が運営、説明等を行います。



○タイピングスキルアップ

- ・これからの時代を生き抜いていく児童・生徒にとっては、タイピングスキル習得は必須であると考えます。実際、国際的なテストや県・国のテストもコンピュータを使用したものが増えています。そのため、令和6年度から中学校をはじめとしてタイピングスキルの習得に向け取組をはじめました。小学校高学年においても、取組が始まっています。

(2) 教職員編

○小中合同研修会

- ・研究主題「萩っ子一人ひとりに確かな学力を身につけさせる学習指導法の研究」～高萩学区における小中一貫教育の取組～をテーマに行っています。「ICTを活用した授業」として、小学校で授業を行い、その授業を録画したものを小中学校の教員で参観し、ICTの効果的な活用について意見交換を行いました。



○小中合同 AED 研修会

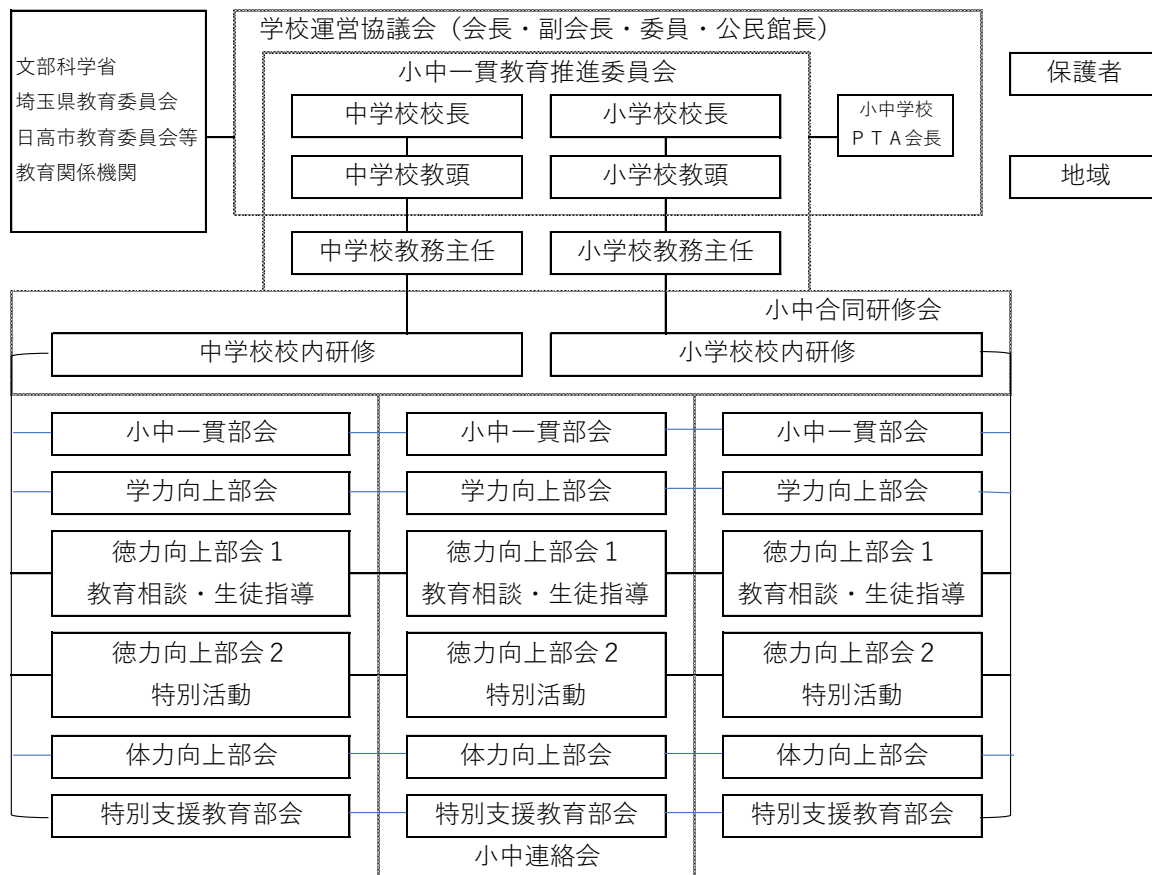
- ・小中でプールを共同利用するため、万が一の場合に対応できるように、飯能日高消防署高萩分署の救急隊の方に指導に来ていただき、AEDの使用方法を中心に小中の教員合同で研修を行っています。
- ・実際にプールで事故が起きた場合の連絡系統、対応について、職員間で話し合いを行いました。



○中学校教員乗り入れ授業

- ・中学校教員が小学校へ出向き、高学年の授業に参加しています。実際に小学校の授業に参加することで、小学校の授業スタイル、ICTの活用について情報共有を行い、小中ギャップの解消に努めています。

高萩地区小中一貫教育推進 組織（案）



部会名	協議内容（提案資料の作成等）
小中一貫教育推進委員会	・年間計画 ・学校運営協議会との連携 ・地域学校協働本部との連携 ・学校行事（児童生徒の交流） ・施設設備 ・諸会議 ・相互乗り入れ授業 ・教科担当
小中一貫部会	・ふるさと科
学力向上部会	・授業形態（含学習規律） ・英語教育 ・プログラミング学習 ・タイピング学習 ・I C Tの活用
徳力向上部会 1 教育相談・生徒指導	・教育相談（いじめ問題） ・不登校 ・生徒指導（学校の約束、校則等） ・道徳教育（生命の尊重・郷土愛） ・人権
徳力向上部会 2 特別活動	・学級活動 ・委員会活動 ・あいさつ運動 ・生徒会、児童会 ・進路指導 ・キャリア教育
体力向上部会	・体育的行事 ・体育授業 ・部活動 ・食育 ・保健
特別支援教育部会	・学習指導 ・自立活動 ・交流行事 ・外部連携

(3) 教職員・PTA 等

○小中合同引き渡し訓練

- ・例年、年度当初に引き渡し訓練を行っています。小学校に弟や妹がいる中学生は、小学校へ行き、弟や妹と一緒に保護者のお迎えを待ちます。



○小中合同地域学校保健委員会

- ・例年、夏季休業期間に、小中合同で開催しています。
内容は、新体力テストの結果・分析、定期健康診断の結果・分析を行っています。
- ・毎年、講師の方においでいただき講演会も行っています。
令和6年度は、「相談事例からアドバイス」～学校・家庭との連携～と題して、児童家庭支援センターシャロームの方に講演をしていただきました。



○高萩小・中学校 PTA 高萩公民館 人権学習講演会

- ・小中 PTA と公民館の共催で、人権学習講演会を行いました。高萩公民館を会場とし、綺麗で快適な会場で講演会を行っています。
- ・令和6年度は、「暮らしの中の人権」と題し、埼玉県県民生活部人権・男女共同参画課から講師の方に来ていただき、講演を行いました。

4. これからはどんな取組を行っていくの？

○小中連絡通路の建設

- ・小学校と中学校の行き来をさらに容易にするために、連絡通路を建設する予定があります。
令和6年度設計、令和7年度建設予定です。

○小中委員会の合同開催

- ・小・中学校に子どもたちが行う委員会活動があります。これらの委員会を数カ月に1回程度合同で開催したいと考えています。(例えば、小学校と中学校の保健委員会を合同開催)

○ふるさと科の取組

- ・小学校での「生活科」、「総合的な学習の時間」、中学校での「総合的な学習の時間」を「ふるさと科」として日高市・高萩地区について系統的に学べるようにしていきます。

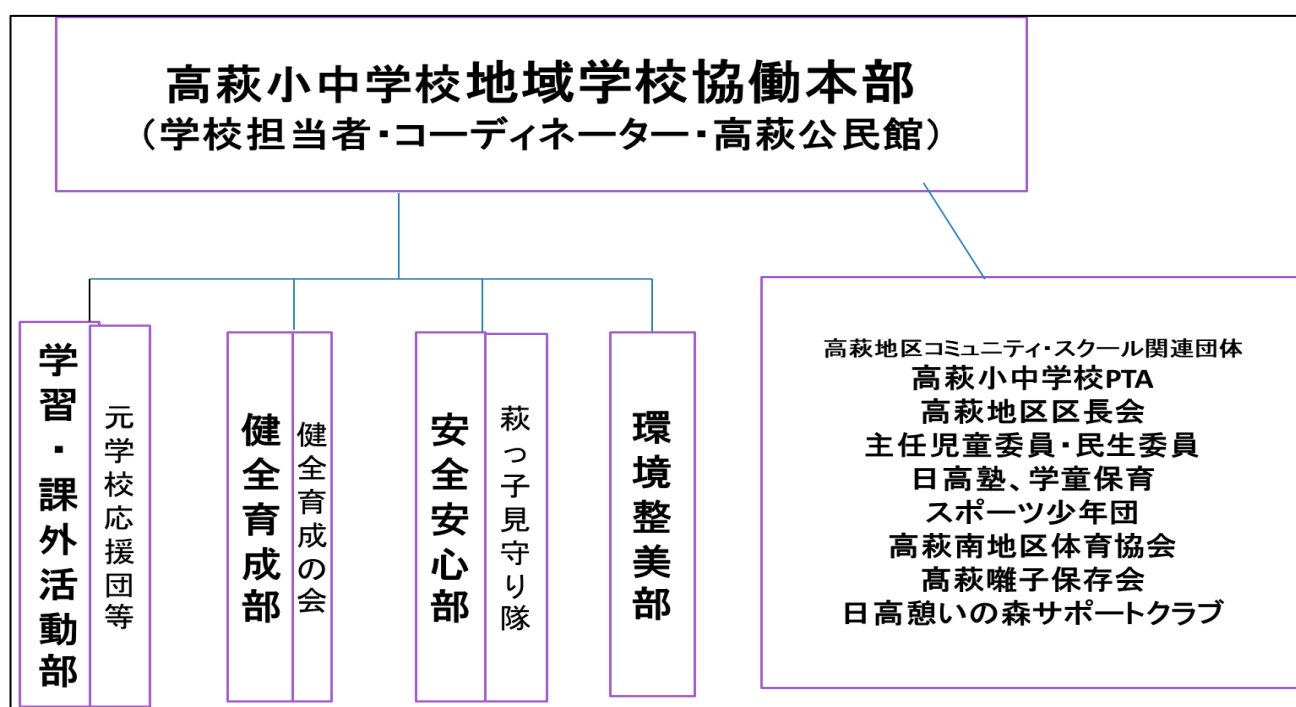
5. 高萩小・中学校を支える組織はどんなものがあるの？

○学校運営協議会

平成31年4月に高萩地区学校運営協議会が発足しました。地域の関係機関および団体の代表者等の方々、小・中学校長、公民館長12人で構成されています。各行事を参観していただいたり、年に5回以上の会議を開催し、高萩小中学校の小中一貫教育について、情報共有を行ったり、熟議を行ったりしています。

○地域学校協働本部

学校運営協議会委員の中から選出した地域学校協働本部のコーディネーターを中心に令和5年4月に地域学校協働本部が立ち上がりました。地域学校協働本部は、「学習・課題活動部」、「健全育成部」、「安全安心部」、「環境整美部」の4つの部会で構成されています。多くはこれまでも、お世話になっていた組織の方々です。引き続きお世話になります。



●主な活動内容

□学習・課外活動部

・小学校野菜作り ・日高塾 ・囲碁、将棋クラブ指導 ・高萩囃子実演、解説 など

□健全育成部

・朝の登校指導を年間8回実施 ・夏祭りパトロール ・青少年のための施設見学会
・高萩中学校地域清掃 など

□安全安心部

・374名の隊員による年間200日間の見守り活動 など

□環境整美部

・小学校、中学校敷地内の除草作業、植木の剪定 ・小学校ベンチ等のリニューアル
・小学校花壇の花植え、フェンス補習 ・小学校池の清掃、水交換 など



日高市「ふるさと科」内容系統配列一覧表（高萩小・中学校ver.）



期	Ⅰ期				Ⅱ期				Ⅲ期				
目標	区分目標 地域の人々や地域を調べ、教師や友達との関わりの中で課題を設定し、課題解決のための調査方法を学びながら調査に取り組み、地域のよさを明らかにし、地域を大切にしようとする態度を育てる。				区分目標 地域や日高市について調べる中で課題を設定し、これまでに学習した調査方法を活用しながら調査に取り組み、地域のよさと問題を明らかにするとともに、問題を解決しようとする態度を育てる。				区分目標 日高市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、地域をよりよくしようとする態度を養う。				
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年				
横断的・総合的な課題 （現代的な諸課題）	参考：生活科の学習と系統性 『夏だあそぼう』 『たのしいあそびいっぱい』 『ふゆをたのしもう』	『春夏秋冬のくらし』	『お気に入りの本をしようかい』 （国語）	『調べたことや体験したことを新聞にまとめよう』 （福祉） 『新聞をつくらう』 （国語）	『身近な自然を調べよう』（環境） 調べたことを正確に報告しよう（国語） 『日光の歴史や自然、世界遺産について学んだことを伝えよう』（国語） （国語） 『日本文化を発信しよう』（国語）	『校外学習・職場体験学習発表』	『日本の古都から学ぼう』 ～京都・奈良の名所調べ～ （伝統文化）（社会・国語） 『宿泊学習発表』 （国語） 『人権学習』 ～身の回りのさまざまな差別について～（社会・道徳）	『日本の古都から学ぼう』 ～修学旅行学習発表～ （社会・国語）					
	『がっこうだいすき』	(3)(4)(8) 『まちたんけんをしよう』 『まじきわくくまじたんけん』 みんなであそぼう ちのしせつ もとなかよし ちたんけん	『お茶博士になろう！』 （町づくり） 『はたらく人とわたしたちのくらし』 （社会）	『高萩罐子について調べよう』 『きょう土のはってんにつくす』 （社会）	『食育を学ぼう』（食） ～高麗鍋をつくらう（町づくり・交流） 『わたしたちのせいかつと食料生産』 （社会）	『校外学習』 ～川越の名所調べ～ （町づくり・地域経済） 『性に関する指導』 ～思春期の心の変化～ ～男女の相互理解と協力～ 力～（生命・福祉）	『校外学習』 ～グループ・個人学習～ （食・町づくり・地域経済） 『性に関する指導』 ～生命の尊重・妊婦体験～	『日高市への提言を考えよう』 （町づくり・地域経済・防災・健康・福祉・キャリア等）					
	『じぶんのできるよ』	『つながるわたしの生活』	『公民館のサークルをしようかいしよう』 （町づくり・交流・キャリア）	『日高特別支援学校との交流会をしよう』 （福祉・交流・キャリア）	『調べるよう～（キャリア）～』 ～ありがとう高萩小学校～ （キャリア・町づくり）	『職場体験学習』 ～職業調べ・事業所の打ち合わせ・お礼状の書き方等～	『進路学習』～上級学校訪問～ （交流・キャリア）						
					『高萩小中で取り組む学習内容』 「ベネッセ マナビジョン タイピング練習」								
児童生徒の興味・関心に基づいた課題	低学年『タブレットとなかよくなろう』 まなびポケット eライブラリを使う オンライン授業の受け方を知る	中学年『タブレットを上手に使う』 ・インターネットやスクリーンショット、Googleスライドなど、よく使うアプリの使い方に慣れる ・タイピングの基礎的な技能を身に付ける	高学年『タブレットを使いこなそう』 ○低・中学年で身につけたタブレットの技能をさらに発展させる。 ○インターネットの使い方を通して、ネットリテラシーの意識をさらに定着させる。	タブレットの使い方 パワーポイントの利用の使い方 自己PRカード作成				タブレットの使い方 パワーポイントの利用の使い方	コンピュータの使い方 パワーポイントの利用の使い方				

日高市立高萩小学校（４年） ふるさと科年間指導計画

単元名【高萩囃子について調べよう】

【単元の目標】

○地域に残る伝統芸能である「高萩囃子」について調べ、まとめる学習を通して、古くから残るものの大切さ、これまで受け継いできた人々の努力を知り、自分たちにできることについて考える。

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	○各教科等との関連・指導上の留意点 ★地域との連携
10	高萩囃子について調べよう	オリエンテーション	○学習の見通しをもとう。 ・高萩囃子について知っていることを出し合う。 ・知っていることを分類、整理し、学習課題につなげる。		社会 「日高市に古くから伝わるもの」 ★高萩囃子保存会 高萩公民館 ○道徳「ふるさとを守った大イチョウ」C： 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 (まとめ方の例) ・googleスライドの活用
		課題設定 情報の収集	○学習課題を立てよう。 ・学習課題を立て、学習の流れを確認する。 ・調べる方法について知る。		
11		整理分析 まとめ・表現	○交流会に向けて、情報を整理する。 ・交流会について計画を立てる。		
		課題設定	○交流会に向けて、課題を立てよう。 ・調べたいことを出し合い、保存会の方にインタビューする内容をまとめる。(個人→グループ)		
12		情報の収集 整理分析	○高萩囃子保存会の方との交流会をしよう。 ・交流会に参加し、実演を身、演奏体験を行う。 ・調べたい内容について保存会の方に質問する。 (内容が多岐に渡る場合は事前か事後にFAXし、回答して頂く)		
		まとめ・表現	○高萩囃子についてテーマに沿ってまとめる。 ○調べ学習の発表会をしよう。		
		再構築	略		
		振り返り	○学習の振り返りをしよう。 ・地域に残る伝統を残していくために、自分たちにできることについても考え、共有する。		

備 考

★高萩囃子保存会との連携（会長と事前打ち合わせ）

- ・ R 5 ・ R 6 は12月に交流会をお願いした。
 - ・ 会場は高萩公民館大ホールを予約する。
 - ・ 学年に保存会の演奏に参加している児童もいることが多いので確認するとよい。
- 〈3学期の活動について〉※その年度の学年の先生方で決めてください。
- ・ 福祉についてさらにそれぞれのテーマを決めて調べ学習をする。
 - ・ 日高市の行事や祭り、建物や遺跡、偉人「高林謙三・岡田衡平」について等、社会の学習から選択、発展して調べ学習をする。

日高市立高萩中学校（１年） ふるさと科年間指導計画

単元名【 川越校外学習 】

【単元の目標】

- 自ら課題をもって、見学や体験を行い、歴史や文化に対する関心を高める。【賢く】
- 協力して班行動を行い、互いの良さを認め合う。【優しく】
- 公共の場でマナー等身につけ、ひとりの人間としての社会性・人間性を高める。【遅しく】

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
4	川越校外学習	オリエンテーション	○川越を知る ・ 川越のことを、クイズや写真を通して知る。 ○班組織・係分担を決めよう ・ 班内の役割や、係分担を話し合い決定する。 ○第Ⅰ回係会議 ・ 仕事の確認や、目標の設定等を行う。 ○「班別行動計画」を作成しよう① ・ 散策マップを活用し班別行動計画を作成する。	まつり会館	●天保時代の書物「諸国名物番付」には、サツマイモの代表産地として「川越地方」と記載されていた。 (社会科歴史) ●サツマイモは、重く、かさばるため、陸路での運搬にいていなかった。幸いにも、川越は、江戸と新河岸川で結ばれているため、船での運搬にいていた。(※新河岸川は、埼玉県の川越市、ふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市、和光市を通り、東京都へ入り隅田川に合流する一級河川。)(社会科地理) ●「栗(九里)より(四里)うまい十三里」「栗(九里)より(四里)うまい十三里」とは、栗よりもサツマイモの方が美味しいという意味と、一里は約4kmのこと。九里と四里を合わせた十三里は約52km。それは江戸-日本橋から川越までの距離約52kmと一致する。(数学)
5			市立博物館		
4		課題設定 情報の収集	○川越の名所を知ろう ・ 川越について調べ学習を行う。	本丸御殿	
5		整理分析 まとめ・表現	○事前学習ミッションⅠ川越の魅力発見 ～なぜ、川越に多くの観光客が訪れるのか～ ・ 班学習、班員の仮説を立てる。	氷川神社	
			○「班別行動計画」を作成しよう② ・ 散策マップを活用し班別行動計画を作成する。 ○「班別行動計画」を作成しよう③ ・ 川越散策マップを活用し、班別行動計画を作成する。昼食場所も考え、班長はアポ電をする。 ○しおりの読み合わせ集会 ・ 全員でしおりの読み合わせを行う。	喜多院	
6		情報の収集 整理分析	校外学習当日 ○ミッションⅠ「なぜ、川越に多くの観光客が訪れるのか」 事前に考えた理由(仮説)を見つけてくる。 ○ミッションⅡ「川越を知るためのウォークラリー(フォトラリー)」 ・ 事前学習をもとに仮説の根拠を見つけてくる。	時の鐘	
		まとめ・表現	○事後学習「ミッションⅠ仮説の検証」 ・ 現地調査した成果(検証と結論)を班ごとにまとめる。 ○ミッションⅠについてのまとめ新聞づくり ・ 班ごとにミッションⅠのまとめ新聞をつくる。	蓮馨寺	
	振り返り	○川越校外学習を振り返って ・ まとめ新聞を作成し、発表する。			

備 考

- ・班で協力し、課題解決に向けて自分の考えを述べるようにする。
- ・足を運んで直接話を聞いて情報を得ることの大切さや会うときのマナーを理解できる。
- ・学年のテーマと関連させて、グループや個人の課題の設定のしかたが理解できる。
- ・校外学習で学んだことについて、グループや個人の課題が設定できる。
- ・班でまわるルートについては、班の話し合い決める。見学場所が集中しないように配慮していく。



令和6年度 高萩北地区 小中一貫教育取組報告

○1日体験入学

小学校から中学校への入学を大きなギャップとしないように、事前に6年生が中学校を見学・体験し、心構えを持てるようにしている。中学校の説明や中学校教員による体験授業、部活動見学などを実施している。



○小中合同地域清掃

中学生が地域の方と行ってきた地域清掃を小学生も一緒に取り組んだ。地域の方、保護者、中学生、小学生が力を合わせ、地域のゴミを拾い歩く清掃活動を行っている。



○中学校陸上部による陸上教室

小学校のなかよし運動会に向けて、中学校の陸上部員たちが小学生の練習にアドバイスをしている。中学生にとっても、小学生にアドバイスをすることで、自分自身の技術や練習の工夫について考えるきっかけとなっている。



○すぎの子学級小中交流会

すぎの子学級では、年2回、小中で交流会を行い、様々なゲーム遊びなどを通して交流を深めている。大きなお兄さん、お姉さんと遊べて興奮する小学生と、少し誇らし気に、年長者としてふるまっている中学生の姿がほほえましかった。



○職場体験

中学校1年生で、行っている社会体験学習では、地域の多くの事業所で職業体験を行っている。毎年、小学校でも中学生を受け入れて中学生にとって貴重な体験となっている。



○教職員 小中合同研修会

年3回、4つの部会（①非認知（学力向上）部会、②教育相談部会、③生徒指導部会、④ふるさと科部会）に分かれて、情報交換や話し合いを行っている。話し合いの中で、より教育効果を発揮させるために、小中で共通して取り組むべき方策を検討している。今年度は同和教育についての研修も行った。



○中学校教員の派遣

中学校教員が小学校へ出向き、高学年の授業に参加している。実際に小学校の授業に参加することで、小学校の授業スタイルについて情報共有を行い、小中ギャップの解消に努めている。

令和6年度 高萩北小中学校 ふるさと科の取り組み

Ⅰ 北小でのふるさと科の内容

小学校では、体験を通して、児童の課題意識を高めるようにしている。ゲストティーチャーの話を伺ったり、見学・体験したりすることで、児童は自分の興味や関心が何かが明確になったようであった。また、学習の対象をより具体的にイメージした上で、それぞれのテーマを設定して探究的な活動へと進めることができていた。

(1) 3年生

「見つけよう 日高市の宝物」…ふるさと日高の自然や歴史的な建造物、伝統等についての探究的な学習

日高市役所産業振興課の方の講話



高麗神社の見学



高麗家住宅の見学



(2) 4年生

「自分たちにできること～福祉について考えよう」…障がいを持っている方、多様性についての探究的な学習
目が不自由な方の講話



ブラインドウォークの体験



(3) 5年生

「地球を守ろう!SDGs!!」…SDGsについての探究的な学習

「エコプロ2024」(東京ビックサイトで行われている企業のSDGsへの取り組みについての展示会)への参加



日高市立高萩北小学校(5年)「ふるさと科の時間」年間指導計画

単元名【地球を守ろう!SDGs!!】

【単元の目標】
探究的な学習を基に「自分にできることは何か」の視点をもって活動したり、自分の思いや考えを振り返り、今後の自分について考えたりすることができる。

月	単元	学習過程	○活動名 ・活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
4	地球を守ろう！SDGs！！	オリエンテーション	OSDGsについて ・なぜSDGsの取り組みが行われているかを知る。 ・SDGsの種類を知る。 ○名栗元気プラザについて ・名栗元気プラザについて話を聞く ・学習の流れを知る	名栗元気プラザへの宿泊	・家庭科「整理・整頓で快適に」の単元においても、SDGsに触れる。 ・国語「みんなが使いやすいデザイン」の単元と関連させ、報告書にまとめる。
5		課題設定 情報の収集	・名栗元気プラザで行われているSDGsの取り組みを調べる。		
		整理分析	・調べたことをもとに、自分の気になるSDGsのテーマを見つける。		
		課題設定 情報の収集 整理分析	○名栗元気プラザへ宿泊学習へ行こう。 ・名栗元気プラザへ行って、SDGsの取り組みを見つけよう。		
6		まとめ・表現	・活動班ごとに、名栗元気プラザで見つけたSDGsの取り組みについて発表して、情報を共有する。		
7		再構築	・名栗元気プラザで取り組んでいるSDGsについて、報告書にまとめる。		
		振り返り	・学習全体を振り返る。		
9			オリエンテーション		
10	情報の収集		・エコプロダクツの資料をもとに、日本の企業によるSDGsの取り組みを調べる。		
	整理分析		・調べたことをもとに、自分の気になるSDGsのテーマを見つける。		
11	課題設定		○エコプロダクツへ行こう。		
12	情報の収集 整理分析		・エコプロダクツへ行って、SDGsの取り組みを見たり、話を聞いたりする。		
	まとめ・表現		・活動班ごとに、エコプロダクツで見つけたSDGsの取り組みについて発表して、情報を共有する。		
	再構築		・企業で取り組んでいるSDGsについて、まとめる。		
	振り返り		・学習全体を振り返る。		

1 2 3	オリエンテーション	○自分たちにできること		
	課題設定 情報の収集	・名栗元気プラザやエコプロダクツで学習したことをもとに、自分にできるSDGsのテーマを設定する。 ・自分たちの地域で取り組まれているSDGsを調べる。		
	整理分析	・調べて分かったことをもとに、自分たちにできるSDGsについて考えたことを発表する。 ・自分たちにできるSDGsを実践する。		
	情報の収集 整理分析	・実際に取り組んでみて、自分たちにできる取り組みがより良くなることを考える。		
	まとめ 表現	・実践したことをもとに、考えたことを発表する。		
	再構築	・考えた取り組みや実践したことをもとに、自分たちにできるSDGsについてまとめる		
	振り返り	・学習全体を振り返る。		

備考

年度当初にエコプロの日程を確認し、申し込みをする。抽選の結果によって、バス代が無料になる場合がある。

2 北中でふるさと科の内容

(1) 1年生

① 川越への校外学習

1学期：川越の歴史について学ぶ→校外学習→新聞にまとめる

川越市と日高市との関わりや歴史について調べる→この視点も持って校外学習に取り組む

☆来年度は、小学生が川越へ校外学習に行く前に発表の予定…今年度はできなかった



② 日高市内での職場体験

2～3学期：職業調べ→職場体験→職場体験のまとめ→発表



(2) 2年生

① 1学期：上野への校外学習

上野の歴史について学ぶ→校外学習→新聞やスライドにまとめる→発表

② 1～2学期：日高市の観光・おすすめマップを作る→

・日本で有名な観光地である川越と上野に校外学習へ行き、観光地の地図や冊子などを活用して計画を立てた経験を生かし、日高市のおすすめマップを作成する。

(昨年度の作品を参考に作成)

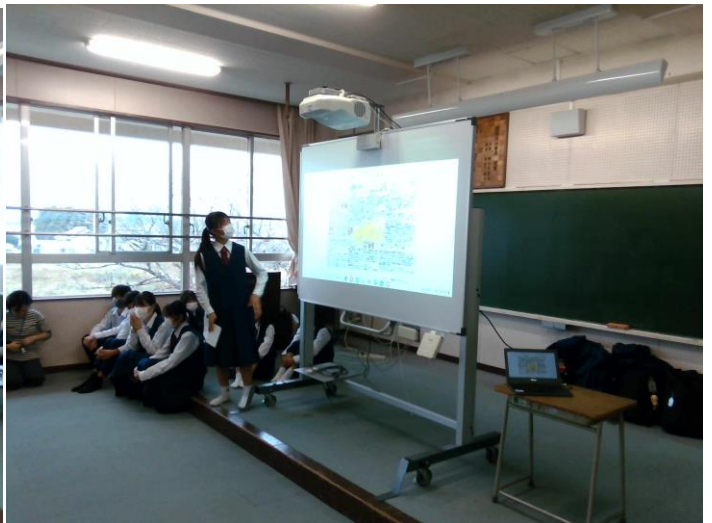
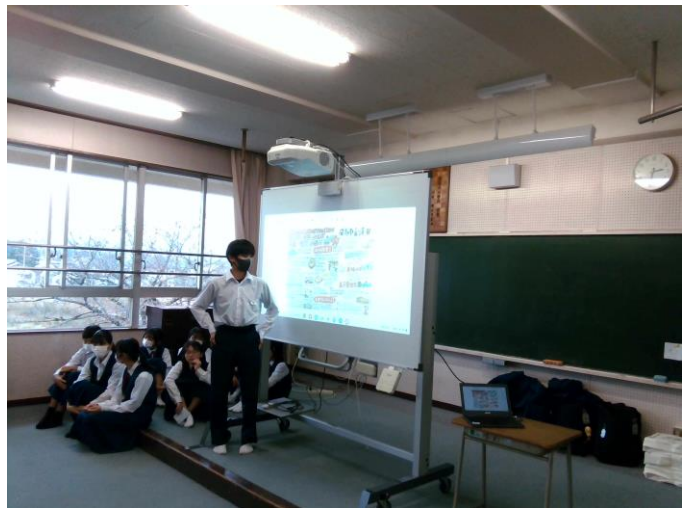
→小学校3年生が日高について学習しているので、その時期に合わせ、小学校で発表を行った。

③ 3学期：修学旅行に向けて、京都・奈良の寺社調べ

・京都や奈良の寺社について、班ごとに新聞にまとめ、発表を行った。

★小3と中2の交流

11月15日(金)に日高市オススメマップの北中の代表者8名が北小に行き、オススメマップの発表を行った。小学生に向けて、クイズなどを入れながらわかりやすい説明とまた、調べ学習のアドバイスをしながらの、良い表ができた。社会科で日高市の学習をしている小学生からもたくさん質問が出て、お互いに良い経験になった。



日高市オススメマップについては、「埼玉県良いまち大賞」に出品し、多くの生徒が入選した。2年生のSくんは埼玉県知事賞に今回選ばれた。昨年度は、埼玉県教育長賞を現3年生のSさんが受賞したので、良い作品のお手本を見て、さらに自分でどのようにアレンジしてオススメマップを作成するかという良いループになった。



HIDAKA SIGHTSEEING!!

히다카 관광 소개!!

日高 観光 介绍!!

1st. GOMBEI
Gombei's meat soup udon is popular.
Udon made by hand is more delicious than machine-made udon. Gombei's udon is made by hand!!

2nd. TAKASHIMA
At Takashima, you can eat local udon. You can eat udon for lunch and at night you can enjoy izakaya.

3rd. HARA
Here is a store that has been around for a long time. The noodle is made of wheat and delicious.

さいぼく園
さいぼく園は、ヒダカ市にある大きな公園です。四季折々の花が咲き、子供たちが遊ぶのに最適な場所です。

高麗家住宅
高麗家は、日高市にある歴史的な建物です。伝統的な建築様式が美しく、観光客の注目を集めています。

日高市金澤田

金澤田は、日高市にある美しい川です。川沿いには多くの桜が咲き、春には多くの観光客が訪れます。

曼珠沙花
曼珠沙花は、日高市にある美しい花です。春には多くの観光客が訪れます。

高麗家住宅
高麗家は、日高市にある歴史的な建物です。伝統的な建築様式が美しく、観光客の注目を集めています。

観光スポット in 日高市

お出かけにぴったりの観光スポットをご紹介します。

高麗家住宅
高麗家は、日高市にある歴史的な建物です。伝統的な建築様式が美しく、観光客の注目を集めています。

さいぼく園
さいぼく園は、ヒダカ市にある大きな公園です。四季折々の花が咲き、子供たちが遊ぶのに最適な場所です。

加藤牧場

加藤牧場は、日高市にある大きな牧場です。四季折々の花が咲き、子供たちが遊ぶのに最適な場所です。

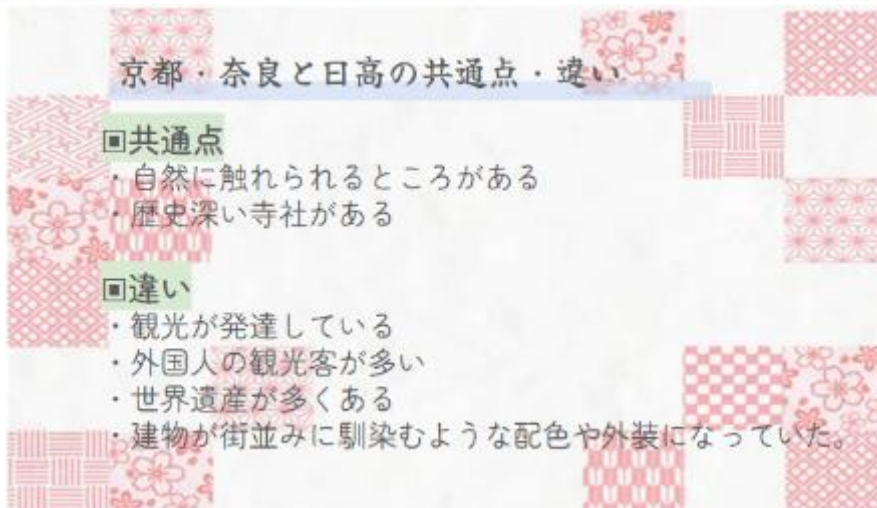
さいぼく園
さいぼく園は、ヒダカ市にある大きな公園です。四季折々の花が咲き、子供たちが遊ぶのに最適な場所です。

巾着田

巾着田は、日高市にある美しい川です。川沿いには多くの桜が咲き、春には多くの観光客が訪れます。

曼珠沙花
曼珠沙花は、日高市にある美しい花です。春には多くの観光客が訪れます。

① 1学期：京都の歴史について学ぶ→修学旅行→新聞やスライドにまとめる



修学旅行に行って、街並みや建造物を見る視点として、『京都・奈良と日高の共通点・違い』を考えるように指導し、スライドにまとめた。↑3年生の班でまとめたスライド作品。

② 2～3学期：世界と日高の関わり→スライドにまとめる

朝鮮半島と日高

日高市の国際交流

友好都市烏山市について

→小学校6年生（世界の中での日本）という学習をしているので発表を行う。

・小6と中3の交流

「世界と日高の関わり」を多面的・多角的に捉え、調査し、スライドにまとめ、発表を学年で行った。

その後、北小の6年生に中学校に来てもらい、6年生向けに発表を行った。

スライドの一部にクイズなどを作り、小学生と交流をしながら、一緒に学べる工夫を行った。

○日高市と世界の関わりについて、調査を行う。

○日高市と世界の関わりを多面的・多角的に考察し、表現する。

○小学校6年生の総合・社会科と連携を図る。



発表会の
様子





★3年生のスライド作品(抜粋)

日高市の飲食店と海外のつながり

調べようと思ったきっかけ
日高市の飲食店ではよく外国人を見かける事が多く、なぜ外国人を見かける頻度が多いのか気になったからです。

調べてみると、日高には海外に進出している飲食店があることがわかりました。

海外進出している飲食店
・日高屋
・サイボク

日高市にはどれくらいの外国人が住んでいるか

日高市には、ブラジルやペルーをはじめ約40カ国1200人もの方が住んでいる。平成10年に身近な生活における国際交流活動を幅広く進め、異なる文化の相互的な理解を深めるために『日高市国際交流協会』が誕生した。また、平成8年に大韓民国(韓国)にある烏山(オサン)市との友好都市提携(ゆうこうとしていけい)をはじめた。



年	西暦	総数人	韓国	中国	アメリカ	その他
2010	平成22	627	53	123	18	433
2015	平成27	655	58	135	17	445
2020	令和2	784	58	112	22	592

日高市と朝鮮のつながり

今から1300年前に、高句麗から来た「高麗人」が1799人集められ後に日高市となる「高麗郡」ができました。



高麗王若光

「高麗王若光」(こまごきしじゃっこう)とは高麗郡をつくった時のリーダーです。



高麗神社

若光の徳をしのび、その霊を祀って建立されたもので、出世開運の神様として信仰されています。

大韓民国 烏山市

平成8(1996)年10月1日。

友好都市締結 in 高麗の郷

『現在友好都市締結28周年に』

1996年から現在まで公式訪問を繰り返し、を

友好親善を深めてきた！

<取り組み>

スポーツ交流事業 (占弓真)

日高市と烏山市の生徒がホームステイ等を通して互いに友情を深め、生活や文化に

「調べたきっかけ」

日高と海外にどのような関わりがあるのか

興味があったから

「調べてみての感想」

日高には海外と友好都市締結をしていること

調べて初めて知ることができたのでよかった



高麗川マロン



調べようと思った理由
高麗川マロンの特徴と世界の栗と比べてときにどのような違いがあるのかが知りたかったので調べましたよ。

作った人：小作重雄 (おさくしげお)

特徴

粒が大きい (一粒30グラム以上)



500円玉より大きい



日高市の栗
高麗川マロン

料理に選んでいる



世界の栗 (山崎ぐり、アメリカぐり、中田ぐり、日本ぐり)

中国の栗

甘い



狭山茶について

日高市の地形と気候はお茶の生産に良い条件を備えているので昔からお茶が有名です。特に有名なお茶は「狭山茶」と呼ばれています。



消費されているお茶の量

世界との関わり

狭山茶はストレス解消、風邪予防になるので健康にとっても良いです。そのため、インドや中国などで人気です。



【高萩北小中ふるさと科内容系統配列一覧表】

高森北小中ふるさと科（生活科・総合的な学習の時間）
内容系統配列一覧表

期	I 期	II 期	III 期
学年	第1学年	第2学年	第3学年
目標	区分目標 地域の人々や地域を調べ、教師や友達との関わりの中で課題を設定し、課題解決のための調査方法を学びながら調査に取り組み、地域のよさを明らかにし、地域を大切にしようとする態度を育てる。	区分目標 地域や日高市について調べ、これまでに学習した調査方法を活用しながら調査に取り組み、地域のよさを明らかにし、地域を大切にしようとする態度を育てる。	区分目標 日高市に見られる問題について課題を設定し、調査・探究して解決策を考え、様々な観点から解決策を検討することを通して、地域をよりよくしようとする態度を養う。
学年	第1学年	第2学年	第3学年
横断的・総合的な学習の課題	参考：生活科の学習と系統性	世界の国々のことを知ろう	自然を探ろう (環境・資源エネルギー)
地域や学校の特色に応じた課題	(5) (6) 夏だあそぼう たのしいあき いっぱい ふゆをたのし む (1) 学校大 好き	(5) (6) 春夏秋冬のくらし (3) (4) (8) ときどきわくわく くまちゃんけん みんなであそぼう まのしぜつ もったいなく まちたんけん つたわる広がる	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)
児童・生徒の関心に基づく課題	(7) きれいに さいてね (2) じぶんで できるよ	社「はたらく人と わたしたちのなか い」	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)
学年	第4学年	第5学年	第6学年
横断的・総合的な学習の課題	「自分たちで きること」	自然を探ろう (環境・資源エネルギー)	「日本の伝統、日 高の文化を見よう」 (国際交流・伝統 文化)
地域や学校の特色に応じた課題	(5) (6) 夏だあそぼう たのしいあき いっぱい ふゆをたのし む (1) 学校大 好き	(5) (6) 春夏秋冬のくらし (3) (4) (8) ときどきわくわく くまちゃんけん みんなであそぼう まのしぜつ もったいなく まちたんけん つたわる広がる	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)
児童・生徒の関心に基づく課題	(7) きれいに さいてね (2) じぶんで できるよ	社「はたらく人と わたしたちのなか い」	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)
学年	第7学年	第8学年	第9学年
横断的・総合的な学習の課題	「自分たちで きること」	自然を探ろう (環境・資源エネルギー)	「日本の伝統、日 高の文化を見よう」 (国際交流・伝統 文化)
地域や学校の特色に応じた課題	(5) (6) 夏だあそぼう たのしいあき いっぱい ふゆをたのし む (1) 学校大 好き	(5) (6) 春夏秋冬のくらし (3) (4) (8) ときどきわくわく くまちゃんけん みんなであそぼう まのしぜつ もったいなく まちたんけん つたわる広がる	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)
児童・生徒の関心に基づく課題	(7) きれいに さいてね (2) じぶんで できるよ	社「はたらく人と わたしたちのなか い」	社「わたしたちの生活と食料生産」 (日高市を含む)

日高市立高萩北中学校(2年)「ふるさと科(北っ子タイム)の時間」年間指導計画

単元名【日高市の観光・おすすめマップをつくる】

【単元の目標】

- 1年時の川越、2年時の上野の校外学習をもとに、日高市について調査を行う。
- 日高市の観光・おすすめについて、多面的多角的に考察し、表現する。
- 小学校4年生の総合と連携を図る。

月	単元	学習過程	○活動名	・活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
6 7 8 9 10	日高市の観光・おすすめマップを作ろう	オリエンテーション	○川越や上野での校外学習でのまとめ（発表）を踏まえ、日高市の観光・おすすめマップ作成の学習説明を行う。	・学習の流れ ・自分の住んでいる地域について知る ・身に付ける力	社会科「地域調査の手法」	・KJ法の説明を丁寧に行う。 ・付箋とA3用紙準備 ・観光名所と住んでいるの良い点に分けてKJ法を行う。 ・テーマが決まらない生徒には、アドバイスする。 ・観光マップは日高市観光協会から人数分取り寄せる。
		課題設定 情報の収集	○日高市に住んでいて、良い点を考察する。 ・KJ法で、班で、日高市の良い点を書き出す。	○KJ法で話し合ったことをもとに、テーマを決定する。 テーマ（仮）「日高市の大きな企業」 「日高市のカフェ」 「日高市の観光地の紹介」 ○テーマについて調査する		
		整理分析 調査結果をまとめる	○テーマについての調査の分析 ・下書きの用紙にレイアウトなども考えさせる	○A3のケント紙にまとめる。	高萩北小学校4年生	
		まとめ・表現 （校内）	○クラスで発表を行う			
		表現 （小学校）	○小学校で、発表を行う ・各クラスの代表者が小学校で発表する。 ・小学生も楽しめるようにクイズなど考えておく。 ・小学生からの質問に答える。			
		振り返り	○学習全体を振り返る。			

備考

- おすすめマップのよくまとめられている作品は、校内に掲示を行う。
- おすすめマップを埼玉県住み心地の良いまち大賞に出品をする。

令和6年度高麗川地区の取組

1 小中一貫教育推進の方針

- ・令和4年度までに、小中9年間のカリキュラム作成、朝読書や学力分析の共同実施、小中あいさつ運動の合言葉、タブレットの使い方リーフレットの作成などを実施し、成果を上げてきた。(図1, 2)
- ・令和5・6年度は日高市の研究委嘱を受け、小中合同で学校研究を行った。
- ・今年度は、新設教科「ふるさと科」を整備し児童・生徒の交流を増やした。

読書	小中で朝読書
学力分析	学習方略・非認知能力に着目した授業
あいさつ	あいさつ運動 「あいさつは心と心のハイタッチ」
情報	タブレットの使い方リーフレット(小中共通の約束)



図1 令和4年度までの成果

図2 朝読書・読み聞かせ

2 目指す15歳像と研究テーマ

目指す15歳像：ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子



研究テーマ：未来を創る高麗川っ子の育成
～協働的な学びで自分のよさを発見できる小中一貫教育～

令和元年度に行った小中合同研修会では、地域の方やPTAの役員、代表委員(児童会)、生徒会の児童生徒も参加し、高麗川っ子のよさと課題を話し合った。その結果、素直で仲が良く、お手伝いもよくする勤勉さの一方で、積極性や自主性が課題として挙げられた。また、学力調査の質問紙の結果から、自己効力感(自分への期待)や学習時間に課題が見られた。

そこで、目指す15歳像を小中の共通目標とし、研究テーマ「未来を創る高麗川っ子の育成～協働的な学びで自分のよさを発見できる小中一貫教育～」を設定した。

「未来を創る高麗川っ子の育成～協働的な学びで自分のよさを発見できる小中一貫教育～」

- ・未来を創る…主体的に社会に関わり、課題や変化に対応できる子
予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していこうとする子
 - ・主体的に社会に関わる経験を9年間で十分に経験させたい
 - ・主体的に関わる原動力として、自己効力感(自分への期待)を高めたい
- ※キーワード：well-being(幸せや生きがいを感じる)・自分の良さや可能性を認識する
あらゆる他者を尊重する

3 小中合同研修会

① 実施内容

日程	場所	内容
第1回 5月27日(月)	高麗川小	小中合同救急救命講習
第2回 7月25日(木)	高麗川中	小中一貫教育、研究発表会について 部会ごとに顔合わせ、役割分担
第3回 8月22日(木)	高麗川小	小中一貫教育、研究発表会について 役割の確認と進捗状況
11月20日(水)	高麗川小中	市教育研究会 研究発表会
第4回 1月23日(木)	高麗川中	今年度のまとめと次年度に向けて

② 組織

研究推進委員会

高麗川小：校長、教頭、主幹教諭、研究主任、学力向上推進委員、部長

高麗川中：校長、教頭、主幹教諭（研究主任）、学力向上推進委員

	授業研究部	調査部	小中地域連携部	学級経営部
取組例	・授業アイデア作成	・児童アンケート ・教員アンケート	・パネル作成 ・研究だより ・小中共通の取組	・非認知能力を高めるアイデア ・学級会コーナー

4 ふるさと科(9年間のカリキュラムの作成について)

令和7年度のふるさと科の実施に向けて、まず高麗川小中の総合主任が連携し、協議を重ねることで、9年間のカリキュラムの作成を行った。このカリキュラムを基に、小中の教職員で話し合い、完成したのが「8 ふるさと科系統内容配列表」である。

今年度、この配列表に基づいて、小中の教育課程の連携を行った。その結果、多数の成果を得たと同時に、課題も残った。令和7年度は、「小中一貫教育校 高麗川小中学校」となるため、小中の結び付きをさらに強くしなくてはならない。高麗川小中の児童生徒のために、そしてそれが高麗川地区のさらなる発展となるように、よりよいふるさと科の在り方を目指し、日々取組の見直し及び改善を推進していく。



5 小中合同あいさつ運動

通学路であるポッポ道で、毎月1回小中合同のあいさつ運動を行った。
元気な声であいさつする姿が、通学路いっぱいに広がった。(図3)

【参加者】

高麗川小・・・教職員、代表委員、生活委員

高麗川中・・・教職員、生徒会、ボランティア

地域・・・ふれあい推進員、原宿地区見守りボランティア



図3 小中合同あいさつ運動

6 小中音楽交流会（小5と中3）10月24日（木）高麗川中体育館

小中の音楽科主任が連携し、なかよし音楽会前の5年生と校内音楽会前の中学3年生とで歌の交流会を行った。(図4) 参加した中学生から、「楽しかった」「またやりたい」との声が寄せられた。また、中学校の教員からも来年度以降も継続したいとの意見が多く挙がった。



図4 小中音楽交流会

7 中学校3年生、乗り入れ授業

2月6日（木）、中学3年生が16名来校し、乗り入れ授業を行った。この乗り入れ授業は、1月23日（木）の小中合同研修で案として上がり、すぐ実施となったものである。小学生にとっては、中学生に丸をつけてもらったり、お手本を示したりしてもらい、有意義な時間となった。また、中学生にとっては、小学生の力になれたことで自己効力感を高めることができ、双方の心の成長にとってとても効果的な時間であった。



図5 中学校3年生、乗り入れ授業の様子

R 6 調査部 高麗川小学校

取組について

昨年度に引き続き、6月に3回目の児童アンケートを実施し、計3回の結果を分析しました。自己効力感に関する項目や他者とのかかわりに関する項目で有意な変化が見られたほか、新たな課題を発見し、今後の取組を提案することができました。

好意的意見を回答した児童の割合(3～6年生)



※R5年9月、R5年3月、R6年6月の計3回実施。

～アンケート調査項目～

- ①自分にはよいところがある
- ②友だちのよいところに気づくことができる
- ③人とちがう意見でもおそれずに自分の考えを伝えることができる
- ④学習の中で、むずかしいことでもあきらめずにチャレンジしてみようと思う。
- ⑤自分に合った方法をえらんで勉強することができる(人に聞く、タブレットを使う、話し合う、図に書く、自分で調べるなど)

「自分にはよいところがある」に1～5段階で回答した児童数



※左から「まったくあてはまらない」、右ほど「よくあてはまる」

成果と課題

3回のアンケート調査から、全項目で好意的意見の割合が増加していることがわかりました。特に②他者を認めること、③自分の意見を述べること、④粘り強く取り組むことは10ポイント近くの伸びが見られました。教師の温かな声かけや協働学習の工夫によって、学習への意識が高まってきており、児童の変化に結びついたのだと考えられます。一方で「自分にはよいところがある」に「まったくあてはまらない」と回答している児童が低学年にも一定数いることがわかっています。今後は、この層にどのようにアプローチをしていくかが1つの課題といえます。

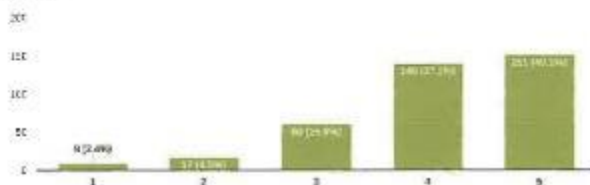
R6 調査部 高麗川中学校

～自己効力感に関するアンケート結果～

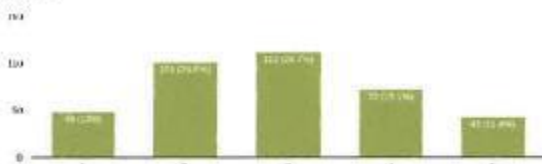
学年	項目	自分の学習について、自分はどのくらい自信を持っていますか？	学習について難関、自信をつける努力はしていますか？	授業や勉強について難しい課題に挑戦しようと思えますか？	自分が決めた目標を達成できると思いますか？	新しいことに取り組むことに対し、どの程度意欲的ですか？	どんな場面も自分の意見を伝えるのは簡単ですか？	苦しい場面に直面した時に前向きな思考を持てますか？	学校で学んでいることや部活動で取り組んでいることに自分の成長を感じていますか？	グループ活動でどの程度自分を信じて協力していますか？
1学年	令和6年度	2.5	3.0	3.0	3.4	3.7	2.7	3.2	4.0	3.7
2学年	令和5年度	2.6	3.2	3.1	3.5	3.8	2.8	3.2	4.0	4.0
2学年	令和6年度	2.7	3.3	3.4	3.8	3.8	2.9	3.4	4.1	4.0
2学年	変動数値	0.1	0.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0
3学年	令和5年度	2.6	3.2	3.1	3.5	3.8	2.7	3.1	3.9	4.0
3学年	令和6年度	2.6	3.2	3.1	3.5	3.8	2.7	3.1	3.9	4.0
3学年	変動数値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

向上したグラフの結果と課題となるグラフの結果

学校で学んでいることや部活動で取り組んでいることに自分の成長を感じていますか？
2/19/6/2025



どんな場面も自分の意見を伝えるのは簡単ですか？
2/19/6/2025



考察

数値的確認したところ、一部のデータ以外は、基本的に前向きな生徒が多い。また、学校生活の中で自分の成長を感じる回答が非常に高い数値を示し、前向きに取り組む生徒が多いことがわかった。しかし、自分の意見や考えを伝えられる回答については低いことがわかった。

成果と課題

中学校の方では、小学校と連携し、自己効力感に関するアンケートを作成し実施した。アンケート結果からどの生徒も学習や生活に関して意欲的に取り組む生徒がいた。また、自ら目標を立て学習に取り組む姿は本校の教育目標に掲げている「自立と貢献」に値する姿だと見受けられた。一方で、調査の内容である「どんな場面も自分の意見を伝えるのは簡単ですか？」に関する質問は数値が低いことがわかった。

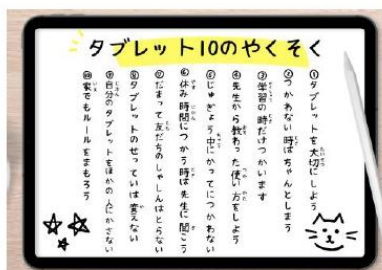
調査の結果から、中学校は、自分の意見を伝える環境を整えることが課題だと調査の内容から知ることができた。また、この調査結果を各部会で話し合い、今後の課題改善に向けて取り組んでいく。

小中地域連携部

取組について

高麗川小学校と高麗川中学校が連携して、ふるさと科や音楽科の授業で交流を図っています。今年度はさらに交流を増やしています。

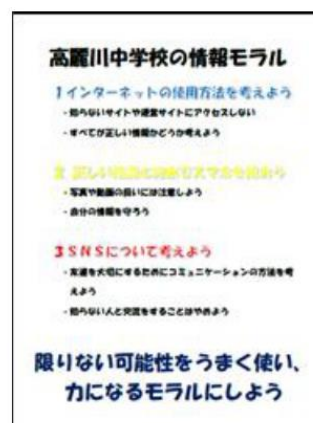
小中でタブレットの利用の約束を統一



低学年用



高学年用



中学校用

小中連携



特別支援学級作品交流



2年生おもちゃづくり



あいさつ運動



6年生中学の授業体験



5年生高麗鍋づくり



小中合唱交流

今年度の取り組み

今年度は、6年生のなかよし運動会の練習に陸上部の中学生がアドバイスをしました。またタブレット利用の約束を小中で統一して、6年生が進学しても共通の使い方ができるようになりました。今後もさらにいろいろなことを統一していく予定です。

R 6 学級経営部 高麗川小・中

取組について

- ・教員が使う褒め言葉の例文を作成
- ・ふりかえりの視点がわかる掲示物の作成
- ・自己効力感を高める実践例の収集
- ・子ども同士で使う褒め言葉の例文を作成

教員から児童への褒め言葉作成

先生用 褒め言葉

褒め言葉の作成に当たっては、児童の成長や課題を考慮し、適切な褒め言葉を作成する。

褒め言葉の作成に当たっては、児童の成長や課題を考慮し、適切な褒め言葉を作成する。

褒め言葉の作成に当たっては、児童の成長や課題を考慮し、適切な褒め言葉を作成する。

先生方にアンケートを実施し、普段の生活や授業の中で使っている「ほめ言葉」をまとめた。1枚のシートにすることで、より意識してほめ言葉を使えるようにした。

ふりかえりの視点

振り返りを書く時の視点を5つのキーワード「わあもっと」に絞り、自分で選んで書けるように教室に掲示した。

① ふりかえりについて「わあもっと」をキーワードに、自分の成長や課題を振り返る。

② 「わあもっと」をキーワードに、自分の成長や課題を振り返る。

③ 「わあもっと」をキーワードに、自分の成長や課題を振り返る。

④ 「わあもっと」をキーワードに、自分の成長や課題を振り返る。

⑤ 「わあもっと」をキーワードに、自分の成長や課題を振り返る。

自己効力感を高める実践例



子供同士の褒め言葉

各クラスで子供たちが使う褒め言葉を考え教室に掲示した。

あいづち

あいうえお

あ あ～なるほど！

い いいね！！

う うんうん！！

え ええっ！！(おどろく)

お おお～！！

振り返り

- ・振り返りの視点を提示したことで、児童が自分の成長や課題を意識しやすくなり、次時の学習にも意欲的に取り組めるようになってきた。
- ・クラスごとにほめ言葉を考えることで、クラスの信頼関係が深まり、子供たち同士が自然と互いのよさを認め合う風土が育まれた。
- ・自己効力感を高める実践例を集め、学校全体に周知し、共通認識をもって支援したことで児童一人ひとりが自ら進んで学ぶことができる環境づくりができた。

高麗川ふるさと科（生活科・総合的な学習の時間）内容系統配列一覧表

[illegible]

オリジナル高麗鍋をつくろう（小5、中2、地域の方の交流）

日高市立高麗川小学校（5年）「かえでの時間」年間指導計画

【基本的な考え方】

- 地域のよさや特色をより実感してとらえることができる地域素材を取り入れる。
- 地域の人々との関わりを通して、学びを深める。
- 学習を通して、互いを認め合う人間関係を築く。

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連
4	食 に つ い て 考 え よ う ！	オリエンテーション	○かえでの時間について知る。 ・ 学習の流れ ・ 身に付ける力 ・ 昨年の5年生が学習してきたこと ・ 今年学習するテーマ	栄養教諭の話 養護教諭の話	国A（1）エ ・ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 国A（2）イ ・ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと 道4（3） ・ 自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。
5		課題設定 情報の収集	○自分の食生活を見直す。 ・ 3日間の食事調査をする。 ・ 栄養についての話を聞く。 ・ 健康な体についての話を聞く。 ・ 日高市の特産物を知る。（栄養士に話を聞く。） ・ テーマとゴールを決める テーマ（仮）「よくかんで健康な体！」「朝ごはんをおいしく食べる工夫」 ゴール（仮）「かむことは大切新聞をつくる。」「体が目覚める朝ごはん新聞をつくる。」		
6		整理分析 まとめ・表現	○自分の食生活についてまとめる。 ・ 自分の食生活での改善点などを意識しながらまとめる。		
7		課題設定	・ 大根の種まきをする。 ・ 高麗鍋について知る。（栄養士に話を聞く） ・ グループごとに高麗鍋を調理をする。	地域の方々 ふれあい推進員	国A（1）エオ ・ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ・ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 国A（2）ア ・ 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする。 国B（1）エ ・ 引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。
9		情報の収集 整理分析	・ テーマとゴールを決める。 テーマ（仮）「地域の食材を使って健康な食生活をおくろう！」 ゴール（仮）「『高麗川、みんな元気』ブックを作る。」 ・ チームで活動する。 例：オリジナル高麗鍋を考える。 （小さい子でもおいしく食べられる高麗鍋など） 高麗鍋の歴史を調べる。 高麗鍋の栄養価について調べる 高麗鍋のおいしい作り方など		
10		まとめ・表現	・ 収集した資料の中から、効果的な資料を選ぶ。 ・ 活動したことや調べてわかったことを発表する。	中学生 地域の方々 ふれあい推進員	
11		再構築	・ 活動したことの中から一番伝えたいことを選び出し、文章にまとめる。		
12		振り返り	・ 学習全体を振り返る。 ・ 自分の成長を知る。 ・ 学年内で授業し、1・2・3位を表彰。		



図6 高麗鍋レシピへのアドバイスの様子

オリジナル高麗鍋をつくろう（小５、中２、地域の方の交流）

日高市立高麗川中学校（２年）「ふるさと科の時間」年間指導計画

単元名【小学生の高麗鍋づくりのお手伝いをする】

【単元の目標】

- 小学校のときに学んだ、高麗鍋の知識を児童に伝える。
- 高麗鍋を通して、地域を知り、愛着と誇りをもつ。
- 互いの自己肯定感を高め交流学習に対する意欲を高める。

月	単元	学習過程	○活動名	・活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点		
10	高麗鍋フェスティバル	オリエンテーション	○小学生のときつくった高麗鍋を確認	・小学校時代に作った高麗鍋を振り返る		・社会科の授業等で、高麗鍋の歴史などを調べる。		
11		課題設定 情報の収集	○高麗鍋につかう材料について考える	・五大栄養素など食についての理解を深める		・家庭分野の授業で、五大栄養素など食に関する知識を高める。		
		12		○小学生へのアドバイスを考える		・小学生へのレシピを見てアドバイスを考える		
				○小学生へアドバイスをするための原稿を考える		・具体的にどのようにアドバイスをすれば、効果が得られるか		・美術の授業で、色彩等のバランスなどを学ぶ。
				○小学生にアドバイスを		・小学生が分かりやすいような説明や、絵などを見せて、交流して、適切なアドバイスを		
				○高麗鍋のポスターづくり		・アドバイスをした高麗鍋のポスターを見て、デザイン等のアドバイスを。		
			○ポスター投票	・完成したポスターを見て投票する				
		振り返り	○振り返りをする	・小学生のお礼の手紙を読んで、感想を書き、お手紙を書く。				

備 考

◇新学習指導要領第4章目標

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す

◇日高市指導の重点

〇教育ビジョン

「自らの力と人の絆で未来をつくる日高の教育」

〇日高市小中学校未来構想 目指そう！

「気は優しく力持ち」

重点1：国際社会で活躍できる教育の推進

重点2：情報活用能力の育成

重点3：コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

生徒指導

- 〇児童生徒理解を基盤として、一人一人の児童生徒の能力を生かし、望ましい人格形成を図る。
- 〇感謝の心を育て、人の役に立つ体験を重視する。

人権教育

- 〇人間尊重の精神に基づき、誰に対しても優しく親切にする児童を育てる。

学校環境づくり

- 〇特色ある教育活動や体験活動を通してふるさとや地域を愛し大切に思う心情を育てる。
- ・あいさつ、清掃指導の充実
- ・校内掲示物の整備
- ・学年花壇の整備
- ・安全点検、補修等の安全確保、通学路点検
- ・除草作業、環境ボランティアへの参加
- ・ツーデイウォークへの参加
- ・合同避難訓練

特別活動との関連

学活

学級の望ましい人間関係を基盤とし、自分たちの問題をより高い価値観で判断し、解決していくとする態度を養う。

児童生徒会活動

よりよい学校生活を送ろうとする意欲を高め、自発的な実践を通して、自主性と豊かな社会性を育成し、連帯感を高め、他に貢献する意欲を育てる。

クラブ活動

望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよい関係づくりに参画しようとする自主的・実践的な態度を身につける。

学校行事

諸行事への積極的な参加を通して、集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活を築こうとする実践的な態度を養う。

小中共通目標【目指す15歳像】

たくましく未来を切り拓き一步上を目指す〇っ子

重点目標

1 ふるさとのよさや課題に気づく学習

- 〇日高市や〇〇台地区の自然、文化、歴史、くらし、産業に関わり、自ら課題を見つけ主体的に考える力を身につける。

2 ふるさとの魅力を見つけ、学び、まとめ、伝える学習

- 〇体験や調査活動を通して、課題を探究し、解決をみざす資質や能力を身につける。
- 〇調べたことをまとめ、伝えることを通して、表現力や思考力を身につける。

3 地域の方々など、様々な人に学ぶ学習

- 〇様々な人の考え方、生き方に触れ、学ぶことで自己の生き方や将来について考え、未来への道筋を立てる。
- 〇様々な体験や学習を通して、積極的に社会に参画しようとする。

◆児童・生徒の実態

- ・学力への関心が高い。
- ・人懐こく明るい。
- ・伝える力が弱い。
- ・不得意なものに進んで取り組むことができる。

◆教師・保護者の願い

- ・現状に満足せず、より高度なものを求めていく意識改革を培いたい。
- ・対話・協働による学びを大切にしたい。
- ・対話・協働による学びを大切にしたい。

◆地域社会の実態

- ・高麗石器時代の住居跡あり。
- ・昭和48年に入居が始まった新しい街区。
- ・多摩山を背にした森の香り豊かな環境である。
- ・〇〇台公民館を中心に社会教育関係の事業を推進している。

各ステージの重点目標

第Ⅰ期 学びの基礎期	第Ⅱ期 学びの充実期	第Ⅲ期 学びの発展期
ふるさとを知る、ふるさとから学ぶ 1年生…学校大好き ・自分でできるよ ・季節と遊ぶ ・昔の遊び ・生き物となかよし 2年生…春だ2年生 ・まちたんけん ・春夏秋冬のくらし ・大きくなあれ 3年生…学校のまわり ・人々の仕事 ・働くってどんなこと ・マップを作ろう ・野菜を育てよう 4年生…福祉・健康 ・防災・町づくり ・交流・仕事調べ	ふるさとを調べる、ふるさとから考える 5年生…環境・資源 ・日高市の農業を考える ・作物をつくろう ・仕事調べ 6年生…国際交流 ・地域の伝統や文化を見直す ・おいしい野菜を育てよう ・仕事調べ 7年生…みんながよりよく暮らせるように （地域産業・税収） ・市役所との意見交流 ・職場体験 ・ボランティア活動	ふるさとを変えるふるさとから発信する 8年生…みんながよりよく暮らせるように （乳幼児・福祉） ・ボランティア体験（幼稚園・保育所） ・進路調べ ・上級学校訪問 9年生…「みんながよりよく暮らせる日高市にするために、日高市民として提案しよう」（国際交流・健康福祉・環境・町づくり・地域経済） ・市役所に提案しよう ・進路しらべ

〇〇ふるさと科の指導方針

- ① 児童生徒の興味関心に基づき、主体性を大切にした学習活動を行う。
- ② 言語能力、情報活用能力などすべての学習の基礎となる資質・能力を育成する。
- ③ 他者と協働して課題を解決する学習活動や、言語活動により分析し、まとめて表現する学習活動を行う。
- ④ 自然体験や職場体験、ボランティア活動、生産活動、調査活動など体験的な学習活動を行う。
- ⑤ 地域の人的・物的資源を生かし、様々な人の協力を得ながら、全教師が一体となって指導に当たる。

ICT環境の整備

- 〇ギガスクール構想の推進により、リモート学習への取組やインターネットによる調べ学習に利用できる環境を整える。
- 〇調査内容のまとめやプレゼンテーションなど情報処理端末等を用いて発表・発信できるようにする。

他の学校・機関との連携

- 〇他の義務教育学校や小中一貫教育校と取組について交流し、活用できる内容を取り入れたり、情報を伝えたりする。

家庭・地域社会との連携

- 〇学校運営協議会、地域学校協働本部などと連携し、地域人材を積極的に活用することなどを通して、学校と家庭・地域が互いに理解し合い、協働し合う活動を推進する。
- 〇地域の人々との交流を深めたり、地域の行事へ参加したりすることにより、郷土の文化の理解、発展に努めようとする意欲を育てる。

各教科との関連

国語	発達段階に応じた言語活動を設定し、調べたこと等を適切に表現し自分の考えを分かりやすく伝える力を育成する。
社会	社会生活や我が国の国土・歴史を理解していく中で、家庭、社会、国家への愛情を育てる。 資料を適切に選択し、様々な情報から課題に応じたまとめをする。
算数	日常の事象についての見通しをもち、筋道を立てて考える能力を育成する。数理的に考察し、理論的に説明する力を育成する。
理科	積極的に自然の事象に関わり、問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方を養い真理を大切にしようとする態度を育てる。
音楽	音楽性の基礎を培うとともに豊かな情操を養う。
図工美術	表現及び鑑賞の活動を通して、豊かな情操を培うとともに美しさを感じる心を養う。
家庭技術	身近な生活に課題を見出し、家庭生活をよりよくしようとする実践の中で、自らの役割を果たそうとする態度を育てる。
保健体育	適切な運動、健康・安全についての理解を通して、運動に親しみ、健全な生活を営もうとする姿勢や、協力、公正などの態度、諦めない生き方を培う。
外国語	外国語や外国の文化のみならず、我が国の文化や日本語について理解を深め、日本人としての自覚を育成する。
特別の教科道徳	・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る人間を育成する。 ・公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努める人間を育成する。 ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する人間を育成する。 ・未来を拓く主体性のある日本人を育成する。

（６）令和６年度小中一貫教育推進委員会の取組

武蔵台小中学校が県内２番目の義務教育学校として２年目を迎え、令和６年度は高根小中学校、令和７年度は高麗小中学校が開校し、他の地区も併設型の小中一貫教育校として新たなスタートを切ることとなる。県内外から注目が集まり他市の教委や議会関係者からの訪問も多く受け入れた。各地区において特長を生かした小中一貫教育を進めていく為に、小中一貫教育推進委員会（主幹教諭・教務主任）で以下のことについて協議を重ねた。

【５月９日（木）第１回小中一貫教育推進委員会】

15:00～ 生涯学習センター研修室

１ 令和５年度の取組の総括

- 義務教育学校 -

- ・小中教員の乗り入れ授業により、双方の横断的な理解が深まっている。
- ・小中教員の交流が深まりつつある。話し合いをする機会が必然的に増えた。
- ・引越し等地域学校協働活動によるボランティアの方々にお世話になりありがたかった。
- ・小中の考え方をすり合わせ、調整するための時間が足りない。開校に係る専門の校務分掌を備えるべき。

- 小中一貫教育校 -

- ・小中分離型は距離の違いがあり、児童生徒交流の仕方も様々であるが、以前よりも授業や行事での交流を深めることができた。教師間の交流をもっと増やしたい。
- ・小中の発達段階の違いが理解できた。
- ・時間が無く日々の業務に追われ、まだ実感が伴わない教員が多い。教員からの提案や意見が少ない。教員の意識の向上が喫緊の課題である。子供たちの意見もよく吸い上げて取り入れたい。

２ 令和２年度からの取組の成果と課題

① 小中学校の共通課題から共通目標を研究する

推進委員のリーダーシップのもと、各地区の小中学校教員が、それぞれの実態（課題等）から、小中学校の共通課題を考えることができた。また、各地区の学校運営協議会においても協議し、地域の特色が表れた目指す児童生徒像が設定できた。

小中学校教員が「目指す１５歳像」を共有して１つの目標に向かい、児童生徒に系統的な教育を提供するために、教職員の共通理解と協働体制の構築が重要である。

② 小中一貫教育に係る教育課程を研究する

学力向上は、本市の喫緊の課題である。９年間を見通した学習指導により学力の向上を図れるものとする。各地区においては、学力調査等から、教科・領域等の児童生徒の課題を共有することができた。また、９年間で育みたい力を小中学校で共通理解することができた。発達段階に応じ、重点化を図る指導内容やつまずきやすい項目を整理できた地区もあったが、年間指導計画に入れ込むまでに至らなかった地区もあった。

小中の段差を低くする取組と合わせて、各地区の特色を生かしたカリキュラムを確実に実施していくことが大きな課題である。また、小中学校教員による乗り入れ授業や効果的な交流活動等、工夫を重ねていく必要がある。

③ 小中一貫教育に係る働き方改革を研究する

「学校における働き方改革」の目的は、教職員が、心身ともに健康で充実した日々を送ることにより、学校における教育活動の質を高め、学校が子供たちにとってより楽しく魅力ある場とすることである。推進委員会では、各学校で行われている働き方改革の取組を報告し合った。各学校では、ICTを活用したり、意識改革を図ったり、工夫した取組が共有できた。

教科担任制や4・3・2制によるグループ体制の強化により小中一貫教育を推進することで、教職員の負担が軽減されるという実感のある取組を提案することが課題である。

④ 新しい教科「ふるさと科」の導入

「ふるさとに愛着と誇りを持ち、ふるさとを愛する態度や、日本の未来を担い世界で活躍できる力を育成するために、1年生から9年生まで系統立てた目標を設定した新教科を実施する。この新教科は、「生活科」や「総合的な学習の時間」の目標や育てたい資質・能力を含めた学習活動を行うため、「生活科」や「総合的な学習の時間」を含めた教科とする。」

令和5年度は、義務教育学校・小中一貫校育校において内容系統配列一覧表を作成した。本年度は地域学校協働活動との関連を踏まえ、地域の人的・環境的資源の活用を図り、取組内容の充実を期するため、各学年ごとの年間指導計画を作成する。

○具体的事項として

- ・ふるさと科の名称について、各地区で工夫する。
- ・今まで各学校で取り組んできた体験活動（地域との触れ合い・地域を知る学習、昔遊び、農業体験、福祉体験、キャリア教育 等々）を整理し、内容系統配列一覧表に入れ込みながら見直しを図り、各学年の年間指導計画を作成していく。
- ・地域学校協働本部と連携し、地域の教育的資源の活用を図る。学校運営協議会との連携を大切にしていく。

3 協 議

（1）研究事項について 重点課題

① 義務教育学校【取組の進捗状況から生じた課題・令和7年度開校を踏まえて】

- ・武蔵台小中学校2年目、高根小中学校開校の年となり、様々な面での工夫が必要となる。
- ・前後期教員同士の話し合いの時間確保が難しい。日課の違が大きい。会議の持ち方を工夫する。また、前後期に時間的余裕のずれが生じている。
- ・前後期教員の授業交流は円滑に進んでいる。
- ・行事をどう組んでいくか更に研究する。特に6年生のリーダーシップをどの場面で発揮させるか工夫していく。
- ・生徒指導上の情報共有を如何に図るか。朝の職集の在り方等。

② 小中一貫教育校【令和7年度開校を踏まえて】

- ・小中教員の交流について、分離型小中学校は距離の関係で時間の取り方が難しい。どのような交流が可能か、乗り入れ授業や行事の持ち方などの工夫について検討していく。
- ・地域の方との活動は、どの程度ふるさと科に入れ込むのか。ふるさと科のイメージがまだ沸いてこない。

(2) 令和6年度 日高市小中一貫教育推進委員会 実施計画 場所 日高市生涯学習センター

回	内 容
第1回 5月9日(木) 15:00～16:30 研修室	1年間の取組の方向性を決定し、地区ごとに目標を立てる (教育課程、年間指導計画作成、新教科の創設・実施)
第2回 8月29日(木) 15:00～16:30 視聴覚室	各地区の1学期の取組発表・協議(必要に応じて)
第3回 10月15日(火) 15:00～16:30 研修室	各地区の取組の進捗状況の確認と情報交換
第4回 12月5日(木) 15:00～16:30 研修室	2学期における取組の報告と協議
第5回 1月30日(木) 15:00～16:30 研修室	小中一貫教育推進委員会資料作成について
第6回 3月6日(木) 15:00～16:30 研修室	本年度取組のまとめ 資料交換 次年度課題設定

7 次回までの確認事項

- ・ふるさと科年間指導計画の作成について、各学校とも同じ形式で進める。ひな形を用意する
(実施月・時数・活動内容・指導上の留意点・地域学校協働本部との関連等)
- ・1学期の取組について、途中でもよいからまとめておく。
- ・ふるさと科年間指導計画については、内容系列一覧表の見直しも含め、途中経過を報告する。

8 委員長総括

- ・地域との交流については、中学校のハードルが高いとの指摘があった。
- ・日課表の見直し等を含めて、地域・学校の実態に応じた教育課程の工夫を進めてほしい。
- ・取組に失敗はない。見直しを行ないながら理想に近づけていく。

日高市立〇〇学校（ 年）「ふるさと科（ ）の時間」年間指導計画

単元名【 】

【単元の目標】 ○ ○

月	単元	学習過程	○活動名	・活動内容	教育資源の活用	各教科等との関連・指導上の留意点
		オリエンテーション				
		課題設定 情報の収集				・
		整理分析 まとめ・表現				
		課題設定				
		情報の収集 整理分析				
		まとめ・ 表現				
		再構築				
		振り返り				

備 考

【留意事項】

日高市立〇〇学校（ 年）「ふるさと科（ ）の時間」年間指導計画

単元名【おもちゃを作ろう】→ ※「内容系列一覧表」の単元名を入れる

【単元の目標】 ○異学年・身近な人々との関わりを通して、学びを深める。 ○生活、国語、図工、道德との関連を図る。
--

※学習過程の文言は各学校で変えてもよい

月	単元	学習過程	○活動名 ・ 活動内容	教育資源の活用	指導上の留意点・各教科等との関連
10	おもちゃを作ろう	オリエンテーション	○おもちゃ作りについて知る。 ・ 学習の流れ ・ 身に付ける力	※ 地域学校 協働本部 の方やお 手伝いし てくださ る方、施 設等を記 入	・ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って文章を書く。国語
11		課題設定 情報の収集	○おもちゃを作る ・ うまくいったところ、難しかったところ テーマ（仮）「1年生も楽しめるおもちゃを作ろう」 「もっと楽しめるおもちゃを作ろう」		
		整理分析 まとめ・表現	○おもちゃの作り方を工夫しよう。 ・ もっと動くには ・ もっと高くするには ・ もっと楽しむには		
		課題設定	○もっと楽しめる工夫をしよう ・ 得点版 ・ コース ・ かざり		
		情報の収集 整理分析	○中学生と遊ぼう。 ※家の人、1年生など実態に応じて設定する。 ※体育館	中学生	・ 図工 ・ 道德
12		まとめ・ 表現	・ 活動したことやおもちゃ作りでわかったことを発表する。	中学生 保護者 地域の方	・ 国語
		再構築 振り返り	・ 活動したことの中から一番伝えたいことを選び出し、文章にまとめる。 ・ 学習全体を振り返る。 ・ 自分の成長を知る。		

備 考

※上記に以外の内容について、自由に記載する。学習を進める上での注意点等。

※各学年内容系列一覧表の単元ごとに作成する。1単位時間で終了する内容についても作成する。

※今まで各学校で作成したもので、使用できるものは積極的に活用する。

※「内容系列一覧表」の見直しを各学年でしっかり行うこと。

※基本形はこの形で作成し、各学校・学年ごとに変更箇所があってもよい。

1 協 議

(1) 各地区ふるさと科年間指導計画作成の進捗状況について

○ 高麗地区

<小学校>

- ・系統表の中で色付けされているものについて、各学年で系統表を作っている。
- ・1年生から6年生までで、総合的な学習のどこについて単元表を作成するかということで、各学年で計画表を作っている。
- ・生活科に関しては、どこの部分の計画表を作っていくかというのを相談しながら作っている。
- ・それとは別に、畑、タブレット学習とキャリアについてはまだ検討中。畑に関しては、年間通してわかるものを試作で、何月に何を植えて、いつ収穫して、常時活動はどういったものを行うかというものを作った。

<中学校>

- ・この夏は大規模改修でほとんどできていない。小学校で作成していただいた系統表をもとに、各学年で指導計画を作っていこうと考えている。

○ 高麗川地区

<小学校>

- ・教育委員会にたずねて、そのときの回答が、総合だったり、生活科だったり、地域にかかわることがふるさと科になるとの回答だった。研修をもち、総合担当と生活科担当から各学年におろして、計画表のほうは、4年生以外はすべて完成している。
- ・生活科に関しては、生活科の中で、ふるさと科になるようなところをピックアップして年間計画を考えている。

<中学校>

- ・校内ではなかなか進まなかったが、小中で合同研修や市教研の研究発表に向けて取り組んでいる。

○ 高萩地区

<小学校>

- ・4年生で作成したものをもってきた。
- ・コロナ前と後で年間指導計画が変わったりしたものがあったりとか、今年度新しく取り組んだ3年生のお茶の学習など現行の年間指導計画にはないものがあり修正している最中。
- ・情報教育の方は、1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学校の枠で作っておけば見やすいと思い、この後作成していく。
- ・配列表は修正後、全部の計画が終わってから最終的にこちらの方に作り替えて完成させる。
- ・生活科は教科書会社の計画を使っているので、大幅に変えるよりは名前を変えるくらいで、必要であればその中のふるさと科に関わるものを少しピックアップしていくという程度にした方が大きな混乱がなくて済む。

○ 高根地区

- ・ 今までの総合的な学習の時間を元に考えている。1、2年生はまだ、手がつけられていない。
- ・ ここに今まではなかった、特に教育資源の活用というところで、保護者を入れられそうかどうか、地域の方にここは協力してもらえそうだなというのを入れている。後期課程の生徒にも協力してもらいたいところが入っている。

○ 高萩北地区

<小学校>

- ・ 総合で取り組んでいる内容をふるさと科に編制し直して、各学年におろして年間の指導計画を作りながら進めている。3年生は日高市の宝物、自分のお気に入りを紹介するところをゴールに調べ学習を行い、日高市を中心に4年生は福祉のこと、5年生はここにあるSDGsのこと、6年生は日光の修学旅行に関わることからスタートして、日光や歴史深いところについて、キャリア教育のことについてで今編制をしている。
- ・ 地域の方の協力をいただくというと、3年生、4年生、6年生は、比較的キャリアのこともあったりしてやりやすいところもあるが、SDGsという大きな括りでいうと、今回はビックサイトで、各企業がSDGsをプレゼンするようなものがあり、それに当選したからいけるが、毎回できるわけではないので教育課程にどれくらい取り込めばいいのか悩んでいる。
- ・ 生活科についても、全体を全部ここに当てはめるのはなかなか難しいところがあるので、組み入れられるような活動のところをメインに今、作成している。

<中学校>

- ・ 1年生は川越に1学期校外学習、その後職場体験は市内でやるので、市内の地域の人に協力してもらうという形。その後、川越校外学習に行って、川越市と日高市とどう関わりがあるのかというのを調べていくという流れになっている。2年生は校外学習、上級学校調べ、京都、奈良調べ、その後修学旅行に行って日高市の観光おすすめマップを作るという流れ。3年生の方はまだできてないが、修学旅行に行ったあと2学期、進路について調べていく流れになっている。

○ 武蔵台小中

- ・ 夏の研修時に、今年度中に年間指導計画を作るという話をし、前後期分かれて、実際に作っている最中。2学期中には一通り作り終わるように進めている。
- ・ 総合をベースにして、今までのものに日高市のことを関連付けられないかというところで考えている。
- ・ 後期課程の方が難しいと聞いている。特活的なことも総合の時間の中にカウントしてやらざるを得ないという部分があるが、それについても日高市と関連付けて作るとお願いはしている。
- ・ 評価のところ、今まで生活科だった1、2年生と3年生以上の総合というところの評価をどうしたらいいのか、校内で話題に上がった。
- ・ 年間指導計画で、生活科は、教科書会社が作成したものを使っている。全学年同じような形式で年間指導計画を作らないといけないのか、それとも1、2年生は今までの生活科の年間

指導計画に、ちょっと加えていくのか。1、2年生の年間指導計画の量が膨大なので、それでいいのか確認できたらと思っている。

(2) その他、小中一貫推進のための取組報告（夏季研修等）

Q（高麗川中）ふるさと科のその中の一部の単元の計画をピックアップして、焦点にあててふるさと科となるのか。

A（委員長）高麗川小みたいにピックアップして作る場合もあるが、まず総合的な学習の時間、生活科の全部の計画をふるさと科にする。

Q（高麗川小）ふるさと科のねらいは、3から9年は総合的な学習の時間のねらい、1,2年は生活科でよいか。

A（委員長）よい。

Q（高萩北中）情報教育についてのふるさと科の扱いは。

A（委員長）いろいろな活動の中で、調べ学習やまとめとしてパソコンを使うので、情報で特化せずに、各活動の計画の中に入れる。リテラシーもそこで教えれば計画に入れられる。情報教育としての系統性はとる。

Q（武蔵台小中）全ての単元で日高市と関連づける必要はあるか。

A（委員長）何かしら小学校も中学校も、日高市と関連するのでは。宿泊学習の事前学習も「日高市と比べる」という活動であり、関連する。生活科は単元によって、日高市と関連づける。進路学習も地域の人に面接官で来てもらう、先輩から話を聞くなど、ふるさとと絡められる。

Q（高麗川小）評価について、1、2年生は3段階で3年以上は記述か。

A（委員長）（他の地区にも聞いて）それでよい。

Q（武蔵台小中）通知票について、「ふるさと科」という名称について。

A（委員長）通知票、要録については校務支援も絡むので、教育委員会と確認する。

2 次回までの確認事項

- ・開催時期について→10月15日（火）は中止。各学校で作成作業を進める。
12月以降必要があれば回数を増やす。
- ・資料の共有について（センターサーバーを利用する）
- ・研究冊子について（冊子の作成、内容について）

【12月5日（木）第3回小中一貫教育推進委員会】 15:00～ 生涯学習センター研修室

1 各地区2学期の取組について

①「ふるさと科」年間指導計画の進捗状況

- ・ふるさと科各学年年間指導計画作成の取組を進めている。学校ファームの計画も整備した。立志式や小中合同河川清掃などの計画もふるさと科として取り組んでいる。
- ・中学ではキャリア教育をふるさと科として取り組む。
- ・地域行事や情報教育、タイピング指導等もふるさと科に取り入れ指導計画を作成した。プレゼ

ン能力も大切である。

- ・教科書を使う関係上、生活科の年間指導計画をそのままふるさと科に読み替えてよいか。
→地域の人材や環境資源を明確にすることから、できれば年間指導計画に工夫をしてほしい。
- ・中学生が自ら作成した日高市おすすめマップを小学生にプレゼンし、日高市について調べたい内容を定める学習は双方に良い影響をもたらす取り組みであった。小中の交流を図る上で大変有意義である。相互理解と学習意欲につながる。

②小中一貫教育に係る教育課程の工夫について（時程・乗り入れ授業・教科担任制等）

- ・義務教育学校開校にかかる準備会を月1回、小中合同で行っている。
- ・小中の交流を進める上で連絡会の持ち方の工夫が必要。離れているので難しい面がある。
- ・中学生による小学校部活動体験を行っている。
- ・義務教育学校2年目を迎え、日課表の見直しを行った。課題を出し合い、前後期教員が意見を出し合った。
- ・小中縦割り清掃、全校縦割り遠足の実施、委員会活動を一緒に行っている。
- ・放課後の会議・研修の持ち方が課題。全体として行わず、ブロックで日を分けて行うなどの工夫をしている。

2 令和7年度「日高市コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」作成について

○「実態調査・共通目標」の見直し → 新しい数値にする。義務教育学校は体裁を整えること。

○内容について およそ120ページ。各地区10ページを目安に。

- ・ふるさと科内容系統配列一覧表＋年間指導計画＋小中一貫教育にかかる教育課程の工夫
- ・年間指導計画は、各地区で内容が被らないようにする。学年の割り当てや学習内容について話し合い、調整する。
- ・義務教育学校と小中一貫教育校の違いについても考慮する。
- ・第4回（1月30日（木）研修室）までに、各地区掲載予定資料（不完全で構わない）を下記フォルダーに入れる。

格納場所：Google ドライブ＞共有ドライブ＞令和6年度小中一貫教育推進委員会＞〇〇地区

【1月30日（木）第4回 小中一貫教育推進委員会】 15:00～ 生涯学習センター研修室

1 令和7年度「日高市コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」作成について

○内容について（決定事項）

- ・内容系統配列一覧表及びふるさと科年間指導計画、各地区小中一貫教育の取組を載せる。
- ・学校で作成した各校の取組紹介（保護者・地域向け）や広報誌に掲載した記事など、既にあるものを活用してよい。取組が一般の方に伝わるのが狙い。
- ・年間指導計画（取組例）については、偏らないように各地区に割り当てる。
高麗地区・・・4年、8年 高麗川地区・・・5年、中2年 高萩地区・・・4年、中1年
高萩北地区・・・5年、中2年 武蔵台地区・・・5年、7年 高根地区・・・2年、9年
- ・「実態調査・共通目標」の見直しについては、特に統計数値や個人情報保護の観点から標記

に留意する。各地区の取組とは別コーナーに掲載する。

- ・各地区の原稿は、①〇〇地区の取組 ②内容系列一覧表（A4サイズ） ③年間指導計画の順に作成し、連続させる。①～③併せて10ページ以内とする。（WORD版、PDF版）

- ・作成した原稿は、以下のフォルダーに格納する。

センターサーバー >00 共有 >01 教育センター >令和6年度 >05 小中一貫教育
>地区フォルダー >掲載原稿フォルダー（実態調査・共通目標、①～③）

PDFは、共有ドライブ >令和6年度小中一貫教育推進委員会 >小中一貫教育推進委員会
>完成版PDF に格納する。 期限は3月6日（木）厳守

- ・必ず校長に目を通してもらうこと。

【3月6日（木）第5回 小中一貫教育推進委員会】 15:00～ 生涯学習センター研修室

- 1 令和7年度「日高市コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」作成について
○タブレットによる内容確認

- 2 令和7年度小中一貫教育推進委員会取組の方向について

（1）令和6年度の成果と課題

成果 ・中学校教員の専門性を生かした授業をすることができ、
小学生の体力向上につながった。

- ・9年間を見据えた教育課程の編成に力を入れた。

児童生徒の成長を見ることができる。

- ・ふるさと科で他校の取組を知ることができ参考になった。

- ・小中教員の交流により、互いの理解が深まった。情報共有ができた

- ・合同研修会を4回実施し、小中一貫教育の機運が高まった。

- ・今まで計画段階だったものの取組を実践することができた。

- ・小中のそれぞれの様子が分かってきた。

- ・小学生と触れ合うことで、中学生の自己効力感が高まった。自信を持てた。

- ・前期課程の児童が後期課程の生徒を間近で見ることによって、より一層中学での生活をイメージしやすく中1ギャップの解消につながっている。

課題 ・隣接型小中一貫校ではあるが、タブレットの使用にwifiの制限があり小中の行き来の交流はあるが便利に使えない。

- ・ふるさと科以外の交流がなかなかできない。

- ・担当者が変わってもうまく進むか心配である。

- ・小中の時程の調整が難しい。（同1名・特別教室、放課後の部活等）

- ・1時間の授業時間が前期と後期で違うので日課を組みにくい。

- ・来年から何をしていくかのビジョンが少ない。新たに盛り込むのは働き方改革に反する。

- ・地域との協力を授業の中で進めたい。イベントだけではなく。

- ・小中の話し合う場がもっと必要。担当教員同士で。（同1名）

- ・部分的な協力から全体の関係につなげる必要がある。
- ・校内の小中一貫教育推進委員会が必要と感じる。
- ・子供同士の触れ合いは楽しくできたが、小学校と中学校の教員の考え方の差が大きく、お互いに尊重できていない。(同1名)
- ・学校全体への周知が難しい。時間がかかる。
- ・小学生が主体となる取り組みも必要。
- ・教員の主体性の差が大きい。やってもらう、もらいたいということが多い。
- ・他校の細かい取組を知る時間が少なかった。
- ・小中を一緒にするための会議の少なさ、次年度にならないと決められないことが多い。
- ・引越しが大変。通常業務と同時進行は不可能である。
- ・6年生に意識的に前期課程のリーダーであることを自覚させる機会を持たせなければ、リーダー性が育たない。後期課程の生徒を頼ってしまう。

(2) 令和7年度の取組の方向性について

- 教員自身が小中一貫教育についての深い理解が必要である。啓発を行う。
- ふるさと科を軌道に乗せる。地域学校協働本部との協力を深める。系統的・横断的で児童生徒が楽しく、主体的に活動する学習内容にしていく。
- 小中一貫教育の取組内容を保護者・地域に発信することに力を入れる。
- 併設型小中一貫教育校の教育課程の工夫について、特に非認知能力を高める視点をもって小中の交流を深める取組を考え実践する。
- 小中一貫教育 Q&A の作成。

3 令和6年度取組の総括

- ・「ふるさと科」が各学校でスタートできたのは大きな成果。さらに内容を高めていく。
- ・教務主任として、リーダーシップを発揮し、各地区の小中一貫教育を本気で考え取組を進めてくれたことに感謝する。次年度への引継ぎをしっかりと行い、日高市の教育力向上に力を注いでほしい。
- ・社会の変化に対応し、旧態依然とした考え方にとらわれず柔軟な思考をもって、各学校の困り感に応じた教育改革を進めてほしい。

(7) 義務教育学校開校に伴う事務Q & A (日高事務班作成資料)

義務教育学校Q & A (県費事務関係)

※義務教育学校では、小学校部分を『前期課程』、中学校部分を『後期課程』と呼びます。職員は全て義務教育学校という1つの学校に所属していますが、埼玉県の取扱い上、『前期課程』と『後期課程』に分かれて配置されています。

No	疑問点	回答・対応
1	学校コードについて教えてください。	前期課程と後期課程とで異なる学校コードが与えられました。(3月末頃) ID・パスワード・トークンも全て、2つずつになります。 電算ゴム印は学校で発注し、購入しました。 例：〇〇小中学校(前期) 4 2F〇〇 〇〇小中学校(後期) 5 2F〇〇
2	県費事務システム(旧システム)は、いつから接続開始できましたか。	・県費事務システム(旧システム)の接続用ユーザID・パスワードの発行が4月1日だったため、4月1日から接続できました。 ・市町村立学校給与等報告システム(新システム)については、事例がないためわかりません。
3	市町村立学校給与等報告システム(新システム)に使用するPCは何台ありますか。	2台あります。前期課程用、後期課程用で1台ずつ分けて使用しています。
4	勤務状況報告書は、学校全体で答えていますか、前期課程後期課程で別に答えていますか。	学校コードが異なるため、別々に回答しています。
5	児童手当支給状況調査は、学校全体で答えていますか、前期課程、後期課程で別に答えていますか。	前期課程と後期課程で予算費目が異なるため、別々に回答しています。
6	前期課程の教員にも部活動手当を支給できますか。また、前期課程の教員で部活動手当を受給した教員はいますか。	市内では部活動手当を受給している前期課程の教員がいます。
7	開校初年度の児童手当支給状況調査について、昨年度の受給者は0で報告しましたか。	前期課程は前年度の小学校の受給者数、後期課程は前年度の中学校の受給者数で報告しました。
8	事務長(管理職手当受給者)はいますか。	いません。
9	管理職手当等異動によって停止となる手当等は引き継がれますか。	引き継がれません。通常の異動と同じで、通勤手当も含めすべて支給停止になります。4月分の通勤手当は前期課程・後期課程全員の報告をしました。

10	教育業務連絡指導手当（主任手当）の支給要件の1つである学級数はどのように数えますか。	学校職員の特殊勤務手当の運用について第5条6項に「義務教育学校の前期課程と後期課程をそれぞれ一の学校とみなして取り扱うものとする。」となっているので、それぞれで数えます。
11	帳票印刷は過去5年分可能だと思いますが、統合後旧所属所の分は印刷できなくなりますか。	統合前の帳票も令和5年7月分からは印刷可能です。閲覧できるのは、前期課程では旧小学校分、後期課程は旧中学校分です。
12	全職員が新たに着任したとする事務処理を行ったと思いますが、事務処理は4月分入力期間に間に合いましたか。	令和5年度・6年度に開校した義務教育学校の事務職員は、4月給与報告で間に合わせました。
13	職員の通勤届は全て提出し直しましたか。	勤務校の所在地が変わる職員のみ提出します。（県費事務担当へ確認済み）
14	旅費予算は学校で一つですか前期課程と後期課程で別ですか。	旅費予算は小学校予算と中学校予算しかないので、前期課程は小学校予算 01、後期課程は中学校予算 02 がつきます。
15	旅費システムの入力、人や出張ごとに01と02で分けて入力ですか。それとも別のコードがありますか。小中学校長会、のように、01か02か判断がつかないものはどちらにしていますか。	出張ごとに01と02で分けることが旅費の科目の観点から望ましいという教職員課県費担当からの回答です。判断がつかないものは配置されている方の旅費から支出します。
16	前期課程の職員が後期課程の行事等の引率に行く場合、旅費の請求事務はどのように行いますか。	請求書の作成・システムの入力共に前期課程の学校コードで行いますが、旅費コードは中学校コード02にして報告し、旅費については後期課程の予算から支出することが旅費科目の観点から望ましいという教職員課県費担当からの回答です。また、後期課程の職員が前期課程の行事等の引率に行く場合も同じです。
17	旅費の相互確認を含む給与関係の事後確認は校内の事務職員で完結させていますか。他校の事務職員に点検してもらっていますか。	市では旅費の相互確認・給与関係の事後確認共に市内全ての事務職員が集う共同実施で行っているため、他校の事務職員に点検してもらっています。
18	初年度の旅費所要額調査や旅費執行状況調査はどのように回答しましたか。	旅費所要額調査は、前年度の小学校・中学校それぞれで回答しました。 旅費執行状況調査も、学校コードが異なるため、前期課程・後期課程それぞれで回答しました。

19	資金前渡担当者口座の通帳は作り直しましたか。	教職員課給与管理担当より、対応に関する通知が届きます。令和5年度開校時は、校舎を使用する学校の通帳を名義変更し、校舎を使用しない学校の通帳を解約しました。令和6年度開校時は、新規に通帳を作成しました。4/1～4/4の間に通帳を作成する必要があったため、事前に銀行に確認をし、予約をしてから行いました。利用している支店では予約が必須でした。
20	資金前渡担当者口座の通帳はいつ解約しましたか。	開校前年度の3月給与支給日以降の3月中に解約しました。
義務教育学校Q&A（市費事務関係）		
No	疑問点	回答・対応
1	小学校・中学校から義務教育学校への備品の移管はどのように行いましたか。	必要な備品については、引越作業時に義務教育学校へ搬入しました。備品台帳・理振台帳については小学校・中学校のものをそのまま継続して使用し、開校後も台帳の統合はしていません。
2	統合前の小学校・中学校間の物品廃棄・移動はどのような流れですか。	開校の前々年度に小学校・中学校それぞれの教科等主任間で廃棄・移動する物品の相談を行い、同年秋ごろに教育委員会へ移動予定物品の一覧を送付、予算要望を上げました。 不要な物品は、開校前年度の3月末に種類ごとにまとめ、市が売却・処分等を行いました。
3	スペースの都合等で義務教育学校へ移動できない備品についてはどうしましたか。	市内他校からの要望を募り、市教委の了承を得た上で、備品の引き渡しを行い、双方の備品台帳に移管先（または移管元）・移管年月日を記載しました。要望が無かったものは市の管轄となり処理されました。
4	職印・校印・校旗は新しく作りますか。予算はどこから支出しましたか。	新規に作製しました。 校旗は、教育委員会予算より支出しました。 職印・校印は特別に組んでいただいた公費予算より支出しました。
5	前年度中に行う、次年度（統合後）の公費予算要求はどのように行いましたか。	教育委員会の指示に基づいて、各費目ごとにどちらの学校でどれだけ金額を計上するか小学校・中学校で連絡調整を行って予算要求しました。
6	学校に配当される公費予算は前期課程と後期課程で分けて配当されるのですか。	市では義務教育学校費として、前期課程・後期課程分けずに、一つの予算として配当されています。
7	義務教育学校や小中一貫校等の表記は正式名称に入りますか。	正式名称は「〇〇市立〇〇小中学校」です。 「義務教育学校」「小中一貫教育校」等は冠称として使用します。

8	着任届・宣誓書は全職員が提出しましたか。	着任届は全員、宣誓書は市外から来た職員と新規任用職員及び臨時的任用職員が提出しました。
9	休業中の職員も異動の扱いですか。	異動の扱いになります。年度をまたぐ任期付職員は一度退職になり、新しい発令がでます。
10	統合時に育休等の休業を取得中の職員は、復帰するまで出勤簿に赴任中と記載しますか。	市では赴任も赴任中も書かないことにしました。
11	開校の前年度夏に行う教科書の需要数報告はどのように行いましたか。	小学校・中学校でそれぞれ通常通り開校年度の前期課程・後期課程の児童・生徒数を報告しました。

義務教育学校Q & A（学校事務関係）

No	疑問点	回答・対応
1	給食費会計に使用する口座の作成はいつ行いましたか。	ゆうちょ銀行は特例で開校する前に開設できました。JAバンクは開校後でないと開設できませんでした。
2	ゆうちょ銀行で開校前に口座開設したときには、どのような手続きをしましたか。	ゆうちょ銀行の場合は書類をそろえれば開校前でも作成することができました。市の議会で新しい学校が開校することが議決された文書の提出をし、代表は教育長としました。
3	学年費会計に使用する口座はどのように取り扱いましたか。	全て解約し、新規に開設した学校と、校舎を使っている学校で使用していた口座を名義変更して使用している学校があります。
4	私費の口座振替は何月から開始できましたか。	4月から開始できました。
5	PTAの集金等で利用する家庭数はどのように数えますか。	1～9年生を通して数えています。
6	入学式や卒業式はどのように行いますか。	・1年生入学式と7年生後期課程進級式は同日に行っています。6年生前期課程修了式と9年生卒業式は別の日に行っています。運動会・校内音楽会は前期後期合同で行っています。 ・義務教育学校開校年度に限り、前年度に小学校6年生が卒業しているため、義務教育学校7年生入学式を実施しました。
7	事前に統合後に2名配置となる事務職員の仕事分担・進め方等について、市内で協議して決めましたか。	市では市内での協議はせず、学校ごとの実情に合わせて決めています。
8	開校前にどのような物品を注文しましたか。	職印・校印・割印・ゴム印・収受印・学校名封筒の注文をしました。

9	統合に向けてどのような仕事をしましたか。	移動する物品と廃棄する物品の選別、学校徴収金関係の変更手続き、認定経路のすり合わせ、通勤距離の測定、公印やゴム印等消耗品の発注をしました。
10	統合に向けて、新たに購入してもらった事務室用備品はありますか。	統合によって新規に購入したものではありません。改修に伴い、事務机や文書棚等を更新しました。
11	校舎等の改修に伴う物品の移動や年度末の引っ越し作業は職員が行うのですか。また、公費による支援はありましたか。	・夏季休業中に行われた改修工事に伴う物品の移動や処分については、職員とPTA等で行いました。処分に伴う費用は教育委員会予算で対応しました。 ・年度末に行った引っ越し作業については、教育委員会が手配した業者が荷物の運搬のみ2日間対応しました。その他は梱包も含め職員と生徒、PTA等で行いました。梱包に時間がかかるので、余裕を持った事前準備が必要です。
12	統合に向けて大変だったこと・苦労したことを教えてください。	3月の片づけと引っ越しと並行して年度末・年度当初事務処理を行わなければならない点です。
13	プールやバスケットゴールは、どのように共有していますか。	バスケットゴールは高さが可動式のものを使用しています。プールは前期課程児童用に水位を低くして、後期課程も使用しています。
14	小学校と中学校が施設一体型の義務教育学校となり、不都合なことはありましたか。 また、良いことはありましたか。	・小学校の校舎を使用した義務教育学校のケースでは、蛇口の高さやトイレなど施設が基本的に小さいため後期課程の生徒には使用しづらいです。 ・プールの水深が浅いので後期課程生徒がルールに反して飛び込んだ際の頸椎損傷事故等が心配です ・跳び箱などは前期課程用の大きさと後期課程用の大きさのものが必要なため、既存の体育用具庫では収納できず、体育館の横に物置を設置しました。 ・耐火書庫は重く新校舎に移動出来なかったため、耐火書庫に入れる書類を厳選する必要がありました。 ・体育館が小さく卓球部が使用できるスペースがないため、卓球部は視聴覚室で活動することになりました。テニスコートを新設しましたが、敷地の広さの関係で面数が半減してしまいました。また、令和6年度開校の学校では、テニス部を廃部しました。運動部の活動についてはマイナス面が大きいです。 ・教室で児童対応が必要な時などに前期課程の教員が誰もいない場合でも、後期課程の教員が手伝うことができます。前期課程と後期課程とで連携して教育活動ができます。(授業・運動会等学校行事・委員会活動・部活動・児童生徒会活動・清掃活動等)

15	統合に伴い改修した場所はどこですか。	職員室の拡張、事務室・理科室・木工室・金工室・家庭科室・図書室の新設や増設をしました。高さ調整式のバスケットゴール・テニスコート・防球ネット・下駄箱・物置の新設をしました。
16	合併前に仕事以外のレクリエーション的な職員間の交流はありましたか。	実施した学校では、卓球大会を行いました。
17	職員親睦会は新たに作りましたか。	新たに規約を定めて設置しました。
18	他校にはない、義務教育学校事務室だけにある校内ルールのようなものはありますか。	小学校の給食か中学校の給食を選べます。 ひっそりと電話をどちらが先にとれるか大会を開催しています。

(8) 令和7年度の重点課題について

日高市小中学校未来構想 「目指そう！ 気は優しくて 力持ち」

＜日高市教育ビジョン：自らの人と絆で 未来をつくる 日高の教育＞

- ◎ 令和7年度の重点課題 「地域とともに歩む小中一貫教育の推進」
- 義務教育学校・小中一貫教育校、それぞれの特長を生かした教育課程の編成と「ふるさと科」の推進
- 各地域における学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的取組の推進

※参考資料

各市町日高市訪問「小中一貫教育と学校運営協議会に関する取組」

番号	訪問日時	訪問市町	訪問場所	訪 問 者	内 容
1	令和3年6月	鶴ヶ島市	学校教育課	学校教育課指導主事2名	学校運営協議会と地域学校協働本部について
2	令和4年10月18日（火）	所沢市	高麗川小学校	教育長指導主事2名	日高市の小中一貫教育とコミュニティ・スクールについて
3	令和5年5月31日（木）	志木市	武蔵台小中学校	学校教育課長他5名	義務教育学校開設について
4	令和5年12月4日（月）	長瀬町	武蔵台小中学校	教育長 教育総務課2名 学校教育課2名	義務教育学校開設の取組について
5	令和5年7月6日（木）	本庄市	武蔵台小中学校	学校教育課長他6名	日高市の小中一貫教育について
6	令和5年8月9日（水）	山梨県甲州市	日高市庁舎503	甲州市議会行政視察10名	学校再編と小中一貫教育、学校運営協議会の役割について
7	令和6年5月20日（月）	毛呂山町	日高市庁舎501	毛呂山町議会行政視察16名	学校再編と小中一貫教育の取組について
8	令和6年5月30日（木）	入間市	学校教育課	教育総務課アンケートによる問い合わせ	学校統合における各種委員会の立ち上げと懸案事項、学校運営協議会の役割等について
9	令和6年7月11日（木）	川島町小中一貫教育推進委員会	川島町役場 教育指導幹が川島町小中一貫教育推進委員会・学識経験者委員として参加		
10	令和6年7月16日（火）	令和6年度埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会において、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの事例発表として、日高市の取組を分科会にて発表する。			
11	令和6年7月17日（水）	島根県出雲市	日高市庁舎501	出雲市議会文教厚生委員会10名	小中一貫教育について 導入の経緯、導入方法と課題について
12	令和6年7月30日（火）	長瀬町	日高市庁舎503	長瀬町議会総務教育常任委員会7名	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育について
13	令和6年11月19日（火）	長瀬町	武蔵台小中学校	長瀬町議会総務教育常任委員会6名	小中一貫教育に係る現地視察 義務教育学校開設の取組について協議
14	令和6年12月17日（火）	寄居町	武蔵台小中学校	寄居町教委5名 城南中教員2名 折原小教員2名 鉢形小教員2名 11名	小中一貫教育における教育課程の編成・協議、並びに学校施設視察
15	令和7年2月26日（水）	川島町	武蔵台小中学校	川島町教委 教育長・教育委員・教育総務課10名	小中一貫教育における教育課程の編成・協議、並びに学校施設・児童生徒視察

